

図1 ペア・ワーク時に使用するワークシート

Essential Reading Chapter 9 New faces

Should cosmetic surgery be banned?

Sheet A

YES

Opinion A Cosmetic surgery should be banned because it uses money that might be needed one day for surgery that could save your life.

In my opinion, plastic surgery is unnecessary, and is a waste of a person's money. If a person suffers from a deformity, that may be a good reason to have cosmetic surgery. However, people without deformities shouldn't undergo surgery for cosmetic purposes.

※ deformity: not being the normal shape excessive: too much

NO

Opinion B Plastic surgery should not be banned, because we have the right to decide what we do with our own bodies.

Some people might say that our appearance is given to us by our parents and we should respect that. However, nowadays, people have the right to choose to live the way they want. Everyone in the world has different values. Therefore, nobody has the right to judge another person's values or try to force another person to share a set of values.

3. 「考えて、伝える」活動を繰り返すことによる思考力と表現力の育成

授業では、自分の意見を英語で表現する機会を多く設けている。その大きな柱となる取組がエッセイ・ライティングだ。例えば、「あなたはレストランの経営者です。店を繁盛させるために、どのようなことに注意をしますか？」などのように、「正解」がない問いに挑み、英語で思考をアウトプットしていく。こうしたライティングは、単元終了時など週1回程度で、授業内で行うこともあれば、週末課題のような形で自宅学習として課す場合もある。生徒が飽きてしまわないように、趣向を変えて様々なテーマを設定している。生徒はまとまった量の英文を書き（図2）、教員が目的に応じた観点から添削をする。こうしたエッセイ・ライティングを、定期考査でも出題している。

図2 生徒に思考させるライティング課題

【Question 2】 将来、あなたの子どもが、「ジャンクフード」が大好きになってしまいました。自分の子どもに「日本食」の素晴らしさと「食事」の大事さを伝える 50語以上の英文を書きなさい。

(※教科書など、授業を通じて学んだテーマ、語彙などをもとに、客観的かつ論理的に書くこと。)

◎授業以外の取組

1. パフォーマンステストと行事を兼ねた「コンテスト」

英語の授業と学年行事を連動させることで、生徒が楽しみながら英語を学ぶ環境づくりをしている。

〔1年次のスピーチテストとプレゼンテーションテスト〕

授業内で実施する。いずれも生徒がクラスメートの前で1～2分の発表を行い、それを教員がパフォーマンステストとして評価する。評価基準は、教員全員で定めた観点に則っている。スピーチでは、自分の意見や考えを中心に発表する。一方、プレゼンテーションでは、プレゼンテーションソフトを使い、調べたことに基づいて論理的に説明をする。例えば、「地元の“シャッター商店街”をどう活性化させるか」など、できるだけ現実的なテーマを設定できるよう工夫している。クラスでの発表を「予選会」として位置付け、優秀者は学年集会を利用した「本戦」に出場する。本戦では発表時間を5分程度に拡大して行うが、多くの生徒が「予選」から「本戦」へ進みたいという意欲を持ち、切磋琢磨して英語力を高め合っている。

〔2年次のスキットコンテストとジャーナルコンテスト〕

スキットコンテストでは、4、5人のグループで台本や配役などを決め、5分程度の創作劇を行う。クラスでの発表会を予選とし、優秀なグループは学年の前で発表する。ジャーナルコンテストでは壁新聞を作成し、論理的なライティング力を鍛える場となっている。

2. 英語科が全員で作る CAN-DO リストと共通ハンドアウト

英語科教員9名全員で CAN-DO リスト（図3）を作成している。学年、技能ごとに目標を設定し、最終的には、「外国の高等学校での授業に十分参加できる」、「積極的に実生活で英語を使用できる」レベルを目標としている。

CAN-DO リストの作成に当たっては、教員が学年ごとに身に付けるべき技能を書き出し、それをマッピングした（ボトムアップ方式）。その過程では、「多くの生徒に共通の目標となるもの」や「大学卒業後や社会に出ても英語を学び続ける素地となるもの」を残すように留意した。さらに、生徒が見ても理解できるように、簡潔な表現で記述することにも配慮した。「教員全員で作成する」という点を大切にすることで、設定した目標を実現していこうという教員間の意識も高まった。生徒に対しては、学期や単元ごとに、CAN-DO リストの項目についての学習状況を振り返る機会を設けている。

また、同じ目標に向かって授業を行うことができているため、ハンドアウトも教員全員で作上げた共通のものを用いている。目の前の生徒に合わせてアレンジをして使用することもあるが、基本的に共通の指導を行う拠り所になっている。

図3 CAN-DO リスト

時期	Reading	Writing	Listening	Speaking	到達目標／外部指標
3年卒業時	<ul style="list-style-type: none"> センターレベルの英文を150 WPMで読むことができる (WPM) 注釈のついた学習者向け英字新聞であれば読りなく読める (学習者向け英字新聞) 教科書レベルの文章であれば、全体を通して内容の概略を正確にとらえることができる (教科書) サイドリーダーであれば OUP Stage4 (1,400語) を楽しんで読めるようになる (多読, 読解) 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な題材を含めて、様々な話題に関連して、論理の通ったエッセイを書くことができる (自由英作), (定期テスト) 英文の短話 (手紙・メール) を読書なしで読りなく書くことができる (手紙・メール) 読んだ本や映画に関して、段落構成を識したままとまりのある文章を書くことができる (サイドリーダー等のレビュー), (読解) 	<ul style="list-style-type: none"> 簡単なニュースやインタビュー・公文放送・ラジオコマース・チャトルであれば、内容を聞き取って、概要を理解できる (ニュース・コマース・チャトル等のメディア) 子ども向けのアフィリタジーなどを中心とした映画であれば字幕なしで「楽しむ」ことができる (映画) 料りに対りない英語であれば、150～180 WPM の英語でも聞きとって概要を把握できる (WPM) 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な話題も含めて、なじみのある話題であれば、英語でそれについて話し合えることができる (議論), (授業観察) 日常的な会話内容であれば、抑える語彙を使用して、構造的かつ正確に、相手に伝えたたり聞いたりすることができる (日常会話) 話したい内容について、十分な準備をして、まとまりのある内容をスピーチし、質疑応答までできる (スピーチ), (授業観察) 外国人 (非ネイティブ) として正確な発音を出せる (発音), (授業観察) 	<ul style="list-style-type: none"> 【到達目標】 海外の高校の授業に十分参加できる。 英語話者として感ずることなく、積極的に英生活で英語を使用することができる。 1人で英語圏を旅行ができる。 <ul style="list-style-type: none"> 【外部指標】 GTEC 580点 (Grade 5 中盤～後半) (受習) 語彙 5,000語 英検2級以上のレベルの英語が理解できる。
2年終了時	<ul style="list-style-type: none"> 教科書レベルの文章を100 WPMで読む事ができる (WPM) 教科書レベルの文章であれば、複数の段落間のつながりや、文章全体の構成を理解できる。 サイドリーダーであれば OUP Stage3 (1,000語) を楽しんで読めるようになる (多読, 読解) 	<ul style="list-style-type: none"> topic sentence, supporting sentence かならなる論理の通ったパラグラフを書くことができる (自由英作), (定期テスト) 自分の興味のある話題やものを読んだ本などに対して、意見や感想、物語のつづきを創作・発信することができる。 (サイドリーダー等のレビュー), (読解) 教科書レベルの文章であれば、主題やあらすじを自分の言葉で言い換えるながら、まとまった文章の要約をすることができる (要約), (授業ハンドアウト) 	<ul style="list-style-type: none"> 初めて会う ALT などの外国人であっても、話の内容についておおよそ内容を理解できる。 教科書やリスニング活動に出てくる10文程度の英文の大意が理解できる, (定期テスト) 	<ul style="list-style-type: none"> 仲間と協同してスキットを創作できる, (授業観察) スキットコンテスト 教科書レベルの文章を読んでそれをわかりやすくまとめ、自分の言葉で相手に説明できる, (授業観察) ゆくり目目のスピーチであれば正確な発音が出せる (発音), (授業観察) 	<ul style="list-style-type: none"> GTEC 620点 (Grade 6 に滑り込む)
1年終了時	<ul style="list-style-type: none"> 教科書レベルの文章を80 WPMで読む事ができる (WPM) 教科書レベルの文章であれば、一つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。 サイドリーダーであれば OUP Stage2 (700語) を楽しんで読めるようになる (多読, 読解) 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な話題であれば、序論-本論-結論の選言に基いて自分の意見を述べた英文を作成できる (自由英作), (読解) 読んだ本や映画に関して、平易な英語であらすじや意見を述べる事ができる (サイドリーダー等のレビュー), (要約) 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書やリスニング活動に出てくる7文程度の英文の大意が理解できる, (定期テスト) 英語のネイティブスピーカーがスピードやポーズなどについて自分の考えや意見を言葉で話すことができる。 ペアやグループワークにおいて、様々な話題について2分程度やりとりを継続できる。 	<ul style="list-style-type: none"> 原稿を作成し、それに基づいてつまずくことなくプレゼンができる (スピーチ) (授業観察) スピーチコンテスト プレゼンコンテスト 身近なことについて自分の考えや意見を言葉で話すことができる。 ペアやグループワークにおいて、様々な話題について2分程度やりとりを継続できる。 一連の絵や写真を眺めて、その内容を自分の言葉で相手に説明できる, (授業観察) 	<ul style="list-style-type: none"> GTEC 470点 (Grade 4 中盤) <ul style="list-style-type: none"> 【入学時】 GTEC 410点 (入学時) (Grade 3 中盤) OUP Stage1 (400語)

学校の特性に合わせた細やかな工夫と、豊富なアウトプット活動 で英語力を鍛える

◎学校プロフィール（※学級数及び生徒数は平成 27 年 10 月調査日時点）

設立・形態	明治 34（1901）年設立、全日制／4 学科（本報告書では「I 学科」、「II 学科」、「III 学科」、「IV 学科」と呼ぶ）／共学
学級数・生徒数	I 学科／第 1 学年… 2 学級（73 名）、第 2 学年… 2 学級（80 名）、第 3 学年… 2 学級（79 名）、II 学科～IV 学科／第 1 学年… 4 学級（146 名）、第 2 学年… 4 学級（139 名）、第 3 学年… 4 学級（140 名） 進路は就職が約 6 割、進学が 3～4 割程度。
ALT 活用状況	常勤の ALT が 1 人。3 年次は各クラス、月に 1 回程度授業に入る。
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「準備型」から「即興型」へ生徒が着実に力をつけるアウトプット指導の設計 ・教科書の題材を図示したり会話型にしたりすることによる生徒の理解の促進 ・授業で行ったアウトプット活動をパフォーマンステストで評価

◎試験結果、質問紙における学校の特徴

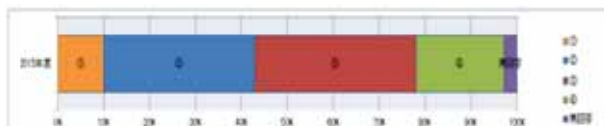
・第 3 学年の平均スコア（点）

	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
B 高等学校	110.9	95.2	17.7	3.4
全国平均（公立学校）	131.9 / 320	120.7 / 320	37.5 / 144	4.3 / 14

・生徒質問紙結果

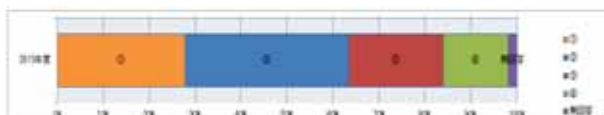
No.15 次の学年の英語の授業では、与えられた話題について、
（特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていましたか。

①そう思う	②どちらかといえば、そう思う	③どちらかといえば、そう思わない	④そう思わない	無回答
10.0%	32.9%	35.2%	19.2%	2.7%



No.16 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、
その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いていたと思いませんか。

①そう思う	②どちらかといえば、そう思う	③どちらかといえば、そう思わない	④そう思わない	無回答
27.9%	35.6%	20.5%	14.2%	1.8%



授業中の豊富なアウトプット活動によって英語力を鍛える

同校では、授業中の生徒のアウトプット活動に力点を置いている。

生徒質問紙 No.15 の「即興で話す活動をしていましたか」に対し、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計が 42.9%で、全国平均の 30.4%を上回っている。さらに、生徒質問紙 No.16 の「英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いませんか」に対し、肯定する回答が 63.5%で、全国平均の 42.5%を上回っている。

このように、授業において、豊富なアウトプット活動を実践している。

◎調査結果に寄与したと考えられる授業内の取組

1. 「準備型」から「即興型」へ生徒が着実に力をつけるアウトプット指導の設計

同校では、現第3学年が1年次のときに、授業をすべて英語で行う指導を開始した。それに合わせて、十分に準備をしてからアウトプットをする活動から、即興性を重視した活動に転換した。1年次は、挨拶などの単純なやりとりをすることから慣らしていくとともに、授業にコミュニケーション活動を多く取り入れて、アウトプットへの抵抗感をなくすようにしている。授業の中で長時間まとめてコミュニケーション活動の時間をとるよりも、短い時間でも日々積み重ねていくことを重視している。そうすることで、第1学年の最後には、即興でコミュニケーションを図る素地ができている。

また、ALTを活用した授業にも力を入れている。同校にはフィリピン出身のALTがいるが、例えば、次のような活動を行っている。

- ① ALTが、日本とは過ごし方の異なる「フィリピンの祭事」について話す。
- ② 生徒は聞いた内容をリテリングする。
- ③ 生徒がALTに、日本独自の行事を紹介するプレゼンテーションを行う。ここでは、発表者に対する生徒からの質問時間を長くとり、「オリジナルの質問をする：3点」、「以前に出されたような内容でも自分の英語で質問する：2点」、「内容に曖昧さはあるがとにかく質問する：1点」といった評価を与え、即興で質問をする意識を高める工夫をしている。
- ④ 生徒は各プレゼンテーションに対し、**teamwork / delivery / contents / visual aids**などの観点から各3段階で評価する（図1）。このことにより、クラスメートの発表内容や質問を自分の発表に活用することができている。

図1 生徒によるプレゼンテーション評価表

英語コミⅢ(3rd Grade) Lessons with ALT Introduce an event in your country Handout 3

HR No. Name _____

Making a presentation! / Asking questions after the speech!

【評価の観点】

Presenters

Teamwork 全員が何かしら役割（話す場面）をもっているか？メンバーが困っている時に助け合っているか？

Delivery アイコンタクト、ジェスチャー、はっきりとした声、リスナーの反応などを見て相手に分かりやすく伝えようとしているか？

Contents 3分間でそのイベントに関する基本的な情報が伝えられているか？実際に参加したくなるような工夫がされているか？


Visual aids スピーチの助けとなるような分かりやすい視覚教材（写真・地図・図表など）が使われているか？

Listeners

自分から質問している・・・1 point (文法的に◎→2 points)

質問の内容がオリジナルである・・・3 points

【Activity 4】 Presentation & Evaluation

 Evaluation (1 Should try harder 2 Good 3 Great!)

Team (チーム名)	Event	Eye contact	Teamwork	Enough info & Interesting	Use visual aids effectively
		1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3
		Question (MEMO)			
		1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3
		Question (MEMO)			
		1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3
		Question (MEMO)			
		1 2 3	1 2 3	1 2 3	1 2 3
		Question (MEMO)			

2. 教科書の題材を図示したり会話型にしたりすることによる生徒の理解の促進

教科書の題材を理解する際には、画像やワークシートを多く使って生徒が視覚的にイメージしやすくなるように心がけている。授業は英語で進められるが、生徒の理解を支援する補助プリントを教員が作成している。例えば、複雑な長文を会話文に整理することで、論旨を理解しやすくしている。また、英文の内容をマッピングして整理したり（図2）、内容に関連した絵や写真を用いて理解を促進するなどの工夫を行っている。


図2 生徒の理解を促すマッピング整理のプリント

英語コミⅢ Lesson 5 (Can Cellphone Recycling Help African Gorillas?) Part 3 Handout 5

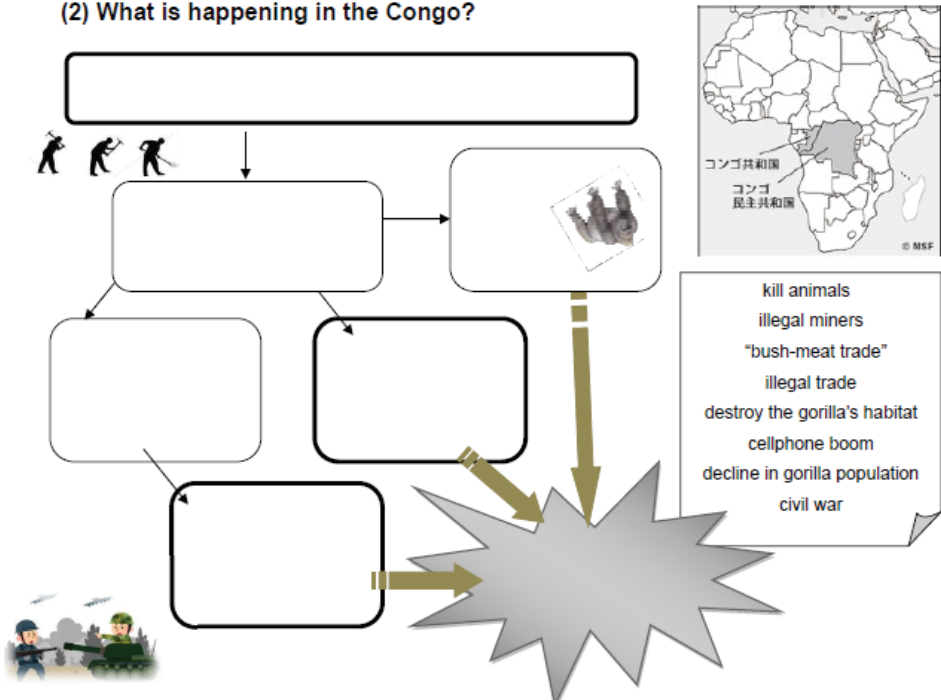
HR No. Name _____

【Activity 4】

(1) What is "coltan"?



(2) What is happening in the Congo?



kill animals
illegal miners
"bush-meat trade"
illegal trade
destroy the gorilla's habitat
cellphone boom
decline in gorilla population
civil war

3. 授業で行ったアウトプット活動をパフォーマンステストで評価

授業ではアウトプット活動を重視しているが、評価においても年4回、パフォーマンステストを実施している。

[授業でのアウトプット活動とパフォーマンステストの具体例]

○授業でのアウトプット活動

- ・「思い出の写真」について語り合うペア・ワーク。

○授業での活動に基づくパフォーマンステスト

- ・生徒 A：自分の思い出の写真について説明。
- ・生徒 B：生徒 A の説明をリテリングして発表。

※スピーキング力とリスニング力の両方を育むことができるテストとなるような仕掛けとしている。

上記の例のように、パフォーマンステストは授業で行ったアウトプット活動の延長線で実施されている。そのため生徒は、授業内のアウトプット活動が評価につながっている意識を持っており、授業内の活動を意欲的に行うようになる。授業と評価の連携が取れているのも、充実したアウトプット活動を支えている要因である。

◎授業以外の取組

1. 修学旅行先で外国人観光客にインタビュー

2年次の修学旅行先である京都で、グループになって外国人観光客に英語でインタビューをし、その内容をまとめるという活動を行った。同校がある地域では、外国人と触れ合う機会が少ない。そのため、修学旅行をグローバルな体験をする機会にしたいと考えている。なお、この取組が、教員の負担感を増すものとはなっていないという点も特筆したい。修学旅行という現在ある取組に英語でのインタビュー活動を加えることで付加価値が生まれ、生徒の学びを広げている。

インタビューでは、出身国、来日の理由、日本での予定などを尋ね、インタビュー終了後に一緒に写真を撮る。写真とインタビュー内容をシートにまとめ、完成したものを同校の廊下に貼り出している。これは第1学年の生徒も目にするので、「来年は自分たちも頑張ろう」という思いを抱くことにつながっている。

今年度の修学旅行先は広島となる。今回は、「外国から広島へ来た人たちのピース・メッセージを聞こう」というテーマを予定している。外国語科と他教科が連携し、地理歴史科で原爆について学んだり、国語科で戦争体験者の詩に触れたりすることで、戦争と平和に対する理解を深めて修学旅行に臨む。活動の最後には、得られたピース・メッセージと自身の平和観をまとめて掲示することを検討している。こうした活動は、同校を訪れる中学生が目にする機会もあるため、「同校に入学すれば英語でコミュニケーションを取ることができるようになる」といった期待へとつなげることができる。

取組紹介③ C 高等学校

豊富なスピーキング活動と話したことについて書くことで、生徒のアウトプット力を高める

◎学校プロフィール（※学級数及び生徒数は平成 27 年 10 月調査日時点）

設立・形態	明治 31（1898）年設立、全日制／共学／県立の併設型中高一貫校
学級数・生徒数	第 1 学年… 6 学級（232 人）、第 2 学年… 6 学級（239 人）、第 3 学年… 6 学級（236 人）
ALT 活用状況	常勤の ALT が 1 人。第 1 学年を中心に授業に入り、第 3 学年では入試を視野に入れた個別指導も行う。
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・幅広い学力層に対応するための工夫 ・アウトプット活動に重点を置いた授業設計 ・実際のコミュニケーション場面を意識した指導

◎試験結果、質問紙における学校の特徴

・第 3 学年の平均スコア（点）

	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
C 高等学校	164.7	156.8	76.6	7.6
全国平均（公立学校）	131.9 / 320	120.7 / 320	37.5 / 144	4.3 / 14

・生徒質問紙結果

No.16 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いていたと思いますか。

①そう思う	②どちらかといえば、そう思う	③どちらかといえば、そう思わない	④そう思わない	無回答
63.3%	29.7%	0.9%	2.2%	3.9%



No.18 次の学年の英語の授業では、英語でディベートやディスカッションをしていたと思いますか。

①そう思う	②どちらかといえば、そう思う	③どちらかといえば、そう思わない	④そう思わない	無回答
59.8%	30.6%	3.9%	1.7%	3.9%



ディベートなどの意見や考えを伝え合うアウトプット活動の実施率が高い

4 技能の得点はすべて全国平均を大きく上回っている。同校では、特にライティング力とスピーキング力の育成を重視した取組を行っている。生徒質問紙 No.16「英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか」に対し、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計は 93.0%で、全国平均の 42.5%を大幅に上回っている。

また、生徒質問紙 No.18「英語でディベートやディスカッションをしていたと思いますか」に対し、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」と回答した生徒の合計は 90.4%で、全国平均の 23.6%と比べて非常に高い。

◎調査結果に寄与したと考えられる授業内の取組

1. 幅広い学力層に対応するための工夫

平成 21 年度から中高一貫校となった同校は、各学年とも付属中学校から入学してきた生徒（内進生）と、他の中学校から入学してきた生徒（外進生）を分けることなく、入学時から同じクラスで学んでいる。付属中学校では先取り学習などを行っているわけではないが、外進生の中には英語の専科教員が常駐していない中学校から入学してくるケースもあり、入学時点での生徒の英語力にはかなり幅がある。

この状況を生かして生徒同士での学び合いが促進されるよう、1 年次の 1 学期は英語力の異なる生徒同士でペア・ワークを行うことが可能な席順で授業を展開している。この席順での授業により、パートナーの生徒に教えてもらうことで力を伸ばしたり、他者に教えることで既習事項を再整理したりすることができる。この座席は、生徒が高校での英語の授業に慣れるために導入期に実施するが、英語が苦手な生徒に劣等感が生まれないう、2 学期以降は通常の座席に戻している。

また、幅広い学力層に対応するため、ライティング課題ではよく書けている作品を、名前を伏せてクラスで共有している。特に 1 年次は生徒の学習意欲を育むことが大切な時期であるため、文法やスペリングなどについて修正点ばかりを指摘していくのではなく、できている点をクラスメートと共有していくことで、「自分にもできそうだ」という生徒の意欲につながるよう心がけている。身近なロール・モデルを示すことで生徒同士が刺激を受け、全体の底上げが可能となるといえよう。

図1 クラスメートで共有したエッセイ

12th Grader English Worksheet

Class. A No. Name.

CE	Global brands can help people in Africa
Chap-8	テーマについて自分の意見を書いてみよう

Do you agree with this idea? Explain the reasons why you think so.

I don't agree with the idea. I have three reasons.

First, global brands will make African people lose their traditional cultures, like food, clothing and so on. Japan is one of the examples. And it is difficult to reconstruct them.

Second, they will destroy the local economy. Those companies employ local people, so their economy must depend on foreign companies. Also, small companies in Africa will not be able to survive because they aren't competitive compared to global companies.

Third, what they provide African people with is not necessary for their daily lives. They sell chocolate, juice and so on but they're not essential to live. African people must spend their money on making the sanitation or the education better by building hospitals or schools. So global brands make people in Africa spend money in vain. ^{we can say that}

Therefore I don't think that global brands can help people in Africa.

(155) 語

Excellent!

Self-Evaluation

1. 文の構造を考えながら自分の考えを10分間で100語程度の英文にまとめることができた。	(A) B C
A=出来た B=なんとか出来た C=全くできなかった	

2. アウトプット活動に重点を置いた授業設計

同校では多様なアウトプット活動に取り組んでいる。教科書の題材を活用して、プレゼンテーションやディベートなどテーマに合った適切な活動を選択する。授業で教員が続けて話すのは5分～10分程度で、ほとんどの時間は生徒がアクティブに活動している。入学当初はアウトプット活動に慣れていない生徒も少なくないため、マインド・マッピングなどを導入して、話す内容を迅速に整理できるように指導する。マッピングでは、意見・主張を表す語句を中心に配置し、その周りに理由・補足情報を表す語句を書いていくように指示している。3年次になると、ほとんどの生徒が各自マッピングで情報を整理し、速やかにアウトプットすることができるようになる。

また、次の例のように、スピーキング活動の後に必ずライティング活動を入れるという点も同校の取組の特徴である。従来の授業では書いたものを口頭で発表させていたが、当該テーマについて議論を経っていないため意見を深めて書くことができず、書いたものを発表するだけの活動になっていた。これを改善すべく、アウトプット活動を「話す」→「書く」の流れに変更した。

〔スピーキング⇒ライティングの活動事例〕（図2）

◇話題：遺伝子組み換え食品

◇スピーキング活動：遺伝子組み換え食品の是非に関するミニ・ディベート

- ・3人1組で、賛成・反対・ジャッジの役割を交代しながら行う。
- ・チームの人数を3人から徐々に増やしていき、最後は競技ディベートの形で実施する。

◇ライティング活動：ディベートでのやりとりを踏まえたライティング

- ・ディベートで出された様々な意見を整理・再検討した上で、自分自身の意見をまとめる。
- ・文構造等に注意しながら英文を書く。

図2 「遺伝子組み換え食品」の授業プリント

11th Grader English Worksheet Class No. _____ Name _____

Lesson 8

⑤

Will This Be the Bio Century?
Let's try "Mini Debate"!

Goal 1: データを用いて自分の意見を述べる事ができる
Goal 2: 相手に反論することができる

Task 1: データの引用の仕方

According to the research, データ・証拠
The newspaper says that データ・証拠

Task 2: 質問の仕方

相手の引用文, right?
Could you tell me the first advantage again?
Could you repeat the number?
When was the data published?
What is the source?

Task 3: 相手の言葉を引用した反論 (attack) の仕方

They said that 相手の言葉 but we do not agree/ we don't think so. 反論
Their data is not true/ not always true. / not relevant / not important.

Task 5 Debate!

- ① Affirmative Constructive Speech: 2 min (1 min)
- ② Cross-examination (Negative →Affirmative) 1 min
- ③ Negative Constructive Speech: 2 min (1 min)
- ④ Cross Examination (Affirmative →Negative) 1 min (2 min)
- ⑤ Attack (Negative) 2 min
- ⑥ Attack (Affirmative) 2 min (1 min)
- ⑦ Evaluation: 1 min

Self-Evaluation

1. データを引用して自分の意見を言うことができた
A=出来た B=なんとか出来た C=全くできなかった
2. 相手の言葉を引用して反論することができた。
A=出来た B=なんとか出来た C=全くできなかった
3. 本日の Mini Debate の感想

Task 4: Evaluation Sheet の書き方

《ライカ毛質法の例》

	List of Issues (議題)	Probability (起こりもしら)	Strength (議論の強さ)	Communication Points (おかしな言い回し)
Aff	Advantage 1 Good for Environment	H/L	Strong Weak / None	Easy to understand
	Advantage 2 profitable	H/L	Strong Weak / None	Easy to understand
Neg	Disadvantage 1 Too many steps	H/L	Strong Weak / None	Easy to understand
	Disadvantage 2 Costly and difficult to sell	H/L	Strong Weak / None	Easy to understand

なお、スピーキング力については、教科書の内容に関連した open-ended questions を中心としたパフォーマンステストで評価している。パフォーマンステストは外国語科教員と ALT で実施するとともに、その結果を生徒にフィードバックし、その後の学習に生かせるようにしている。ライティングが得意でない生徒も、スピーキングのパフォーマンステストで評価を得ることで、モチベーションを維持することができている。

3. 実際のコミュニケーション場面を意識した指導

平成 24 年度に県の「英語等外国語能力強化事業」に指定されたことを契機に、同校の英語指導は実践を重視する方向に大きく舵を切った。CAN-DO リストによる教員間の目線合わせ、すべて英語で行う授業の実現、アウトプット活動の充実などに続き、同校が重視したのは、実際のコミュニケーション場面を意識することであった。具体的には、次のような指導を行っている。

〔「読むこと」の指導〕

- ・ 予習を廃し、初見の英語を読む。
- ・ 単元の冒頭で、その単元全体を一気に読む。その際、パート間や段落間のつながりを意識して読むようにする。
- ・ 未知語は意味を類推しながら英文全体を読み通し、その後、必要に応じて単語や文法を調べる。

〔「書くこと」の指導〕

- ・ エッセイ・ライティングでは、最初は自分の中に蓄積されている表現を駆使して書く。
- ・ 最後まで書いてから、必要に応じて辞書を使い、英文を修正する。

◎授業以外の取組

1. 姉妹都市の高等学校と交換留学

市が姉妹都市として提携しているオーストラリアの学校と交換留学を実施している。今年で4年目となり、各年、第1学年5名、第2学年5名の計10名が参加する。派遣生徒はインタビューテストで選抜されるが、毎年競争率が高く、今年度は10名枠に25名が応募した。現地では、日本や自校について英語でプレゼンテーションを行うことに加え、他教科の授業も受ける。数学の授業などでは、同校の生徒とオーストラリアの生徒が教え合う姿も見られる。

また、オーストラリアから同校に来る留学生は、英語の授業で生徒と交流したり、書道や茶道などを経験したりする。また、東日本大震災の被災地を他の生徒と共に巡る活動も実施した。

このような国際交流を通じて、外国の人たちとの交流の中で英語を使いたいという意欲が生徒の間で高まっている。その結果、世界防災会議の英語ボランティア募集などに対し、生徒が積極的に立候補する姿勢が見られるようになっている。

2. 卒業生アンケートで卒業後の英語使用場面を知る

教員が自分の指導を振り返るために、「英語の授業についての卒業生アンケート」を行っている。このアンケートでは、以下のような質問を設けている。

- ・ 大学ではどのような英語の授業を受けているか。
- ・ 大学の授業を受けてみて、高校でやっておいてよかったと思う英語の活動は何か。
- ・ 高校でやってほしかった英語の活動は何か。
- ・ 英語の学習ではこのようなことをやっておいたほうが良いといった後輩へのメッセージ。

このアンケートでは、「ディベートやディスカッションをしたことが大学の英語の授業でも生きている」という回答が多かった。こうした声は教員の指導改善におけるモチベーションとなるだけでなく、在校生にも伝えることで生徒の英語への学習意欲にもつながる。大学での授業に関する情報を生徒に伝えることは、教科指導だけでなく、進路指導にも効果的な手法である。

図3 卒業生アンケート

大学の英語教育についてアンケート

2015/07/29

大学・学部名 ()
氏名 ()

1. 大学の英語の授業はどんな授業を取っていますか？(例：英文学)

英語A1
英語B1

2. 1について、どんな内容ですか？具体的に教えてください。

英語A1 (長文と事前に予習→授業で細かく分析→題材に関連した動画と資料を見る
長文の長さはぐらいいと思います。)

英語B1 (あるテーマについて事前に5つの質問に各5行程度で答える。
授業ではその用意した答えでディベートを行う。)

3. 大学の英語の授業を受けてみて、高校でやって良かったと思う英語の授業の内容はどのようなものですか？(例：ディベート)

ディベート
何の話し機会があったのが良かったと思います。大生は高校のころに話し機会が少なくライティングペーパーディングをしていただけではいい印象があります。

4. 大学の英語の授業を受けてみて、高校でやってほしかった英語の授業の内容はなんですか？(例：文法の強化、和訳)

文法ぐらいいいのがいい。特にないです。

5. 後輩へ向けて一言。どんな英語の力をつけておけば良いと思いますか？

話し能力が一番必要だと思います。留学生が日本語が分かる場合は英語で話します。あと速読力がいい。必要の情報を早く見つける力大事です。

6. その他なんでも情報(「TOEICでクラス分け」、「留学制度あります」など)

TOEFLは79で受ける機会が何度かあります。

ご協力ありがとうございました！

取組紹介④ D 高等学校

スピーキングを軸としたアウトプット活動の充実で

4 技能と学ぶ意欲を育む

◎学校プロフィール（※学級数及び生徒数は平成 28 年 1 月調査日時点）

設立・形態	大正 9（1920）年設立、全日制／普通科／別学
学級数・生徒数	第 1 学年… 5 学級（197 人）、第 2 学年… 5 学級（199 人）、第 3 学年… 5 学級（202 人）、文部科学省「英語教育強化地域拠点事業」研究校
ALT 活用状況	常勤の ALT が 1 人。各クラス週 1 時間程度。
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・「CAN-DO リスト」に準じ、学校全体でスピーキングを軸に置いた指導 ・スピーキング力を高める毎授業の会話練習やスキット練習 ・生徒のリーディング量を圧倒的に増やす多読指導

◎試験結果、質問紙における学校の特徴

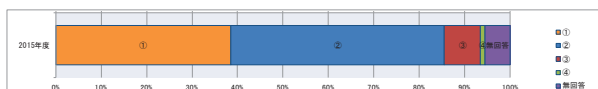
・第 3 学年の平均スコア（点）

	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
D 高等学校	164.3	173.2	80.3	8.3
全国平均（公立学校）	131.9 / 320	120.7 / 320	37.5 / 144	4.3 / 14

・生徒質問紙結果

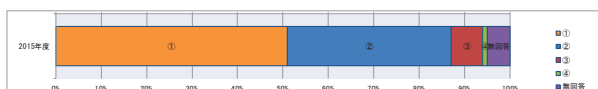
No.11 次の学年の英語の授業では、英語を読んで、
（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていましたか。

①そう思う	②どちらかといえば、そう思う	③どちらかといえば、そう思わない	④そう思わない	無回答
38.6%	47.0%	7.9%	1.0%	5.4%



No.14 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、
生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか。

①そう思う	②どちらかといえば、そう思う	③どちらかといえば、そう思わない	④そう思わない	無回答
51.0%	36.1%	6.9%	1.0%	5.0%



スピーキングを軸に 4 技能すべてを有機的に高める

4 技能すべてにおいて全国平均を上回る得点となっている。生徒質問紙 No.11「英語を読んで、概要や要点をとらえる活動をしていましたか」に対し、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計が 85.6%で、全国平均の 59.5%を大きく上回る。

また、生徒質問紙 No.14「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか」に対し、87.1%が肯定的な回答であり、全国平均 41.8%の 2 倍以上となっている。

◎調査結果に寄与したと考えられる授業内の取組

1. 「CAN-DO リスト」に準じ、学校全体でスピーキングを軸に置いた指導

同校は、平成 24・25 年度に文部科学省の「英語教員の英語力・指導力強化のための調査研究事業」の指定校、平成 26・27 年度に同「英語教育強化地域拠点事業」の研究校に指定されている。4 年前の研究事業を契機に、同校の英語授業改革はスタートした。

改革のファースト・ステップとして、「CAN-DO リスト」(図 1)を作成した。作成に当たって重視したのは、スピーキング主導型の授業にすることである。これまでの入試に対応するためのリーディング重視型から、「スピーキングができるようになるために、読み、書き、聞く技能を高める」という指導方針に大きく舵を切った。そのため、外国語科の全教員が同じ方向で指導に当たることができるように話し合いを重ねた。

同校がスピーキング主導に転換したのは、次の 2 つの理由による。

○授業では授業においてしかできないことをする

クラスメートとの英語を通じたコミュニケーション、自身の発話を聞いてもらう経験などは、自宅学習ではできない。そこで、授業では必ずスピーキング活動を盛り込み、授業の多くの部分を生徒が活動する時間としている。構文や語彙・表現などは、自宅学習とタイアップさせて指導する。

○スピーキング技能が他の技能を牽引していく

同校では、普段から友人同士での会話を楽しむ生徒が多い。そこで、英語の授業をスピーキング重視にすることで、英語に関心を寄せる生徒が増えるのではないかと考えた。実際、スピーキング活動を中心に取り組んだ成果が他技能にも波及し、本年度の大学入試センター試験では同校過去最高の平均点となった。

今後は、アウトプットにおける即興性を高めるための取組を充実させるとともに、自ら積極的にコミュニケーションを図り、場面に応じて情報や考えなどを適切に相手に伝えることができるよう、3 年間の体系的な指導を強化していく予定である。

図 1 CAN-DO リスト

外国語科学習到達目標			
「外国語理解の能力」			
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
<p>【3学年】履修科目：「コミュニケーション英語III」(4単位)、「英語表現I」(3単位) / 主な教材：Landmark English Course III, Vision Quest English Expression II</p> <p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・社会的な話題について、自分の意見を理由も言わなくて3～5文の英語で述べる事ができる。 ・インタビューやディスカッションを聞き取る事ができる。 (後期) ・社会的な話題について、英語での意見交換をする事ができる。 ・ALTの先生と話し合いながら自分の意見を述べる事としてコミュニケーションを継続する事ができる。</p>	<p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・与えられたテーマに対して、自分の意見や感想を整理し、読み手意識して、英文を書くことができる。 ・授業内の文章構成を意識して書くことができる。 (後期) ・意見の分かれる話題について、自分の意見や提案を論理的に述べる英文を書くことができる。 ・複数の段落の構成を意識して書くことができる。</p>	<p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・TOEIC程度の長文の語彙や単語を聞いて、要旨と詳細情報の両方を理解することができる。 ・ALTの15分程度の講義を聞いて、要旨のメモを取ることができる。 (後期) ・TOEIC程度の長文の語彙や単語を聞いて、全体のテーマと詳細情報の両方を把握し、要旨と詳細情報の両方を捉えることができる。 ・英語のニュースを聞いて、要旨と詳細情報の両方を捉えることができる。</p>	<p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・教科書の本文を自分の意見と比較しながら文章を批判的に読むことができる。 ・事前に注釈のついた英語学習向けの英字辞書で、興味のある記事はほぼ内容を理解できる。 (後期) ・高難度な内容の論理的な文章のテーマや主張を明確にとらえることができる。 ・書き手の意図や目的を理解した上で、自分の意見と比較しながら文章を批判的に読むことができる。</p>
<p>【2学年】履修科目：「コミュニケーション英語II」(4単位)、「英語表現II」(1単位) / 主な教材：Landmark English Course II, Vision Quest English Expression II</p> <p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・教科書を読んで、自分の考えや感想を、2～3文の英語で述べる事ができる。 ・身近な話題について、短いやりとりができる。 (後期) ・身近な話題について、英語で1分程度のスピーチをする事ができる。 ・自分のスピーチに対する質問に英語で何とかなえる事ができる。</p>	<p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・教科書を読んで、自分の意見や感想を、2～3文の英語で述べる事ができる。 ・身近な話題について、短いやりとりができる。 (後期) ・身近な話題について、英語で1分程度のスピーチをする事ができる。 ・自分のスピーチに対する質問に英語で何とかなえる事ができる。</p>	<p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・教科書の内容に関連したわかりやすい要旨の語彙や単語を聞いて、大筋の内容を把握することができる。 ・ALTの5分程度の講義を聞いて、要旨のメモを取ることができる。 (後期) ・ラジオやテレビの英語のニュース全般を聞いて、どのような内容か大筋を理解できる。 ・ALTの10分程度の講義を聞いて、要旨のメモを取ることができる。</p>	<p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・教科書の本文について、複数の段落間のつながりや全文の全体構造を理解することができる。 ・TOEICのレベルの副読本を独力で読むことができる。 (後期) ・教科書の本文の中の重要な点を捉え、書き手の意図などを正確に理解することができる。 ・4000～6000語レベルの副読本を独力で読むことができる。</p>
<p>【1学年】履修科目：「コミュニケーション英語I」(4単位)、「英語表現I」(2単位) / 主な教材：Landmark English Course I, Vision Quest English Expression I</p> <p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・自分の名前や、趣味、好きなものなどに関して簡単な自己紹介を英語ですることができる。 ・英語で簡単な挨拶や、別れの言葉交換ができる。 (後期) ・自分の日常生活や余暇における体験について、感じたこと、考えたことを交えて説明することができる。 ・学校や身の回りの話題に関する自分の考えを、英語で言うことができる。</p>	<p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・自分の名前や、趣味、好きなものなどに関して簡単な自己紹介を英語ですることができる。 ・英語で簡単な挨拶や、別れの言葉交換ができる。 (後期) ・自分の日常生活や余暇における体験について、感じたこと、考えたことを交えて説明することができる。 ・学校や身の回りの話題に関する自分の考えを、英語で言うことができる。</p>	<p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・教科書の1レッスン全体の要点を詳しく聞き取る事ができる。 ・ALTがゆっくり話せば、状況から判断しておおむねの内容を理解できる。 (後期) ・教科書のリスニング活動に出てくる英語の短い語彙や単語を聞いて、話し手の意図や内容を理解できる。 ・ALTがはっきりとした発音で、ポーズなどの配慮して話せば、状況から判断しておおむねの内容を理解できる。</p>	<p>学習到達目標</p> <p>(前期) ・教科書1レッスン全体の概要を辞書を頼りながら理解できる。 ・500～1000語レベルの副読本を独力で読むことができる。 (後期) ・教科書の本文の1つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。 ・1000～2000語レベルの副読本を独力で読むことができる。</p>

2. スピーキング力を高める毎授業の会話練習やスキット練習

スピーキング力を段階的に高めるため、次のように3年間のステップを構築している。

- 第1学年前期～後期：身近なことについて「感情」を表現できるようにする。
- 第1学年後期～第2学年前期：身近なこと又は社会的なことについて「感想」を表現できるようにする。
- 第2学年後期～第3学年前期：社会的なことについて「考えや意見」を表現できるようにする。

「感情→感想→考えや意見」と発話する内容の質を高めていけるように教員が指導を統一し、それに沿った言語活動を行うための題材を選定している。また、生徒が思考しやすいように、題材は教科書とのつながりに配慮するとともに、生徒にとって身近な内容となるよう工夫している。

具体的には、次のようなスピーキング活動を行っている。

【会話練習の例（毎授業の冒頭5分～10分）】（図2参照）

- ・“Frustration”の内容を生徒がイラストで描く。
- ・ペアになり、イラストからパートナーの生徒がどのようなことに **frustration** を感じているのかについて、英語でやりとりする。
- ・最後の B (Reaction) の部分はあえて空欄とし、生徒が即興で反応できるようにする。

【スキット練習の例（主軸となるスピーキング活動）】（図3参照）

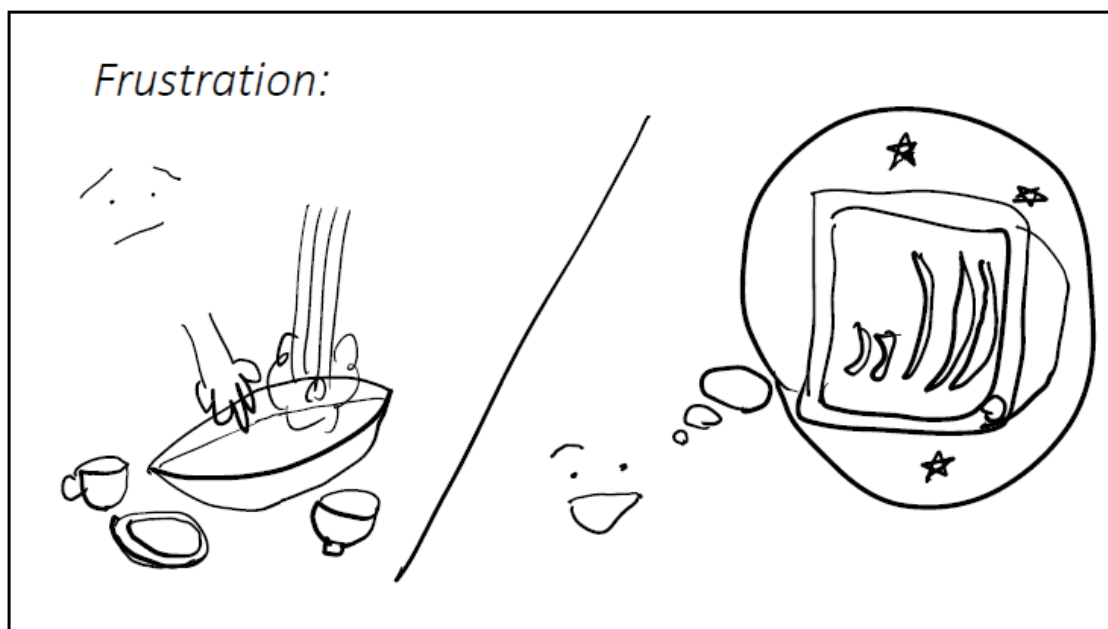
- ・“Short Skit Practice”（約20分）と、“Long Skit Practice”（約30分）があり、生徒同士が楽しめる題材内容としている。
- ・スキットは教員が作成し、扱うテーマや構文・表現等は教科書での学習内容とリンクさせている。

同校では、教科書は生徒のコミュニケーション能力を育てていくためのツールだと考えている。そのため、生徒に合った形にアレンジするプロセスを大切にしている。また、スピーキング活動では、文法の間違いなどは気にせず発話を促す一方、ライティングの際には文法やスペリング等のチェックを教員が行う。これにより、発話への積極性を促すと同時に、より適切な用法の習得を担保している。

スピーキング力を伸ばす仕掛けの一つとして、定期考査の他にスピーキングテスト（1人10分程度で、年に1回実施）を行っている。ALTと外国語科の教員が評価するだけでなく、コメントを記入して生徒にフィードバックしている。また、2・3年次では、ディスカッションやディベートも行っている。このように、生徒が実際に英語を使用する機会を豊富に設けることで、意欲とスキルの双方を高められるようにしている。

図2 「会話練習」における生徒の記載例

イラストは、「食器洗いに対する不満に対し、食器洗い機があれば解決される」ということを表している。



Conversation Topic: Frustration

A: This picture shows a frustrating experience I had recently. Can you understand what happened?

B: Yes. It seems that you found it frustrating to ... / that ..., right?

A: Yes, that's right!

B: (Reaction) _____.

図3 “Long Skit Practice”のワークシート例

Lesson 5 Part 2 Skit Practice

hidden, happy childhood memory . . . activated ⇒ fall in love with someone

Practice 1

In my childhood, _____
_____.

From a psychiatrist's point of view, in the future, I might fall in love with someone who
_____.

Practice 2

A is a psychiatrist, and B is her friend. B has been talking to A about her boyfriend.

A: Why do you love him?

B: I don't know. I'm just crazy about him. I'm really happy.

A: I'm sure something about him activated your happy childhood memory.

B: Really?

A: Yes. Can you guess what it is?

B: Well..., in my childhood, _____
_____.

A: Certainly, _____

B: _____.

3. 生徒のリーディング量を圧倒的に増やす多読指導

スピーキング力を高めるために多読にも力を入れており、図書室に約 1,000 冊の英語の本を備えている。本にはそれぞれファイルが作られており、そのファイルに生徒は次のような「読書記録」を残していく。

〔読書記録（2枚のシート）〕

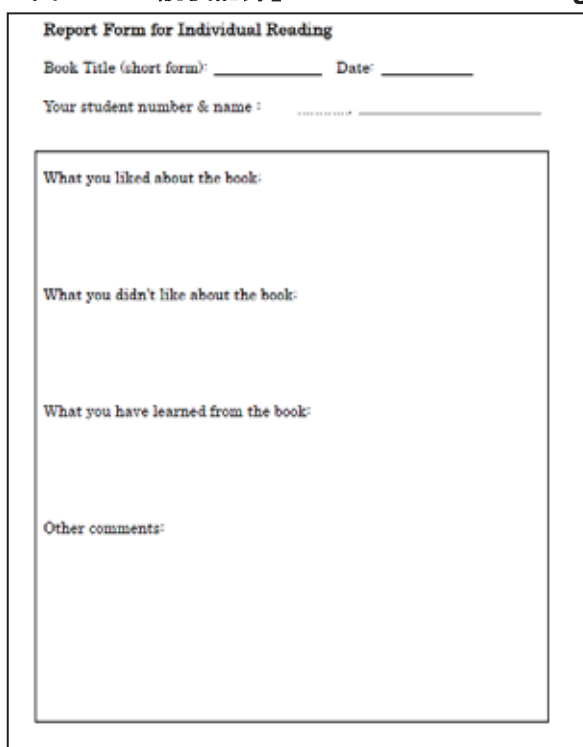
○ 1 枚目：“Individual Reading”（図 4）と呼ばれる読後レポートで，“What you liked/didn't like about the book”などについて英語でコメントを記入する。

○ 2 枚目：心に残った場面の中心となる 1 文と、本の全体評価を星の数で示す。

取組後のアンケート調査によると、他の生徒が記入した「読書記録」を読む生徒が多い。生徒は自分が読んだ本を友人はどう感じたのかを知ったり、読む前にその本の評価を参考にしたりしている。また、生徒が「お薦めの 1 冊」をクラスに紹介する“Biblio Battle in English”も行っている。これにより、本から学んだことを個人だけにとどめずに、生徒全体に波及していくことが可能となっている。

なお、本を読んだりレポートを書いたりする際も、辞書はなるべく使わないように指示している。これは、詳細情報よりもまず要旨をとらえられるようになることを重視しているためである。この取組を通して英文の概要をつかむ訓練が自然となされていくため、生徒は初見の英文にもひるむことがなくなる。また、長期休暇中には読書感想文を英語で書いたり、同じ本を読んだ生徒同士で英語でディスカッションをしたりするなどの取組も行っている。

図 4 「読後記録」の“Individual Reading”



Report Form for Individual Reading

Book Title (short form): _____ Date: _____

Your student number & name : _____

What you liked about the book:

What you didn't like about the book:

What you have learned from the book:

Other comments:

◎授業以外の取組

1. 県内の ALT 20 人が集まる「インターナショナル・デイ」

第1学年では、県内の ALT 約 20 人が同校に集まって国際交流イベント「インターナショナル・デイ」を実施している。約 10 ブースに分かれ、ALT が自国の文化を紹介するとともに、生徒はグループで、各ブースで行われているワークショップに参加する。その後、生徒と ALT が一緒にダンスをするなどして交流する。「インターナショナル・デイ」は、英語を用いて外国の方と触れ合うとともに、多様な国の文化に触れる貴重な機会となっている。このイベントに対する生徒の評価は高く、第1学年の時点から生徒の英語や外国への関心を高める契機となっている。

2. 小・中・高の連携事業により、地域の子どもの英語力を全校種で育成する

同校では、「英語教育強化地域拠点事業」の一貫として、小・中・高等学校の連携事業を実施している。外国語科教員（小学校は英語担当教員）が他校種の学校を訪問し、授業見学や学習指導案に基づく授業後の振り返り（授業研究）などを通じて、全校種の教員が一緒になって学びを深めていく。小・中学校の教員は、高等学校の授業を視察することで、子どもたちの3年後・6年後の成長をイメージすることができ、自身の指導に役立っている。また、高等学校の教員は、特に小学校の授業から、子どもたちの興味があるテーマ設定や発達段階に応じた活動の取り入れ方などについて刺激を受けている。

英語を学ぶ主体性を育てるとともに、即興活動や要約で

4 技能をバランスよく育む

◎学校プロフィール（※学級数及び生徒数は平成 28 年 1 月調査日時点）

設立・形態	明治 5（1872）年設立、全日制／普通科／共学
学級数・生徒数	第 1 学年… 9 学級（360 人）、第 2 学年… 9 学級（354 人）、第 3 学年… 9 学級（353 人）、現 3 学年は平成 25 年度「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」における県の『英語教育改善プラン推進事業』の指定を受けている。
ALT 活用状況	ALT が 1 人。週 2 日程度。
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に学ぶ意欲を育てる仕掛け ・毎日の授業に取り入れる即興活動 ・4 技能をバランス良く育む要約活動

◎試験結果、質問紙における学校の特徴

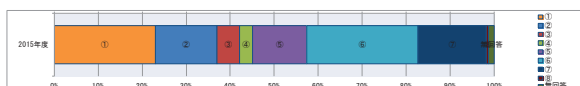
・第 3 学年の平均スコア（点）

	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
E 高等学校	191.0	176.8	79.0	12.6
全国平均（公立学校）	131.9 / 320	120.7 / 320	37.5 / 144	4.3 / 14

・生徒質問紙結果

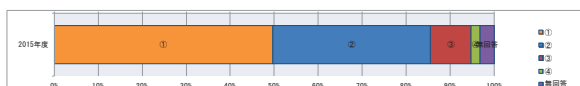
No. 2 の程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。
最も当てはまるものを 1 つ選んで下さい。

①英語を使って国際社会で活躍できるようになりたい	23.0%
②大学での自分が専攻する学問を英語で学ぶことができるようになりたい	14.1%
③高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい	5.2%
④高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい	2.9%
⑤海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい	12.4%
⑥海外旅行などをするとともに、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい	25.3%
⑦大学入試に対応できる力をつけたい	15.5%
⑧特に学校の授業以外での利用を考えていない	0.6%
⑨無回答	1.1%



No. 15 次の学年の英語の授業では、与えられた話題について、
（特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていましたか。

①そう思う	②どちらかといえば、そう思う	③どちらかといえば、そう思わない	④そう思わない	無回答
49.7%	35.9%	9.2%	2.0%	3.2%



将来につながる英語力を身に付けたいという意欲が高く、授業では即興性を重視

4 技能すべてにおいて平均点を上回っており、英語を学ぶ意欲が高い。生徒質問紙 No.2 「どの程度まで英語を身に付けたいと思うか」に対し、「英語を使って国際社会で活躍できるようになりたい」が 23.0%で、全国平均 11.2%の 2 倍以上となっている。

また、授業では即興性を重視し、生徒質問紙 No.15 「与えられた話題について、即興で話す活動をしていたか」に対し、「そう思う」又は「どちらかといえば、そう思う」の合計が 85.6%と非常に高く、全国平均を 55.2%も上回っている。

◎調査結果に寄与したと考えられる授業内の取組

1. 生徒が主体的に学ぶ意欲を育てる仕掛け

同校では、文部科学省の平成 25 年度「英語によるコミュニケーション能力・論理的思考力を強化する指導改善の取組」における県の『英語教育改善プラン推進事業』に指定されたこと契機に英語指導を大きく転換し、現第 3 学年はその完成学年にあたる。授業をすべて英語で行い、生徒の発話を中心とした指導方針を打ち立て、「CAN-DO リスト」(図 1) もそれに基づいて作成した。

CAN-DO リストに設定した目標の実現に向けて、「英語表現」の教科書は、各単元に毎回アウトプット活動が設けられているものを選定した。教員は、単元の冒頭で目標とするアウトプット活動を生徒に伝え、題材によって、ディベートやプレゼンテーション、ポスターセッションなどを適宜実施する。「アウトプットありき」で授業が進行するため、生徒は「この表現は発表の際に使える」と考えたり、生徒同士で「このような発表をするためには、この部分をもっと勉強する必要がある」と話したりしながら、主体性をもって授業に臨んでいる。なお、「英語表現」は 2 クラス 3 講座 (1 講座約 25 人) の少人数制で行い、生徒のアウトプット活動の量を担保している。

「学校をもっと有益な場とするためには？」というテーマで行った授業では、「家庭の食べ残しを持ち寄り、学校で燃やしてエネルギー資源とする」という発表をした生徒がいた。ALT は「プレゼンテーションとしてはよかったが、内容としては壮大すぎるプラン」とコメントしたが、先日、北欧の学校で同じプランが実際に導入されたことがニュースになった。生徒の主体性を重視して発想を豊かにすると、思いもよらない可能性が生まれることを教員は実感している。

評価においても工夫をし、授業での活動を通して学習したことを定期考査で問うことにより、生徒の授業に対する意欲が増すようにしている。定期考査では英問英答 (多肢選択問題も含む) を基本とし、授業で培った読解力を生かして初見の長文にどう立ち向かうかや、即興的なアウトプットができるかなどを評価する。その際、次の例のように、学年に応じて段階的に難易度を上げるようにしている。

(例)「読むこと」: 1 年次—読みやすい比較的短い文章を 1 問出題

3 年次—教科書 1 単元程度の長さの文章を出題

「書くこと」: 1 年次—ある程度準備をした上でのライティング

3 年次—準備をしない即興型のライティング

図1 CAN-DO リスト

平成27年度「CAN-DOリスト」の形で学習到達目標

【卒業時】

英語を通じて、場面や状況、背景、相手の表情や反応などを踏まえて、話し手や書き手の伝えたいことを的確に理解するとともに、自分が伝えたいことを適切に伝えることができる。

「外国語表現の能力」

「外国語理解の能力」

【第3学年】 履修科目：「コミュニケーション英語Ⅲ」（4単位）及び「英語表現Ⅱ」（文型3単位／理型2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> 与えられた条件に合わせて、即興で話したり、伝えたい内容を整理して、論理的に話すことができる。 情報や考えなどを聞いて、質問したり意見を述べたりし、話題を発展させることができる。 立場を決めて意見をまとめ、相手を説得するために意見を述べることができる。 	コミュニケーション英語Ⅲ ・プレゼンテーション ・ディベート ・ディベートテスト 英語表現Ⅱ ・プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 論点や根拠などを明確にし、文章の構成を考えながら書くことができる。 説明や描写の表現を工夫して、相手に効果的に伝わるように書くことができる。 効果的な事例を取り入れながら、自分の意見や感想を論理的に整理して書くことができる。 	コミュニケーション英語Ⅲ ・ライティングテスト ・定期考査 英語表現Ⅱ ・エッセーライティング ・定期考査
聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> 対話や説明などを聞いて、情報や考えなどを的確に理解したり、概要や要点をとらえたりできる。 未知の語の意味を推測したり、背景となる知識を活用したりしながら聞くことができる。 主題と詳細情報を区別しながら理解できる。 	コミュニケーション英語Ⅲ ・リスニングテスト 英語表現Ⅱ ・定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 書かれた情報や考えなどを的確に理解したり、概要や要点をとらえたりできる。 速読したり、精読したりするなど、目的に応じた読み方をすることができる。 書き手の意図などを正確に理解して、自分の意見と比較しながら文章を批判的に読むことができる。 	コミュニケーション英語Ⅲ ・音読テスト ・定期考査 英語表現Ⅱ ・定期考査

【第2学年】 履修科目：「コミュニケーション英語Ⅱ」（文型4単位／理型3単位）及び「英語表現Ⅱ」（2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> 与えられた英文に関するテーマについて、自分の考えをあらかじめ用意し、メモを見ずに相手にわかるように伝えることができる。 与えられたテーマについての相手の意見を聞き、それに対する自分の意見や質問を即興で述べるができる。 	コミュニケーション英語Ⅱ ・スピーキングテスト 英語表現Ⅱ ・スピーキングテスト	<ul style="list-style-type: none"> 与えられた英文に関するテーマについて、自分の考えとその理由を明確に示して、書くことができる。 与えられたテーマについて、自分の意見や感想を既習の言語材料を用いて、段落構成を考えて、100語程度で書くことができる。 	コミュニケーション英語Ⅱ ・定期考査 英語表現Ⅱ ・提出課題
聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> 与えられたテーマについての相手の意見を聞き、内容を理解することができる。 自分の意見に対する相手の即興の意見や質問を聞き、その内容を理解することができる。 	コミュニケーション英語Ⅱ ・ペア活動の観察 英語表現Ⅱ ・ペア活動の観察	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の英文を特に重要な事実等を捉えながら、英文全体の要旨を理解することができる。 100語程度のあるテーマに関する英作文を読んで、語彙、語法、構成の観点で相手の英作文を評価できる。 	コミュニケーション英語Ⅱ ・定期考査 英語表現Ⅱ ・提出課題

【第1学年】 履修科目：「コミュニケーション英語Ⅰ」（4単位）及び「英語表現Ⅰ」（2単位）

主な教材：上記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材

話すこと		書くこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> 与えられた場面において、状況や立場に応じて自分の用件を簡潔な英語で伝えることができる。 英語音声の特徴を理解し、音速を踏まえて音読することができる。 与えられたテーマについて、自分の考えをあらかじめ用意し、Read&Look upで相手に伝えることができる。 	コミュニケーション英語Ⅰ ・ペア活動の観察 英語表現Ⅰ ・ペア活動の観察 ・プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 個人的な話題について、賛成・反対の立場とその理由や具体例を50語程度で書くことができる。 与えられたテーマについて、自分の意見や感想をつなぎ語を適切に用いながら書くことができる。 英文の内容をKey Wordsを用いてリプロダクションや要約することができる。 	コミュニケーション英語Ⅰ ・定期考査 英語表現Ⅰ ・提出課題 ・定期考査
聞くこと		読むこと	
学習到達目標	科目・評価	学習到達目標	科目・評価
<ul style="list-style-type: none"> 対話や説明などを聞いて、キーワードを理解することができる。 英語音声の特徴を理解し、音速を踏まえて英文を聞くことができる。 	コミュニケーション英語Ⅰ ・ペア活動の観察 英語表現Ⅰ ・ペア活動の観察 ・定期考査	<ul style="list-style-type: none"> 定義を読んで単語を推測することができる。 教科書の英文に正確にスラッシュを入れ、大意をつかむことができる。 与えられた英文に関する質問に対して、根拠文を検索し、適切に答えることができる。 	コミュニケーション英語Ⅰ ・音読テスト ・定期考査 英語表現Ⅰ ・定期考査

2. 毎日の授業に取り入れる即興活動

同校では、スピーキングによる即興活動を重視している。これは、実際のコミュニケーション場面を意識して指導するという方針と同時に、「話せないことは書けない」という考えによる。また、即興で行ったスピーキング活動を、次のような活動によって質的なフォローをし、総合的な英語力が身に付くようにしている。

○即興でのペア・ワーク ⇒ 教員のポイント解説 ⇒ ポイントを反映した上で、再度ペア・ワーク

○即興でのペア・ワーク ⇒ ペアで話した内容をライティング ⇒ 書いた内容を読んで、ペアでチェック ⇒ ブラッシュアップしたものを再度ペア・ワークで発話

[活動の具体例]

- ・前の授業で学習した内容を口頭で要約する。
- ・相手の発話を聞いて、何の説明であるかを答える。
- ・学習した内容に関係のあるイラストや写真を見ながら、自分自身の英語で説明する。
(教材中の英語をパラフレーズして説明できる力を特に重視)

3. 4技能をバランス良く育む要約活動

同校では、「長文から要旨をつかむ」指導も重視している。これまでの長文要約はライティングによって行うことを基本としていたが、スピーキングを交えて行う方針に切り替えた。自分の英語で要約することを大原則としつつ、例えば、物語文では、登場人物それぞれの視点に立った要約をすることで、当該人物に感情移入しながら要約するなどの工夫をしている。こうすることで、同じストーリーであっても、人称、態、時制などを適宜変えていく必要があるため、学習した文法事項を実際に活用しながら要約するようになる。

また、家庭学習においても要約を取り入れている。同校では予習を強制せず、生徒の主体性に任せ、自分に足りない部分を考えて補完する自立した学習習慣を育てるようにしている。同時に、効果的な学習方法を教員が考え、必要に応じて家庭学習についてアドバイスを与えている。具体的には、家庭学習用のプリント(図2)を使って、長文からキーワードを抜き出したり趣旨をまとめたりする要約指導を積極的に勧めている。

生徒の一般的な学習パターンは、

- ①(主に家庭学習)プリントの設問を確認し、発話する内容を整理【リーディング】
 - ②ペア・ワークで発表【スピーキング&リスニング】
 - ③要約など【スピーキング&ライティング】
 - ④上記③の内容を生徒同士でチェック【ライティング】
- という4技能を総合的に育む流れになっている。

図2 家庭学習用プリント

注：「○」… 教科書に記載されている内容をまとめる

「◎」… 自分で具体例を探してくる

※自分の言葉を用いて簡潔に情報をまとめる。

※プリント内の Questions は、授業中に口頭で行う。

※要約はペア・ワークで、「口頭で発表→パートナーに助言をもらう → ライティングでまとめる」という順で行う。

Biomimicry = we should imitate nature.	
→Nature is () () and () ()!	
How is it possible for us to live a sustainable life?	
Question we must ask	Answers
Q: What should we do?	A:
Q: Why can we say nature is our teacher?	A:
Q: How is our environment being damaged?	◎

How wonderful nature is!	
Things we created	Things animals and plants can do
○airplanes	○ → ○ →
○dump trucks	○ →
◎	◎ →
◎	◎ →
☆They can be harmful, producing excessive amounts of carbon dioxides, poisonous gases, noise, etc.	☆

Q : Has nature ever shown you a way to improve your life? (Y / N) & Give reasons.

◎授業以外の取組

留学制度の活用や留学生との交流で、外国を身近に感じさせる

同校では、留学を希望する生徒が多い。現在も、アメリカやオランダに1年間留学している生徒がいる。長期休暇中の留学プログラムには選抜が必要なほど希望者が集まるとともに、留学制度を自ら見つけて参加する生徒も少なくない。

学校の留学制度でハワイ大学を訪れた生徒たちは、帰国後に全校生徒の前で体験記を発表する。これは、留学をしていない生徒にとっても異文化を身近に感じる機会になっている。留学を個人の体験にとどめることなく全校生徒に波及させ、学校全体で英語を使うことや海外に出ていこうとする文化を醸成している。

また、インドネシアからの交換留学生が在籍していたときには、英語の授業だけでなくホームルームや掃除の時間も英語で話す「インターナショナル・デイ」という取組をした。このように、授業外の通常の生活の中で英語を使う取組も、生徒が主体的に英語を学ぶ姿勢を持つことに寄与している。

目標設定とそれを見直す生徒把握の仕組み化により、

生徒の実態に即した指導を実現

◎学校プロフィール（※学級数及び生徒数は平成 28 年 1 月調査日時点）

設立・形態	明治 33（1900）年設立、単位制／共学
学級数・生徒数	第 1 学年・・・6 学級（239 名）、第 2 学年・・・7 学級（277 名）、第 3 学年・・・8 学級（274 名）
ALT 活用状況	ALT1 名が週 4 回勤務。各クラス 2 週間に 1 回程度。
取組の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ CAN-DO リストに基づくスピーキング力とライティング力の育成 ・ 生徒に到達度を意識させ、学習意欲を育む評価の工夫 ・ 的確な現状把握から目標設定を見直し、柔軟に指導を修正

◎試験結果、質問紙における学校の特徴

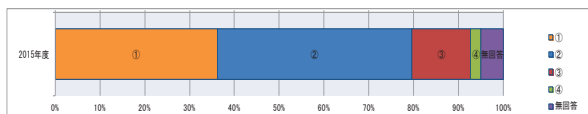
・ 第 3 学年の平均スコア（点）

	読むこと	聞くこと	書くこと	話すこと
F 高等学校	135.4	135.9	57.7	7.2
全国平均（公立学校）	131.9 / 320	120.7 / 320	37.5 / 144	4.3 / 14

・ 生徒質問紙結果

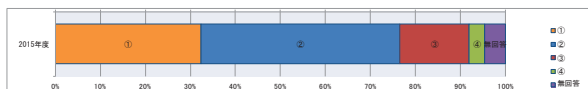
No. 14 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか。

①そう思う	②どちらかといえば、そう思う	③どちらかといえば、そう思わない	④そう思わない	無回答
36.2%	43.4%	13.2%	2.3%	4.9%



No. 16 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。

①そう思う	②どちらかといえば、そう思う	③どちらかといえば、そう思わない	④そう思わない	無回答
32.5%	44.2%	15.5%	3.4%	4.5%



ライティングとスピーキングの技能を高める活動を重視

4 技能すべてにおいて全国平均点を上回っている。特に、ライティングとスピーキングの技能が高い。

生徒質問紙 No.14「英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか」に対し、「そう思う」と「どちらかといえば、そう思う」の合計が 79.6%で、全国平均を 37.8 ポイントも上回っている。

さらに、生徒質問紙 No.16「英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか」に対し、肯定する回答が 76.7%で、全国平均より 34.2 ポイント高い。

◎調査結果に寄与したと考えられる授業内の取組

1. CAN-DO リストに基づいて、スピーキング力とライティング力を育成

平成 23 年度に、国立教育政策研究所の「学習評価に関する研究指定事業」及び県のディベート推進校に指定されたことが、同校の英語指導が大きく転換する契機となった。英語の授業はすべて英語で行われるようになるとともに、生徒の 3 年間の成長を見据えた「CAN-DO リスト」(図 1) が作られた。同校では、特にスピーキング力とライティング力を伸ばすため、「コミュニケーション英語」では、共通ワークシートを用いてペア・ワークやグループ・ワークを中心に生徒の発話力を伸ばし、「英語表現」では、3 年生でディベートが行えるレベルになることを目標に表現力の育成に取り組んでいる。

毎授業のウォーム・アップとして、スピーキング活動を行っている。図 2 は、学年ごとのウォーム・アップ活動をまとめたものである。

[ウォーム・アップにおけるスピーキング活動の例]

- 1 年次：英語でコミュニケーションを取ることに慣れるために、単文単位の発話練習を行う。
- 2 年次：振り返りとして、前回の授業の学習内容について写真を見ながら英語で説明する。この活動では、レベル 1 (作成した英文を読む) とレベル 2 (キーワードだけを書き、それをもとに伝える) の 2 つから、生徒自身が活動スタイルを選択できるようにしている。これは、生徒のレベルが多様化している状況で、英語に自信がない生徒でも活動を楽しめるようにすると同時に、英語ができる生徒はよりチャレンジングな活動ができるようにするためである。
- 3 年次：ディベートを意識した即興型の活動を、次の手順で行う。
 - ①与えられた話題 (図 2 は、ペットボトルの水と水道水の例) について、メリット・デメリットを整理し、クラスメートと意見を出し合ってメモを取る。
 - ②上記①で得られた情報を参考にして、自分の意見をまとめる。
 - ③上記②について、クラスメートと再度話し合い、友人の主張をまとめていく。

また、定期考査においても、表現力を測るタスクを次のように段階的に設定している。

[定期考査におけるライティング問題の例]

- 1 年次：与えられた絵や条件について表現する。
- 2 年次：既習の表現・文法事項を用いて、身近な話題について表現する。
- 3 年次：社会的な課題について意見を書く。

図 1 CAN-DO リスト

【卒業時】		進学先、職場、社会生活などにおいて、実践的に使用できる英語力の基礎を身につけることができる。	
外国語表現の能力		外国語理解の能力	
【第3学年】：履修科目「コミュニケーション英語Ⅲ」(4単位)及び「英語表現Ⅱ」(分割2単位) / 主な教材：左記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材			
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
学習到達目標	学習到達目標	学習到達目標	学習到達目標
科目・評価	科目・評価	科目・評価	科目・評価
提示された主張に関して、考察を深め、反論することができる。	序論・本論・結論などの段落構成を意識して、自分の意見や考えを書くことができる。	英語で行われる授業の内容、社会的な話題についての会話の概要を理解することができる。	コミュ英Ⅲの教科書レベルの英文を、辞書を使わずに、パラグラフ毎の要点を把握することができる。
コミュ英Ⅲ インタビュート 英語表現Ⅱ ミニディベート	コミュ英Ⅲ 定期考査・エッセイ 英語表現Ⅱ 定期考査・エッセイ	コミュ英Ⅲ リスニングテスト 定期考査	コミュ英Ⅲ リーディングテスト 定期考査
【第2学年】：履修科目「コミュニケーション英語Ⅱ」(4単位)及び「英語表現Ⅱ」(分割2単位) / 主な教材：左記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材			
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
学習到達目標	学習到達目標	学習到達目標	学習到達目標
科目・評価	科目・評価	科目・評価	科目・評価
社会的な話題について、3文以上の文で、自分の意見や考えを話すことができる。	topic sentence や supporting sentence などの文章構成を意識して、自分の意見や考えを書くことができる。	英語で行われる授業の内容、身近な話題についての会話を概ね理解することができる。	コミュ英Ⅱの教科書レベルの英文を、辞書を使わずに、概要を把握することができる。
コミュ英Ⅱ インタビュート 英語表現Ⅱ ミニディベート	コミュ英Ⅱ 定期考査・エッセイ 英語表現Ⅱ 定期考査・エッセイ	コミュ英Ⅱ リスニングテスト 定期考査	コミュ英Ⅱ リーディングテスト 定期考査
【第1学年】：履修科目「コミュニケーション英語Ⅰ」(4単位)及び「英語表現Ⅰ」(2単位) / 主な教材：左記科目の教科書、教科書の内容に関連した別教材			
話すこと	書くこと	聞くこと	読むこと
学習到達目標	学習到達目標	学習到達目標	学習到達目標
科目・評価	科目・評価	科目・評価	科目・評価
身近な話題について、3文以上の文で、自分の意見や考えを話すことができる。	文と文のつながりを意識して、自分の意見や考えを書くことができる。	ゆっくり、はっきり語られれば、英語の指示、身近な話題についての会話を理解することができる。	コミュ英Ⅰの教科書レベルの英文で、身近な内容の文章をほぼ理解することができる。
コミュ英Ⅰ インタビュート 英語表現Ⅰ スピーチ	コミュ英Ⅰ 定期考査・エッセイ 英語表現Ⅰ 定期考査・エッセイ	コミュ英Ⅰ リスニングテスト 定期考査	コミュ英Ⅰ リーディングテスト 定期考査

図2 ウォーム・アップとしてのスピーキング活動

< 1年次 >

Lesson 1 Cultures Go around the World Part 1 (pp.14~15)
 Class: No.: Name:

1. **Warm-up** In the future, would you prefer to live in Japan or in foreign countries?
 Why?

Ex) I'd like to live in Japan because it has four distinct seasons
 and we can experience both hot and cold weather.

[Your answer] I'd like to live in _____
 because _____


[Interview your friends]

Name	Japan or foreign countries	Reason(s)
	Japan / Foreign	
	J / F	
	J / F	

< 2年次 >

1. **Warm up** Tell the story of Part 1 to your partner for 1 minute, using the pictures and the key words below.
 First, choose your level:
 レベル1 : 英文を作成し、それを読む。
 レベル2 : 英語のキーワードだけを書き、それを元に伝える。

【Key words】



 岡本太郎氏の 写真 Okamoto Taro	 太陽の塔 の写真 Tower of the Sun	 Tomorrow's Mythologyの写真 Tomorrow's Mythology
 エッフェル塔と 凱旋門の写真 Paris	 パブロ・ ピカソ氏 の写真 Pablo Picasso	• abstract painting • Abstraction Cr�ation

※上記のワークシート内の写真は、著作権保護のため非掲載としている。

< 3年次 >

1. **Warm up**

① Talk about the advantages and disadvantages of bottled water and tap water with your classmates, and take notes.

Bottled water		Tap water	
AD	DA	AD	DA
			

② Do you think that bottled water is better for you than tap water? Why? / Why not?
 I (think / don't think) bottled water is better for me than tap water

③ Ask your classmates the question above (②) and take notes.

Name	Which is better?	Reason(s)
	Bottled / Tap	
	Bottled / Tap	
	Bottled / Tap	
	Bottled / Tap	
	Bottled / Tap	

2. 生徒に到達度を意識させ、学習意欲を育む評価の工夫

学習評価に関する研究指定校であったこともあり、生徒の英語学習に対するモチベーションや英語力を伸ばすために、評価を有効に活用する工夫を行っている。

○定期考査における採点基準を問題用紙に記載（図3）

Consistency（首尾一貫性）、Use of linking words（つなぎ言葉の適切な使用）、Grammar（文法）、Content（内容）というエッセイの採点基準が示され、生徒はこれを意識して解答することができる。

○生徒による自己評価の重視

生徒はワークシートに掲載された自己評価シート（図4）を確認し、達成目標を定める。この自己評価シートはCAN-DOリストに準拠したもので、各単元・パートの目標を示している。単元の学習終了後に、目標が達成できているかを自己評価する。自己評価シートは回収され、教員が生徒の達成状況を把握した上で、コメントを書いて返却する。

図3 採点基準を記載した定期テスト問題用紙

3年次 英語表現Ⅱ 定期考査	
次の英語の質問に英語で答えなさい。まず、Yes, I do.またはNo, I don't.のどちらかを○で囲んで自分の意見を示し、その理由を述べるパラグラフを <u>30 語以上</u> の英語で書きなさい。ただし、次に示すつなぎ言葉を2つ以上使用しなさい。同じつなぎ言葉は複数回使用しても「1つ」として数えます。	
<p>【Question】 Today, many people use electronic dictionaries. Do you think more people will choose to buy electronic dictionaries?</p> <p>【つなぎ言葉】 because / because of / this is because / for one thing / moreover / for another / therefore / as a result / thus / that's why</p>	
<p>【Your Answer】 下書き用 Yes, I do. / No, I don't.</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____ <u>30</u> _____</p> <p>_____</p> <p>_____</p> <p>_____</p>	
【採点基準】	
Consistency (首尾一貫性)	0 / 2
Use of linking words (つなぎ言葉の適切な使用)	0 / 1 / 2
Grammar (文法)	1 / 2 / 3
Content (内容)	1 / 2 / 3
合計10点	

図4 ワークシートに示す“Goals of Each Task and Your Evaluation”

Goals of Each Task and Your Evaluation					
ワークシートのそれぞれの Task の目的を確認し、実施後は自分で A,B,C を評価しよう。					
		A	B	C	あなたの評価
1	Warm-up	ペットボトルの水と水道水について自分の意見を英語で話すことができた。	ペットボトルの水と水道水について自分の意見を英語で書くことができた。	ペットボトルの水と水道水との良い点、悪い点を考えることができた。	
2	本文完成ノート	速読問題	ほぼ正確に答えることができた。	半分程度正確に答えることができた。	速読を心掛け英文を読むことができた。
		Reading Skill	ほぼ正確に答えることができた。	半分程度正確に答えることができた。	本文の構成を考えた。
		精読問題	ほぼ正確に答えることができた。	半分程度正確に答えることができた。	本文の内容を深く理解しようとした。
3	Vocabulary	4～5つ正確に答えることができた。	2～3つ正確に答えることができた。	0～1つ正確に答えることができた。	
4	Comprehension	A	全て正確に答えることができた。	2つ正確に答えることができた。	0～1つ正確に答えることができた。
		B	8～10つ正確に答えることができた。	4～7つ正確に答えることができた。	0～3つ正確に答えることができた。
5	Activity Plus	A	ほぼ全てまとめることができた。	半分程度まとめることができた。	英語を日本語でまとめようとした。
		B	自分の意見を英語でしっかり書くことができた。	自分の意見を半分程度英語で書くことができた。	自分の意見を英語で書こうとした。

一番多い評価 (A ・ B ・ C)

3. 的確な現状把握から目標設定を見直し、柔軟に指導を修正

英語教育の核となる CAN-DO リストを指導と評価において活用しているが、その目標達成に終始するだけでなく、生徒の状況を把握し、必要に応じて柔軟に指導の見直しを行っている。例えば、週1回の英語科会では单元ごとに作成するワークシートのアイデアを出し合うが、その際、課題が見られる点をより重視した活動を取り入れるための協議をする。定期考査や外部試験なども振り返りの指標として重視し、目の前の生徒の状況に合わせて軌道修正をし、より効果的に英語力を伸ばす方策を取るようになっている。

また、学年末には生徒対象の「英語調査」(図5)を実施し、CAN-DO リストに対する生徒の自己評価を確認し、目標設定の妥当性を検証している。

図5 英語調査シート

3年次英語調査 3年 級 番 号

忙しいとは思いませんが、学校の今後の英語授業改善のため、ご協力ください。

(1) 次の項目について、調査自身ができるかできないか、数字で答えてください。
(1 できる 2 ややできる 3 あまりできない 4 できない)

項目	調査
① 身近な話題について、3文以上の文で、自分の意見や考えを述べてください。	①
② 社会的な話題について、3文以上の文で、自分の意見や考えを述べてください。	②
③ 興味がある話題に関して、考察を深め、説明することができます。	③
英文と文のつながりを理解して、自分の意見や考えを書くことができます。	④
④ topic sentence や supporting sentence などの文章構成を理解して、自分の意見や考えを書くことができます。	④
⑤ 結論・本論・結論などの役割構成を理解して、自分の意見や考えを書くことができます。	⑤
⑥ 読むか、はっきり話をされれば、英語の辞書、身近な話題についての英語を理解することができます。	⑥
⑦ 英語で行われる授業の内容、身近な話題についての英語を聴く理解することができます。	⑦
⑧ 英語で行われる授業の内容、社会的な話題について英語の聴き取り理解することができます。	⑧
⑨ 以上の内容を理解した上で簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑨
⑩ 以上の内容を理解した上で簡単な英文で、読解を要する短い文章の読解をすることができます。	⑩
⑪ 簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑪
⑫ 簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑫
⑬ 簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑬
⑭ 簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑭
⑮ 簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑮
⑯ 簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑯
⑰ 簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑰
⑱ 簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑱
⑲ 簡単な英文で、自分の意見や考えを説明することができます。	⑲
⑳ その他	⑳

(2) 英語を勉強していますか。○をつけてください。
1. 結構勉強 2. 適度勉強 3. 結構勉強 4. 勉強していない

【英語学習について】
(3) 授業等で行った以下の項目に関して、英語学習への意欲を高める動機付けになったものに○をつけてください。(複数回答可)
1. 英語を聴いて理解する活動 2. 英語を聴いて理解する活動 3. 英語で意見を書く活動
4. 意見を書く活動 5. スピーチやプレゼン等の発表活動 6. AIJの授業 7. 英語での対話
8. 日本人の先生が英語を使用している事 9. 友達が英語を使用している事 10. 課外
11. ベア等での意見を英語で表現する活動 (Discussion) 12. 英語でのディベート活動
13. 定期試験の結果 14. 模擬試験の結果 15. 小テストの結果 16. 英語の成績 (評定)
17. 国際交流 (派遣) 18. 国際交流 (受け入れ) 19. 担任教員の言葉かけ
20. その他

(4) 3年間の英語の授業で印象に残っていることがあれば書いてください。

(5) 3年間の英語の授業の感想を書いてください。

(6) 英語の授業への提案等あれば書いてください。

以下はセンター試験で英語を受験した生徒のみ回答してください。

【受験について】
(7) 英語の受験勉強をいつから始めましたか。番号に○をつけてください。
1. 1年次 2. 2年次夏休み前 3. 2年次夏休み 4. 2年次9月～10月前
5. 2年次11月～12月前 6. 2年次12月 7. 3年次夏休み前
8. 3年次夏休み 9. 3年次夏休み 10. 3年次9月～10月前 11. 冬休み
(8) 受験勉強に際して立ちこんだことは何ですか。(複数回答可)
1. 単語カード 2. 単語集 3. Message 小テスト 4. 単語帳 (Workbook)
5. 辞書 6. オンライン 7. 「レジュメメーカー」等によるセンター演習
8. 英語を聴いて理解する活動 9. 英語を聴いて理解する活動 10. 英語で意見を書く活動
11. 意見を書く活動 12. スピーチやプレゼン等の発表活動 13. 英語でのディベート活動
14. ベア等での意見を英語で表現する活動 (Discussion) 15. 定期試験 16. 模擬試験
17. その他
(9) センター試験の結果を記入してください。

第1期		第2期			第3期			第4期		第5期	第6期
A	B	A	B	C	A	B	C	A	B		
78	78	720	712	712	78	715	718	720	715	720	720

【リスニング】

第1期	第2期	第3期		第4期		筆記合計
		A	B	A	B	
712	714	76	76	76	76	リスニング合計

(10) 受験時のモチベーションが保たれていたかどうか。

THANK YOU VERY MUCH!

◎授業以外の取組

1. 国際交流事業で生徒が世界を身近に感じる

38年間続いている交換留学制度は同校の特色の一つで、この制度に魅力を感じて入学してくる生徒もいる。

姉妹校であるオーストラリアのメルボルン近郊の学校へは、毎年12名の生徒が派遣されるが、応募者が多いため、選抜制にしている。現地では12日間ホームステイをしながら、学校に通う。オーストラリアから日本へ来る生徒も同校の生徒宅でホームステイをし、授業や日本の文化体験活動に参加する。留学を経験した生徒たちは、全校生徒の前で留学体験を発表するとともに、レポートを冊子にまとめ、他の生徒が閲覧できるようにしている。このように、「この学校では、外国で通用する英語力が身に付くとともに、外国の文化を知ることができる」という伝統が受け継がれている。

2. 中学生の英語暗唱大会を高校生が運営し、中高の接続を促す

同校の英語研究部では、中学生対象の英語暗唱大会を主催している。同大会には多くの中学校が参加し、毎年40～60名ほどの生徒が集まる。外国語科の教員が審査員を務めるものの、基本的には高校生が主催するイベントであり、中高が連携する場ともなっている。この活動を通して英語に関心を持ち、同校に入学を希望する中学生も少なくない。

終章

1. 本調査の意義

(1) 英語の資格・検定試験団体との連携による、4技能テストを開発・活用した大規模調査によって高校生の英語力を把握

「第2期教育振興基本計画」（平成25年6月閣議決定）において、グローバル人材育成に向けた取組として、外部資格試験を活用した生徒の英語力の把握・検証などによる戦略的な英語教育改善の取組の支援を行うことが掲げられたことを受け、昨年度に続き、2度目の大規模な調査を実施した。

全国の高等学校第3学年約9万人（約500校）を無作為抽出し（「話すこと」については1校あたり1クラス40人程度を対象）、生徒の英語力（聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの4技能）と英語の学習状況について経年比較を含め、調査・分析し、これまでの英語教育の成果と課題を検証した。また、昨年度の調査と同様、本調査では、CEFR（Common European Framework of Reference for Languages: ヨーロッパ言語共通参照枠）という国際的な指標を参照して測定・分析を行った。

その結果、CEFR A1レベルの人数の割合が減少し、その上のA2レベルとそれ以上が増加し、昨年度に比べて英語力の向上が見られる。また、昨年度、特に課題であった「書くこと」の得点者は全体の約80%となり、無得点者の割合が10ポイント減少するなどの改善が見られた。しかし、全体的には日本の高等学校第3学年の英語力は全ての技能において依然として課題があり、特に、「話すこと」及び「書くこと」の発信技能については改善が強く求められる状況である。

また、学校における指導上の課題、特に、指導や評価の具体的な方法に関する状況を改善する必要があることを明らかにするために、生徒及び英語担当教員を対象に実施した質問紙調査の結果を分析した。

学校及び教育委員会等においては、昨年度と今回の調査結果を、研修や授業指導の充実、生徒の学習状況の改善に役立てることが期待されるとともに、国としては、引き続き、次期学習指導要領の改訂に向けた検討材料として役立てることができるであろう。

(2) 英語4技能テスト実施の実行可能性を検証

本調査は、文部科学省が学習指導要領に基づき、生徒の英語の4技能の力を総合的に測るテストの仕様を作成し、民間の資格・検定試験団体（今回は株式会社ベネッセコーポレーションへ委託、ベネッセ教育総合研究所が協力）とともにテスト及び質問紙調査を作成・実施するという「フィージビリティ調査」の側面もあった。筆記テストの試験監督及びスピーキングテストの試験官は調査対象校の英語担当教員などが務め、試験官の事前の研修を含めたテストの運用について実験的な要素を持たせた。

なお、平成26年度に実施した前回調査では、旧学習指導要領で学んだ高等学校第3学

年の英語力を調査した。一方、平成 27 年度に実施した本調査では、現行の学習指導要領で学んだ高等学校第 3 学年の英語力を測定し、経年比較を行っている。1 年間でテストスコアの全体的な改善の傾向が見られるとともに、質問紙を通じた授業改善なども着実に進んでいることが認められるが、学習指導要領の改訂による効果などについては、調査の継続と詳細な分析が期待される。

また、このような結果の活用による指導改善に関する取組を通じて、高等学校の英語教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立していくことが期待される。全国的な無作為抽出による調査であるため、調査参加校以外では、全体の傾向の把握、技能ごとの課題や指導改善の方向性などの把握となる結果ではあるが、これらのデータを参考にそれぞれの地域及び校内の研修等において活用し授業改善などにつなげていただきたい。

さらに、平成 26 年 12 月、中央教育審議会答申 1 において提言がなされた高大接続の実現に向けた新しい「大学入学希望者学力評価テスト（仮称）」及び「高等学校基礎学力テスト（仮称）」の在り方について、現在、専門家会議において審議がなされている。特に、英語については資格・検定試験の活用を含めた 4 技能テストの開発及び導入が検討されており、本調査の実施はその可能性を検証する上で意義深い。

2. 改善への取組のポイント

(1) 指導上の主な問題点と改善への指針

本編でも言及しているが、ここで改めて、本調査によって明らかになった指導上の問題点及び改善策を整理しておく。

【リーディング】

目的に応じて読む指導が十分ではなく、生徒はどのような英文を読む場合も「すべての文の内容を正しく理解する」ように学習してきた傾向が強いようである。まずはまとまりのある英文を素早く読んで概要をつかんだ上で、目的に応じて、情報を探すために、主張の根拠を検討するために、あるいは筆者の真意を読み取るためにじっくりと読むといった読み方を指導されていない可能性が依然として考えられる。

リーディングの指導に使用する教材を「読む目的の多様性」という視点で見直した上で、様々な読み方の指導を行うべきである。そのため、現在使用している教科書の英文が、年度当初から生徒にとって難し過ぎないか、長過ぎないか、あるいは短過ぎないか、さらには、英文の種類に多様性があり、内容にも深みがあるかなどについて検討を行う必要がある。特に、読みながら考える習慣を促進するためにも、論証文を十分に読み、書き手は一番何を伝えたいのか、その主張は説得力があるのかといったことを批判的に読む活動を取り入れるとよいだろう。「わかりましたか？」ではなく、「納得しましたか？」という発問をし、ディ

ベートやディスカッションをしたり、筆者に質問や反論を書いたりするといった活動を行うことが求められる。

【リスニング】

英語を英語のまま理解することに慣れていない生徒が多いと推察される。このことは、聞き取る英文に出てくる表現とは別の表現が設問で使われている際に、両者を関連付けることができない生徒が多いことからわかる。したがって、新学習指導要領で明示されているように英語の授業は英語で行うことを基本とし、教員が教科書で使われている英語や生徒の発話内容を他の表現で言い換えることなどを積極的に行うことが望まれる。

また、話の要点や全体の流れ（誰が、どのような立場で、どのような意図で、何を話しているか）を論理的に追いながら理解する力が不足しているため、断片的な内容理解にとどまっている。実際のコミュニケーションにおいて使用される話の展開を示す表現などを学習した上で、キーワードや要点を聞き取り、話の流れをメモするといった活動を行うことが求められる。

【ライティング】

そもそも英文を書く経験が不足している生徒が多い。好きな色、好きなスポーツといった平易なトピックについて、数文書くことから始めればよい。また、平易な英文を読み、その概要・要点や内容に対する感想や意見などを、既知の表現を使って数文で書く活動を日常的に行う必要がある。英文を読む際に重要と思われる箇所をノートに書き留めたり、それらをパラフレーズしたり、コメントを書いたりするといった統合的な学習を続けることによって、思考し、判断した上で、書く力を育むことができる。ただし、長期間にわたり、このような活動を継続することが肝要である。

また、与えられた話題について論点や根拠を明確にして書かせる指導が不十分である。例えば、“Winter is better than summer.”といった平易な話題について、立場を明確にし、主張と根拠を区別して、例を挙げて書く活動を増やすことが大切である。考えが浮かばないという生徒も多いので、英語を書く前段階の活動として、理由や具体例を出し合うブレンストーミングのような活動をペアやグループで行うとよい。

さらに、より長い英文を書けるようになるために、文章の構成方法を指導し、アウトラインを作成した上で書かせるといった指導も求められる。

【スピーキング】

スピーキングに関しては、英語で話し合ったり意見を交換したりする活動を経験していない生徒の割合が高いため、ペア・ワークやグループ・ワークといった協同的な学習活動の形態をこれまで以上に取り入れることが求められる。その際、スピーキングを独立した技能として扱うのではなく、聞いたり読んだりした内容をまとめ、それを基に考えを発表したり

対話したりする学習を経験させることが重要である。また、即興で話す力を育むことも重要なので、即興で1分間スピーチをしたり、ペアで1～2分間会話を続けたり、といった活動も取り入れるとよい。

さらに、生徒質問紙において「英語の授業では、英語でのディベートやディスカッションをしていた」と回答した生徒ほど、本調査において、より適切かつ多様な表現を使った応答ができています。

このことに鑑み、生徒が興味・関心を持つことができる身近な話題について主体的にスピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなどの活動を行い、様々な形態で発話する体験ができる指導が求められる。

以上、本調査で明らかになった各技能に係る課題とその改善策の例について述べた。

依然として「聞く」「読む」という受信技能にも問題はありますが、特に、「話す」「書く」の発信技能が弱い。ただし、2つ以上の技能を統合的に使うことに慣れていない生徒が多いので、学習指導要領で明示しているように、それぞれの技能を個別に指導するだけでなく、複数の技能を統合して使う活動を多く経験させて、4技能を総合的に育成する必要がある。そのためには、聞いたり読んだりしたことを理解するだけにとどまらず、聞いたり読んだりしたことについて、生徒が主体的に考えを話したり書いたりして人に伝えることを最終的な目的とした指導が行われることが望ましい。

日々の授業において、生徒が英語の基礎的・基本的な知識・技能を活用し、幅広い話題について発表・討論・交渉などを行う言語活動を豊富に経験することで、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりし、互いに学び合う意識を高め、コミュニケーション能力を向上させていく必要がある。そのため、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションなどの言語活動を通して自ら課題を発見し、生徒が主体性を持って他者と協働し、思考力・判断力・表現力等を向上する学習体験（アクティブ・ラーニング）を充実させることが求められる。

(2) 総合的なコミュニケーション能力の育成に資する目標の設定など

高等学校卒業時に、生涯にわたり「聞く」「読む」「話す」「書く」の4技能を積極的に使えるような総合的なコミュニケーション能力を身に付けていることが重要である。しかしながら、本調査では、4技能に係る生徒の英語力の弱点及び指導上の問題点が明確になった。

また、生徒の英語学習に対する意識面では、昨年度同様、「英語の学習が好きではない」との回答が半数以上であった。一方、テストのスコアが高い生徒ほど将来の英語使用のイメージが具体的であった。

現在、中央教育審議会・教育課程企画特別部会において、次期学習指導要領が審議されているが、その検討においては、将来の英語使用のイメージを持ちながら学習意欲の維

持・向上を図るため、身に付けた知識・技能を主体的に活用して、「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した教育目標（4技能に係る具体的な指標の形式）が設定されることが強く望まれる。

併せて、生徒の英語力を把握し、きめ細かな指導の改善・充実や生徒の学習意欲の向上につなげるため、従来から設定されている英語力の最低限の目標（学習指導要領に沿って設定されている「中学校卒業段階：英検3級程度以上」「高等学校卒業段階：英検準2級程度から2級程度以上」）はもちろんのこと、それぞれの学校や学科の生徒たちの特性・進路などに応じて、例えば、高等学校卒業段階で、CEFR B2 レベル（英検準1級、GTEC CBT 1250～1399点、TOEFL iBT 72～94点、TEAP 334～399点など）に到達する生徒の割合を検証し、課題の分析、指導の改善に役立てることが考えられる。

（3）学校における指導・評価の改善

概要や要点をとらえる活動はある程度経験しているが、それらのスキルを基にして英語で議論したり書いたりする活動をあまり経験していない、また、与えられた課題について、立場を決めて意見を話したり書いたりといった学習を経験している生徒が少ない。「聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で話し合ったり意見を交換したりした」と思う生徒の割合はテスト結果がよいほど高いことなどから、「話すこと」や「書くこと」などを通じて主体的に互いの考えや気持ちを英語で伝え合う言語活動を更に展開することが重要である。各校では、学習指導要領を踏まえながら、4技能を通じて「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、学習到達目標をCAN-DO形式で設定し、技能の統合を意識した言語活動に関する指導・評価の方法を改善することが必要である。併せて、生徒の4技能の英語力とともに、学習状況の調査・分析を行い、その結果を教員の指導改善や生徒の英語力の向上に生かすことが重要である。特に、「英語の学習が好きではない」という回答が依然として半数を上回ることから、主体的な学びにつながる「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」を重視した評価を行うことによって、生徒自らが主体的に学ぶ意欲や態度などを含めた多面的な評価方法を検証し、活用していくことが重要である。

そのためにも、本調査を次年度以降も引き続き実施して経年比較を行うこと、教員の指導力向上に資する教材や指導事例集などを作成して活用すること、平成26年度から文部科学省が行っている「英語教育強化地域拠点事業」や「外部専門機関と連携した英語指導力向上事業」などを継続していくことが求められる。

（4）入学者選抜などの改善

大学入学者選抜における英語力の測定については、高等学校での学習を踏まえ、4技能のコミュニケーション能力が適切に評価されることが必要である。そのため、各大学では、アドミッション・ポリシー、カリキュラム・ポリシー、ディプロマ・ポリシーなどとの整合性を図ることを前提に、入学者選抜に4技能を測定する資格・検定試験の更なる活用を促進す

ることが強く望まれる。特に「スーパーグローバル大学創成事業」で採択された大学のうち未実施の大学は、大学入試センター試験の改編を待たずに、個別選抜での4技能を測定する資格・検定試験（4技能の得点が均等配分であることが望まれる）の活用を、スピード感を持って検討・実施すべきである。また、高等学校における英語力評価や入学者選抜においても、4技能をバランスよく測定できる試験、さらには、2技能以上を統合して使う力を測定できる試験の開発もしくは活用の検討が急務である。

ただし、今後、日常的な評価の他に、資格・検定試験を英語学習の1つの評価手段として活用する場合、試験対策そのものが英語学習の目的とならないように留意し、コミュニケーション能力の向上につながる授業展開が求められる。

(5) 教科書・教材の改善

これまで述べたような指導改善を行うに当たっては、発表・討論・交渉といった言語活動を展開し、総合的なコミュニケーション能力を育成する必要がある。

このため、今後の教科書・教材については、これらの言語活動を効果的に行うことができるように英文の語彙・文法レベル、内容、長さ（総語数）などについて十分な配慮が求められる。また、コミュニケーション能力を効率的かつ効果的に育成するために、音声や映像を含めたICTを活用した教材の開発、生徒が無料でアクセスできるシステムの構築、授業および授業以外における効果的な使用法の検討を促進すべきである。

次期学習指導要領改訂の検討においては、指標形式の目標が掲げられることが検討されている。これに伴い、教科書検定の基準の見直しとともに、国は検定の過程において教科書の改善に資する助言をするといった、検定そのものの在り方の見直しを検討すべきである。

(6) 英語担当教員の養成・採用・研修の改善

本調査から見えてきた様々な課題に対し、英語担当教員の英語力及び指導力の向上も喫緊の課題であると言える。英語担当教員が4技能を通じて高いコミュニケーション能力と指導力を修得できるよう、教職課程の在り方、採用の基準と方法、現職の英語担当教員に対する研修を一体的に見直す必要がある。

教職課程においては、生徒の英語による言語活動が中心となる授業を展開する力を身に付けることが求められる。そこで、4技能を総合的に育成するための指導法、発表・討論・交渉などの言語活動の充実に対応した指導計画の作成をはじめ、ペア・ワークやグループ・ワークの展開方法、時事的な話題や社会課題などについて意見交換などを行う授業の在り方、4技能の能力を適切に測ることができる評価方法（筆記テストに加え、特に「話すこと」や「書くこと」の能力を測るためのパフォーマンス評価など）の在り方、さらには教材の効果的な活用方法などに関する内容の改善が必要である。

現在、国の委託事業として教員の英語力・指導力に関する調査事業が行われ、大学、教育委員会からの意見などを踏まえた教員養成のためのコア・カリキュラム策定などの試みが

進められているが、この英語力調査の結果も踏まえた上で、具体的な検討が期待される。例えば、必修科目が中・高校生に英語を教える上で役立つものであるかどうか、日本語での指導に偏っていないか、海外での学習活動（留学やインターンシップなど）がどれだけ組み込まれているか、外国籍の教員がどれだけ配置されているか、などを検討すべきである。

教員採用に関しては、資格・検定試験による一定の英語力（中学校・高等学校ともに、CEFR B2 レベル）を証明するスコアカード等の提出を「受験資格」の一部として求めることが望ましい。そして、教員採用試験においては、英語による模擬授業、英語および日本語によるディスカッションやディベートの実践、海外生活体験やボランティア活動の有無など、多様な視座から英語力、グローバル対応力、リーダーシップ力、実践的な指導力を評価することが求められる。

また、昨年度と同様、本調査においても、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語を用いて話し合ったりする授業をあまり行っていない教員が多いことが明らかになった。そのため、現職教員の研修においても、前述の教職課程で扱うべき内容と同様の事項について、国内および海外における研修の機会を充実させることが求められる。ただし、研修の強化は、教員の通常業務の負担の軽減とともに実施されることが望ましい。

さらに、こうした取組を通じて、養成段階における英語教員志望者及び現職の英語担当教員の英語力を、少なくとも CEFR B2 レベル（例 英検準1級、GTEC CBT 1250～1399点、TOEFL iBT 72～94点、TEAP 334～399点）以上までに高めていくことなどが期待される。そのためにも、大学における教職課程科目を担当している教員の英語力は CEFR C1 レベル以上であることが求められる。

(7) 今後の取組について

本調査は、生徒の4技能を直接測るフィージビリティ調査として2年連続で実施した。高等学校の英語力や学習状況についてデータが得られたことにより、より明確に課題が浮き彫りになった。

この調査から明らかになった課題や今後の改善に向けての方針については、学習指導要領の改訂や、各地域における研修会や研究会、校内研修などにおいて活用されることが期待される。

一方で、エビデンスベースによる成果及び課題の分析に基づいて行われる PDCA サイクル構築を通じた改善・充実を目指す調査としては、2年間の経年比較では、十分とは言えない。国の教育振興基本計画に掲げられた生徒の英語力の目標などを踏まえつつ、更なる調査の在り方について検討を行い、教育振興基本計画に沿った長期的な観点から生徒の英語力向上に資する戦略的なデータの収集・分析と取組を行うことが期待される。

<関連資料>

(1) 「英語教育改善のための英語力調査の分析・活用に関する検討委員会」の設置

平成 27 年 5 月 1 日
初等中等教育局長決定

1. 設置の趣旨

平成 27 年度「英語教育改善のための英語力調査事業」を活用して、生徒の英語力の現状等を検証するとともに、調査結果に関する分析及びその活用の推進のための方策等について検討を行う「英語教育改善のための英語力調査の分析・活用に関する検討委員会」を設置する。

2. 取扱事項

- (1) 生徒の英語力の現状把握及び調査結果の分析
- (2) 調査結果を活用した改善に向けた取組の推進方策の検討
- (3) その他

3. 実施方法

- (1) 本委員会の構成員は別紙のとおりとする。
- (2) 本委員会のもとに、必要に応じてワーキンググループを置くことができる。
- (3) 必要に応じて、別紙以外の関係者にも協力を求めることができる。

4. 実施期間

平成 27 年 5 月 1 日から平成 28 年 3 月 31 日

5. その他

この作業に関する庶務は、初等中等教育局国際教育課において行う。

6. 英語教育改善のための英語力調査事業報告書 執筆協力者（五十音順）

（職名は平成 27 年 5 月現在）

「英語教育改善のための英語力調査事業」の分析・活用に関する
検討委員会 委員（○は主査）

- | | |
|--------|-----------------------|
| 安間 一雄 | 獨協大学国際教養学部言語文化学科 教授 |
| 岡部 憲治 | 工学院大学附属中学校・高等学校 教諭 |
| 竹内 理 | 関西大学外国語学部外国語学科 教授 |
| 根岸 雅史 | 東京外国語大学大学院総合国際学研究院 教授 |
| ○ 松本 茂 | 立教大学グローバル教育センター長 |
| 森 博英 | 東京女子大学現代教養学部人間科学科 教授 |
| 渡部 良典 | 上智大学言語科学研究科 教授 |

文部科学省においては、次の関係官が担当した。

- | | |
|-------|---|
| 向後 秀明 | 文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官
（兼）国際教育課外国語教育推進室教科調査官 |
|-------|---|

(2) 本調査の背景に関する参考資料

◆ 第2期教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定)(抜粋)

基本施策16 外国語教育, 双方向の留学生交流・国際交流, 大学等の国際化など, グローバル人材育成に向けた取組の強化

【基本的考え方】

- グローバル化が加速する中で, 日本人としてのアイデンティティや日本の文化に対する深い理解を前提として, 豊かな語学力・コミュニケーション能力, 主体性・積極性, 異文化理解の精神等を身に付けて様々な分野で活躍できるグローバル人材の育成が重要である。
- このため, 「社会を生き抜く力」の確実な養成を前提とし, **英語をはじめとする外国語教育の強化**, 高校生・大学生等の留学生交流・国際交流の推進, 大学等の国際化のための取組(秋季入学に向けた環境整備, 海外大学との国際的な教育連携等)への支援, 国際的な高等教育の質保証(単位の相互認定, 適切な成績評価等)の体制や基盤の強化等を実施するとともに, 意欲と能力ある全ての日本の若者に, 留学機会を実現させる。

【主な取組】

16-1 英語をはじめとする外国語教育の強化

- ・新学習指導要領の着実な実施を促進するため, 外国語教育の教材整備, 英語教育に関する優れた取組を行う拠点校の形成, **外部検定試験を活用した生徒の英語力の把握検証などによる, 戦略的な英語教育改善の取組の支援**を行う。また, 英語教育ポータルサイトや映像教材による情報提供を行い, 生徒の英語学習へのモチベーション向上や英語を使う機会の拡充を目指す。
- ・また, 小学校における英語教育実施学年の早期化, 指導時間増, 教科化, 指導体制の在り方等や, 中学校における英語による英語授業の実施について, 検討を開始し, 逐次必要な見直しを行う。
- ・教員の指導力・英語力の向上を図るため, 採用や自己研鑽等での外部検定試験の活用を促すとともに, 海外派遣を含めた教員研修等を実施する。

◆ 第2期教育振興基本計画(平成25年6月14日閣議決定)(抜粋)

成果目標5(社会全体の変化や新たな価値を主導・創造する人材等の養成)

「社会を生き抜く力」に加えて, 卓越した能力※を備え, 社会全体の変化や新たな価値を主導・創造するような人材, 社会の各分野を牽引するリーダー, グローバル社会にあって様々な人々と協働できる人材, とりわけ国際交渉など国際舞台で先導的に活躍できる人材を養成する。

これに向けて, 実践的な英語力をはじめとする語学力の向上, 海外留学者数の飛躍的な増加, 世界水準の教育研究拠点の倍増などを目指す。

(※能力の例: 国際交渉できる豊かな語学力・コミュニケーション能力や主体性, チャレンジ精神, 異文化理解, 日本人としてのアイデンティティ, 創造性など)

【成果指標】

<グローバル人材関係>

①国際共通語としての英語力の向上

・**学習指導要領に基づき達成される英語力の目標(中学校卒業段階: 英検3級程度以上, 高等学校卒業段階: 英検準2級程度～2級程度以上)を達成した中高校生の割合50%**

②英語教員に求められる英語力の目標(英検準1級, TOEFL iBT80点, TOEIC730点程度以上)を達成した英語教員の割合(中学校:50%, 高等学校:75%)

グローバル化に対応した英語教育改革実施計画

2014年12月13日
文部科学省発表

初等中等教育段階からグローバル化に対応した教育環境づくりを進めるため、小学校における英語教育の拡充強化、中・高等学校における英語教育の高度化など、小・中・高等学校を通じた英語教育全体の抜本的充実を図る。2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピックを見据え、新たな英語教育が本格展開できるように、本計画に基づき体制整備等を含め2014年度から逐次改革を推進する。

1. グローバル化に対応した新たな英語教育の在り方

- 小学校中学年：**活動型・週1～2コマ程度**
 - ・コミュニケーション能力の素地を養う
 - ・**学級担任**を中心に指導
 - 小学校高学年：**教科型・週3コマ程度**
 - (「モジュール授業」も活用)
 - ・初歩的な英語の運用能力を養う
 - ・英語指導力を備えた学級担任に加えて**専科教員の積極的活用**
 - 中学校
 - ・身近な話題についての理解や簡単な情報交換、表現ができる能力を養う
 - ・**授業を英語で行うことを基本**とする
 - 高等学校
 - ・幅広い話題について抽象的な内容を理解できる、英語話者となる程度流暢にやりとりができる能力を養う
 - ・授業を英語で行うとともに、**言語活動を高度化**(発表、討論、交渉等)
- ※小・中・高を通じて一貫した学習到達目標を設定することにより、英語によるコミュニケーション能力を確実に養う
※日本人としてのアイデンティティに関する教育の充実(伝統文化・歴史の重視等)

2. 新たな英語教育の在り方実現のための体制整備(平成26年度から強力に推進)

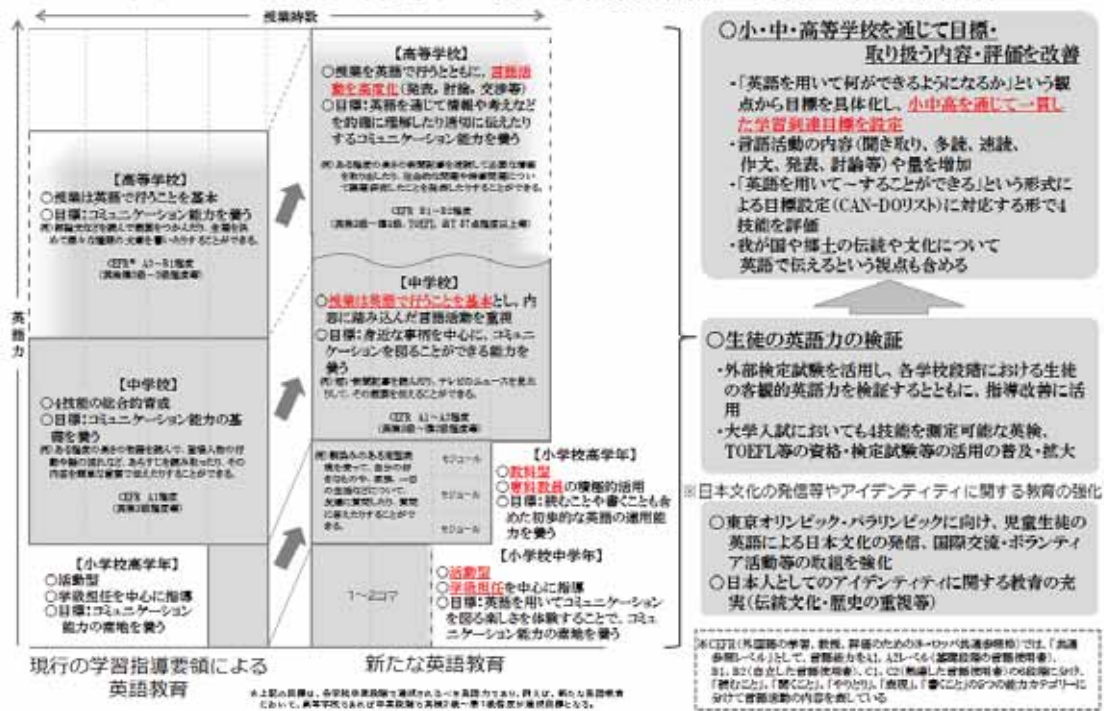
- 小学校における指導体制強化
 - ・小学校英語教育推進リーダーの加配措置・養成研修
 - ・専科教員の指導力向上
 - ・小学校学級担任の英語指導力向上
 - ・研修用映像教材等の開発・提供
 - ・教員養成課程・採用の改善充実
- 中・高等学校における指導体制強化
 - ・中・高等学校英語教育推進リーダーの養成
 - ・中・高等学校英語科教員の指導力向上
 - ・外部検定試験を活用し、県等ごとの教員の英語力の達成状況を定期的に検証
 - ※全ての英語科教員について、英検準1級、TOEFL iBT 80点程度以上の英語力を確保
- 外部人材の活用促進
 - ・外国語指導助手(ALT)の配置拡大、地域人材等の活用促進(ガイドラインの策定等)
 - ・ALT等向けの研修強化・充実
- 指導用教材の開発
 - ・先行実施のための教材整備
 - ・モジュール指導用ICT教材の開発・整備

小・中・高の各段階を通じて英語教育を充実し、生徒の英語力を向上(高校卒業段階で英検2級～準1級、TOEFL iBT 57点程度以上等) - 外部検定試験を活用して生徒の英語力を検証するとともに、大学入試においても4技能を測定可能な英検、TOEFL等の資格・検定試験等の活用の普及・拡大

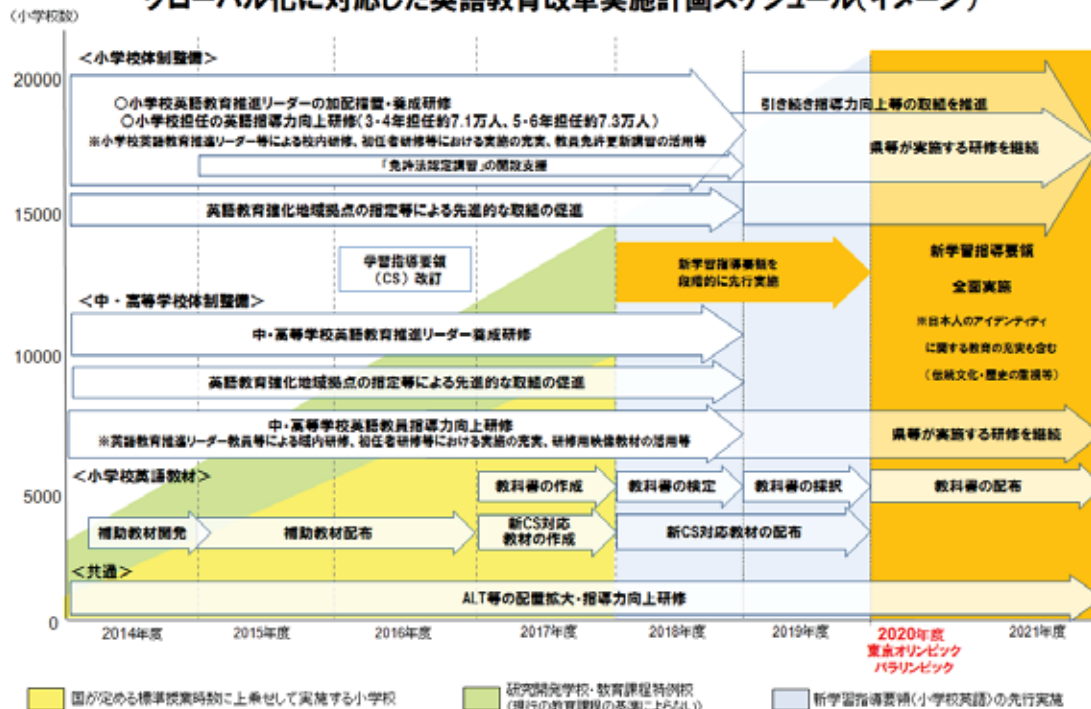
3. スケジュール(イメージ)

- 2014年1月頃 有識者会議設置
- 2014～2018年度 指導体制の整備、英語教育強化地域拠点事業・教育課程特例校による先取り実施の拡大
- 中央教育審議会での検討を経て学習指導要領を改訂し、2018年度から段階的に先行実施
- 東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせて2020年度から全面実施

1. グローバル化に対応した新たな英語教育の目標・内容等(案)



グローバル化に対応した英語教育改革実施計画スケジュール(イメージ)



英語教育の充実

<教育再生実行会議の提言(第3次提言:H25年5月)>

○小学校英語の抜本拡充(早期化、指導時間増、教科化、専任教員配置等)、中学校における英語による英語授業の実施、初等中等教育を通じた系統的な英語教育について、学習指導要領の改訂も視野に入れ検討。

○英語教員がTOEFL等の外部検定試験において一定の成績(TOEFL iBT80程度等 以上)を収めることを目指し、研修を充実・強化。

<今後の英語教育の改善・充実方策について 報告(日26年9月26日:英語教育の在り方に関する有識者会議)>

- 文科省の「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」(平成25年12月)の具体化のため、平成26年2月～9月に9回開催(そのほか計5回の小委員会を開催)。
- 改革のうち、教育課程や教員養成等については、中央教育審議会等における全体的な議論の中で更に検討。

[改革の背景]

- グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は日本の将来にとって極めて重要。アジアの中でトップクラスの英語力を目指すべき。今後、英語の基礎的・基本的な知識・技能と、それらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成は重要な課題。
- 英語教育は、改善も見られるが、特にコミュニケーション能力の育成について更なる改善を要する課題も多い。東京オリンピック・パラリンピックを迎える2020(平成32)年を見据え、小・中・高を通じた新たな英語教育改革を順次実施できるよう検討を進める。並行して、これに向けた準備期間の取組や、先取りした改革を進める。

今後の英語教育の改善・充実方策について報告のポイント (平成26年9月26日)

- **改革1. 国が示す教育目標・内容の改善**
 - ①小・中・高等学校の学びを円滑に接続させる、②「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した教育目標を示す
 - ・小学校3・4年生：活動型を開始し、音声に慣れ親しむ
 - ・小学校5・6年生：身近なことについて基本的表現によって4技能を積極的に使える英語力を身に付ける
学習の系統性を持たせるため教科として行うことが求められる
 - ・中学校：授業は英語で行うことを基本とし、互いの考えや気持ちを伝え合う言語活動を重視
 - ・高等学校：授業を英語で行うことを基本とし、言語活動を高度化（幅広い話題について発表、討論、交渉等）
- **改革2. 学校における指導・評価**
 - ・英語を使って何ができるようになるかという観点からCAN-DO形式の学習到達目標に基づく指導と学習評価
- **改革3. 高等学校・大学の英語力の評価及び入学者選抜の改善**
 - ・入学者選抜における英語力の測定において、4技能のコミュニケーション能力を適切に評価
 - ・4技能を測定する資格・検定試験の活用促進。学校、専門家、資格・試験団体等が参画する協議会を設置し必要な情報発信、指針づくり(学習指導要領との関係、換算方法、受験料・場所、適正・構成な実施体制等)等
- **改革4. 教科書・教材の改善**
 - ・学習指導要領に沿った教科書検定
 - ・音声や映像を含めたデジタル教科書・教材の検討
- **改革5. 学校における指導体制の充実**
 - ・現職教員の研修(大学・外部専門機関との連携による地域の中心となる「英語教育推進リーダー」等の養成)
 - ・教員養成(カリキュラムの開発・改善、「免許法認定講習」開設支援、等)、英語指導力のある教員採用
 - ・外部人材の活用促進(ALT、非常勤講師、特別免許状の活用)

今後の英語教育の改善・充実方策について 報告(概要) ～グローバル化に対応した英語教育改革の5つの提言～

英語教育の在り方に関する有識者会議 平成26年

- 文部科学省の「グローバル化に対応した英語教育改革実施計画」(平成25年12月)の具体化のため、平成26年2月～9月に9回開催(そのほか計5回の小委員会を開催)。
- 改革のうち、教育課程や教員養成等については、中央教育審議会等における全体的な議論の中で更に検討を要する。

改革を要する背景

- グローバル化の進展の中で、国際共通語である英語力の向上は日本の将来にとって極めて重要である。
アジアの中でトップクラスの英語力を目指すべき。
今後の英語教育改革においては、その基礎的・基本的な知識・技能と、それらを活用して主体的に課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成は重要な課題。
- 我が国の英語教育は、現行の学習指導要領を受けた改善も見られるが、特にコミュニケーション能力の育成について更なる改善を要する課題も多い。
東京オリンピック・パラリンピックを迎える2020(平成32)年を見据え、小・中・高を通じた新たな英語教育改革を順次実施できるよう検討を進める。
並行して、これに向けた準備期間の取組や、先取りした改革を進める。

改革1. 国が示す教育目標・内容の改善

- 学習指導要領では、小・中・高を通して①各学校段階の学びを円滑に接続させる、②「英語を使って何ができるようになるか」という観点から一貫した教育目標(4技能に係る具体的な指標の形式の目標を含む)を示す(具体的な学習到達目標は各学校が設定)。
- 高等学校卒業時に、生涯にわたり「聞く」「話す」「読む」「書く」の4技能を積極的に使えるようになる英語力を身に付けることを目指す。
あわせて、生徒の英語力を把握し、きめの細かな指導の改善・充実や生徒の学習意欲の向上につなげるため、従来から設定されている英語力の目標(学習指導要領に沿って設定される目標(中学校卒業段階:英検3級程度以上、高等学校卒業段階:英検準2級程度から2級程度以上)を達成した中・高生の割合50%)だけでなく、高等学校段階の生徒の特性・進路等に応じた英語力、例えば、高等学校卒業段階で、英検2～準1級、TOEFL iBT60点前後以上等を設定し、生徒の英語力の把握・分析・改善を行うことが必要。
- ・小学校：中学年から外国語活動を開始し、音声に慣れ親しませながらコミュニケーションの素地を養うとともに、ことばへの関心を高める。高学年では身近なことについて基本的な表現によって「聞く」「話す」ことなどに加え、「読む」「書く」の態度の育成を含めたコミュニケーション能力の基礎を養う。学習の系統性を持たせるため教科として行うことが求められる。小学校の英語教育に係る授業時数や位置づけなどは、今後、教育課程の全体の議論の中で更に専門的に検討。
- ・中学校：身近な話題についての理解や表現、簡単な情報交換ができるコミュニケーション能力を養う。文法訳読に偏ることなく、互いの考えや気持ちを英語で伝え合うコミュニケーション能力の養成を重視する。
- ・高等学校：幅広い話題について発表・討論・交渉などを行う言語活動を豊富に体験し、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりするコミュニケーション能力を高める。

改革2. 学校における指導と評価の改善

- 英語学習では、失敗を恐れず、積極的に英語を使おうとする態度を育成することが重要。
中学校・高等学校では、主体的に「話す」「書く」などを通じて互いの考えや気持ちを英語で伝え合う言語活動を展開することが重要。
また、生徒が英語に触れる機会を充実し、中学校の学びを高等学校へ円滑につなげる観点から、中学校においても、生徒の理解の程度に応じて、授業は英語で行うことを基本とする。
- 各学校は、学習指導要領を踏まえながら、4技能を通じて「英語を使って何ができるようになるか」という観点から、学習到達目標を設定(例:CAN-DO形式)し、指導・評価方法を改善。併せて主体的な学びにつながる「コミュニケーションへの関心・意欲・態度」を重視し、観点別学習状況の評価において、例えば、「英語を用いて～ができる」とする観点を「英語を用いて～しようとしている」とした評価を行うことによって、生徒自らが主体的に学ぶ意欲や態度などを含めた多面的な評価方法等を検証・活用。
- 小学校高学年で教科化する場合、適切な評価方法については先進的取組を検証し、引き続き検討。

改革3. 高等学校・大学の英語力の評価及び入学選抜の改善

- 生徒の4技能の英語力・学習状況の調査・分析を行い、その結果を、教員の指導改善や生徒の英語力の向上に生かす。
- 入学選抜における英語力の測定は、4技能のコミュニケーション能力が適切に評価されることが必要。
- 各大学等のアドミッション・ポリシーとの整合性を図ることを前提に、入学選抜に、4技能を測定する資格・検定試験の更なる活用を促進。そのため、学校、テスト理論等の専門家、資格・試験関係団体等からなる協議会を設置し、
 - ・適切な資格・検定試験の情報提供、
 - ・指針づくり(学習指導要領との関係、評価の妥当性、換算方法、受験料・場所、適正/公正な実施体制等)、
 - ・試験問の検証、英語問題の調査・分析・情報提供等の取組を早急に進めることが必要。
- 「達成度テスト」の具体的な検討を行う際には、連絡協議会の取組を参考に英語の資格・検定試験の活用の在り方も含め検討。

改革4. 教科書・教材の充実

- 小学校高学年で教科化する場合、学習効果の高いICT活用も含め必要な教材等を開発・検証・活用。
- 主たる教材である教科書を通じて、説明・発表・討論等の言語活動により、思考力・判断力・表現力等が一層育成されるよう、次期学習指導要領改訂においてそのような趣旨を徹底するとともに、教科用図書検定基準の見直しに取り組む。
- 国において音声や映像を含めた「デジタル教科書・教材」の導入に向けた検討を行う。
- ICT予算に係る地方財政措置を積極的に活用し、学校の英語授業におけるICT環境を整備。

改革5. 学校における指導体制の充実

- 地域の大学・外部専門機関との連携による研修等の実施や、地域の指導的立場にある教員が英語教育担当指導主事や外部専門家等とチームを組んで指導に当たることなどにより、地域全体の指導体制を強化。地域の中心となる英語教育推進リーダー等の養成、定数措置などの支援が必要。
- 各学校では、校長のリーダーシップの下で、英語教育の学校全体の取組方針を明確にし、中核教員等を中心とした指導体制の強化に取り組むことが重要。
- 小学校の学びを中学校へ円滑に接続させるため、小中連携の効果が期待される相互乗り入れ授業、カリキュラムづくり、指導計画作成などを行う合同研修など実質的な連携促進が必要。
- 小学校の中学年では、主に学級担任が外国語指導助手(ALT)等とのチーム・ティーチングも活用しながら指導し、高学年では、学級担任が英語の指導力に関する専門性を高めて指導する、併せて専科指導を行う教員を活用することにより、専門性を一層重視した指導体制を構築。小学校教員が自信を持って専科指導に当たることが可能となるよう、「免許法認定講習」開設支援等による中学校英語免許状取得を促進。英語指導に当たる外部人材、中・高等学校英語担当教員等の活用を促進。
- 2019(平成31)年度までに、すべての小学校でALTを確保するとともに、生徒が会話、発表、討論等で実際に英語を活用する観点から中・高等学校におけるALTの活用を促進。
- 大学の教員養成におけるカリキュラムの開発・改善が必要。例えば、
 - ・小学校における英語指導に必要な基本的な英語音声学、英語指導法、チーム・ティーチングを含む模擬授業、教材研究、小中連携に対応した演習や事例研究等の充実、
 - ・中・高等学校において授業で英語によるコミュニケーション活動を行うために必要な英語音声学、第2言語習得理論等を含めた英語学、4技能を総合的に指導するコミュニケーションの科目の充実等を、英語力・指導力を充実する観点から改善することが必要。今後、教員養成の全体の議論の中で検討。同時に、小学校の専科指導や中・高等学校の言語活動の高度化に対応した現職教員の研修を確実に実施。

＜参考資料＞

資料 1 : 質問紙調査結果の分析 (公立学校)

(1) 生徒質問紙 . . . 196

(2) 学校質問紙 . . . 209

(3) 教員質問紙 . . . 212

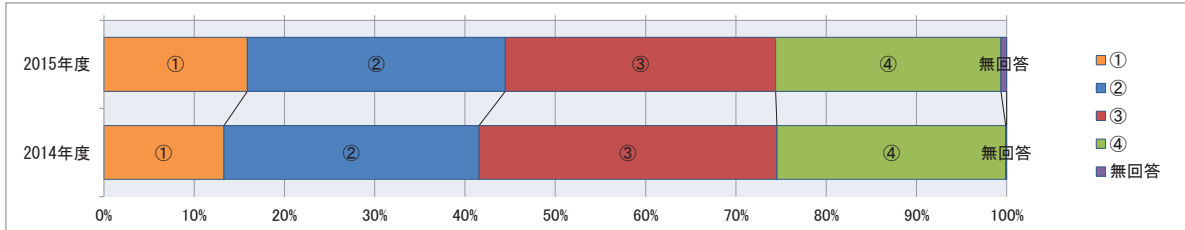
【英語に関する意識・経験・学習・授業等に関するアンケート】

<英語に関する意識について>

No.1 英語の学習は好きですか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④ほとんどそう思わない

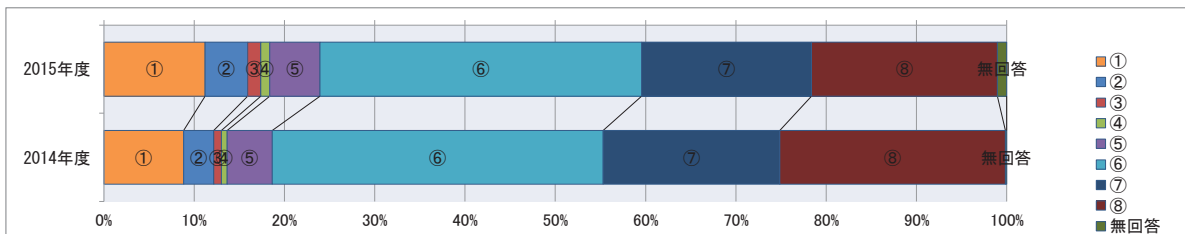
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	12,551	22,568	23,642	19,719	504	78,984
	選択率	15.9%	28.6%	29.9%	25.0%	0.6%	100%
2014年度	回答数	8,779	18,675	21,803	16,741	69	66,067
	選択率	13.3%	28.3%	33.0%	25.3%	0.1%	100%



No.2 どの程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①英語を使って国際社会で活躍できるようになりたい ②大学での自分が専攻する学問を英語で学ぶことができるようになりたい
 ③高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい ④高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい
 ⑤海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい ⑥海外旅行などをするとき、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい
 ⑦大学入試に対応できる力をつけたい ⑧特に学校の授業以外での利用を考えていない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	計
2015年度	回答数	8,868	3,721	1,145	785	4,389	28,135	14,854	16,263	824	78,984
	選択率	11.2%	4.7%	1.4%	1.0%	5.6%	35.6%	18.8%	20.6%	1.0%	100%
2014年度	回答数	5,848	2,188	575	415	3,289	24,231	12,924	16,490	107	66,067
	選択率	8.9%	3.3%	0.9%	0.6%	5.0%	36.7%	19.6%	25.0%	0.2%	100%

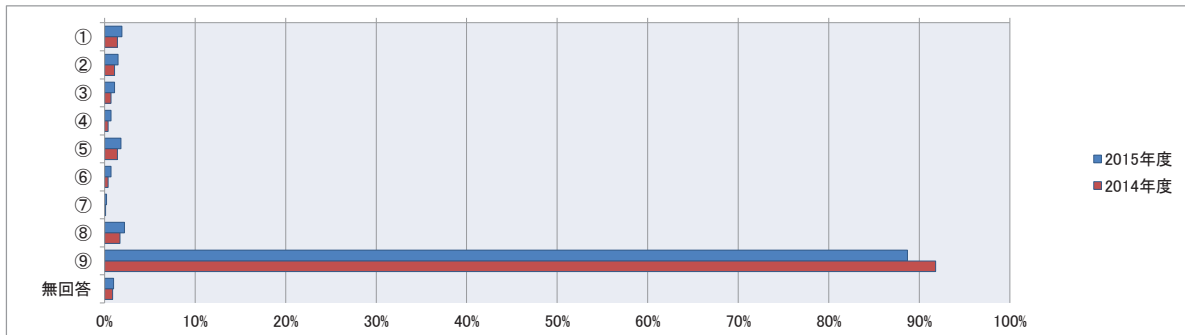


<英語使用などに関する経験について>

No.3 高校生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

- ①イングリッシュキャンプ ②英語のスピーチ大会（校内での予選などは除く）
 ③英語のプレゼンテーション大会（校内での予選などは除く） ④英語のディベート大会（校内での予選などは除く）
 ⑤留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満） ⑥留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満）
 ⑦留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上） ⑧ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）
 ⑨当てはまるものはない

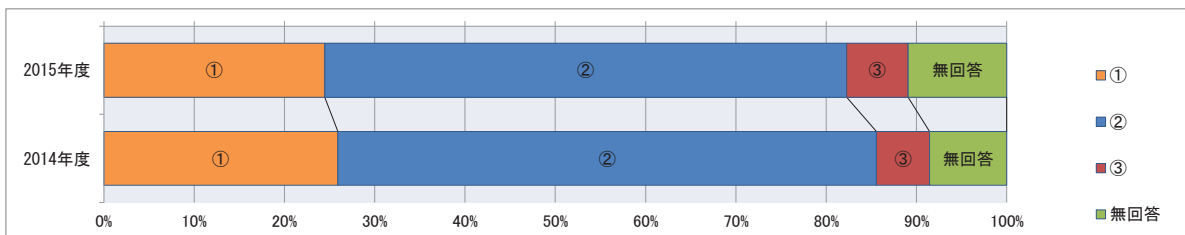
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
2015年度	回答数	1,563	1,222	905	554	1,472	566	182	1,808	71,697	826	80,795
	選択率	1.9%	1.5%	1.1%	0.7%	1.8%	0.7%	0.2%	2.2%	88.7%	1.0%	100%
2014年度	回答数	951	764	460	303	921	288	98	1,185	62,253	625	67,848
	選択率	1.4%	1.1%	0.7%	0.4%	1.4%	0.4%	0.1%	1.7%	91.8%	0.9%	100%



No.4 (No.3で⑤～⑧と回答した方のみ) 外国に渡った当時の学年はいつですか。当てはまるものを1つ選んで下さい（複数回留学などをした経験がある場合は、一番最近留学などをした学年を選んで下さい）。

- ①高校1年生 ②高校2年生 ③高校3年生

実施年度	選択番号	①	②	③	無回答	計
2015年度	回答数	790	1,866	220	353	3,229
	選択率	24.5%	57.8%	6.8%	10.9%	100%
2014年度	回答数	476	1,096	108	157	1,837
	選択率	25.9%	59.7%	5.9%	8.5%	100%

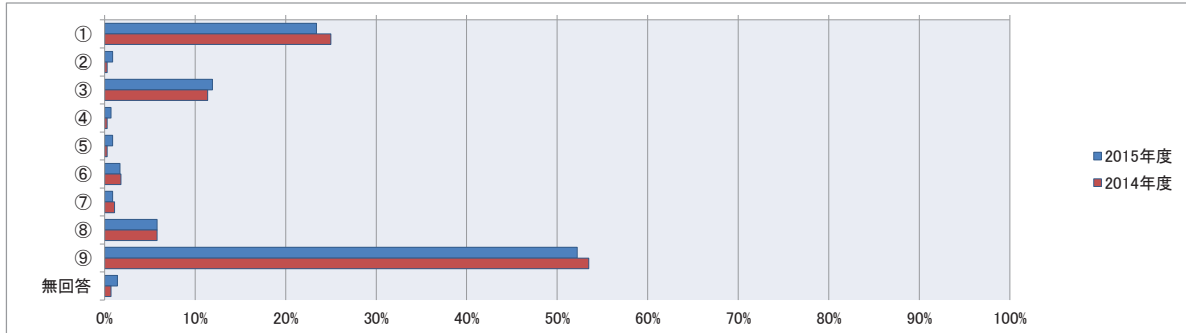


<英語に関する資格・検定試験の受験経験について>

No.5 高校生になってから、今回の試験以外に、英語に関する資格・検定試験を受験したことがありますか。
 受験したことがあるものをすべて選んで下さい。受験したことがなければ⑨を選んで下さい（複数回答可）。

- ①英検（実用英語技能検定） ②ケンブリッジ英検 ③GTEC for STUDENTS ④TOEFL ⑤TOEFL Junior
 ⑥TOEIC ⑦TOEIC Bridge ⑧その他 ⑨英語に関する資格・検定試験を受験したことはない

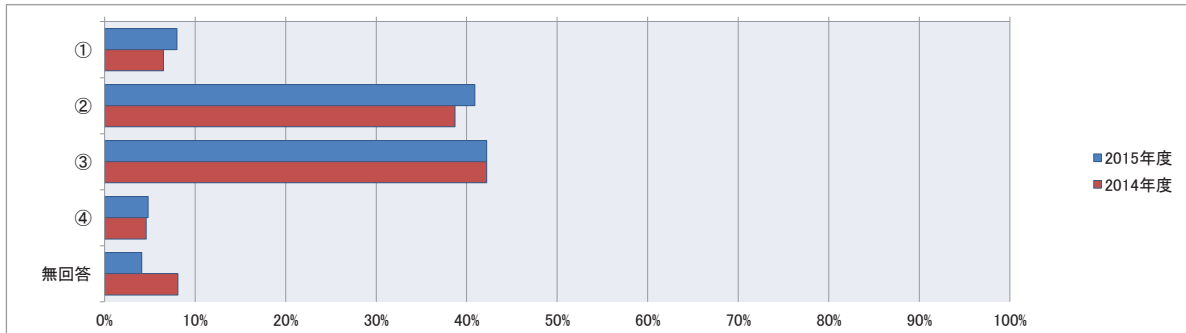
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
2015年度	回答数	19,731	779	10,038	609	770	1,451	773	4,907	43,968	1,221	84,247
	選択率	23.4%	0.9%	11.9%	0.7%	0.9%	1.7%	0.9%	5.8%	52.2%	1.4%	100%
2014年度	回答数	17,840	218	8,153	232	190	1,263	753	4,131	38,219	470	71,469
	選択率	25.0%	0.3%	11.4%	0.3%	0.3%	1.8%	1.1%	5.8%	53.5%	0.7%	100%



No.6 (No.5で⑨と回答した方のみ) 受験したことがない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

- ①受験したかったが、その機会がなかった ②受験したいとは思わなかった（受験する必要性を感じなかった）
 ③自分の英語力に自信がない ④その他

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	3,731	19,114	19,682	2,229	1,924	46,680
	選択率	8.0%	40.9%	42.2%	4.8%	4.1%	100%
2014年度	回答数	2,959	17,651	19,224	2,078	3,673	45,585
	選択率	6.5%	38.7%	42.2%	4.6%	8.1%	100%

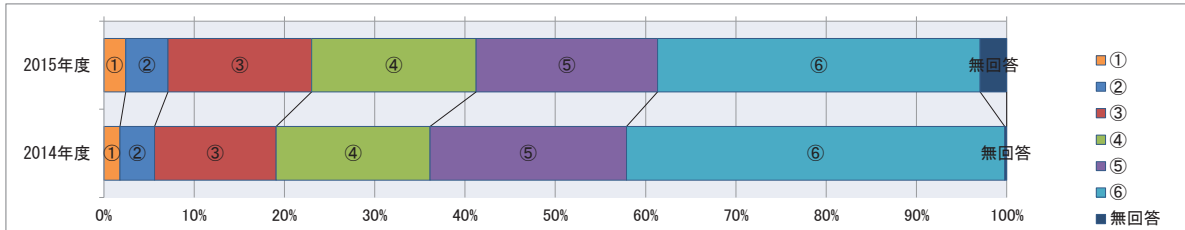


<英語の学習方法・内容・時間について>

No.7 学校の授業や予習・復習以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

①3時間以上 ②2時間以上3時間未満 ③1時間以上2時間未満 ④30分以上1時間未満 ⑤30分未満 ⑥全くしない

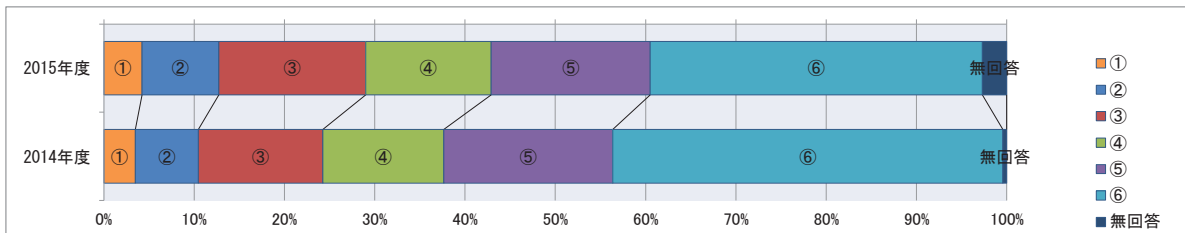
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	計
2015年度	回答数	1,925	3,687	12,578	14,364	15,894	28,220	2,316	78,984
	選択率	2.4%	4.7%	15.9%	18.2%	20.1%	35.7%	2.9%	100%
2014年度	回答数	1,178	2,532	8,904	11,266	14,367	27,684	136	66,067
	選択率	1.8%	3.8%	13.5%	17.1%	21.7%	41.9%	0.2%	100%



No.8 土曜日・日曜日、祝日など学校が休みの日に、学校の授業の予習・復習以外に、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

①3時間以上 ②2時間以上3時間未満 ③1時間以上2時間未満 ④30分以上1時間未満 ⑤30分未満 ⑥全くしない

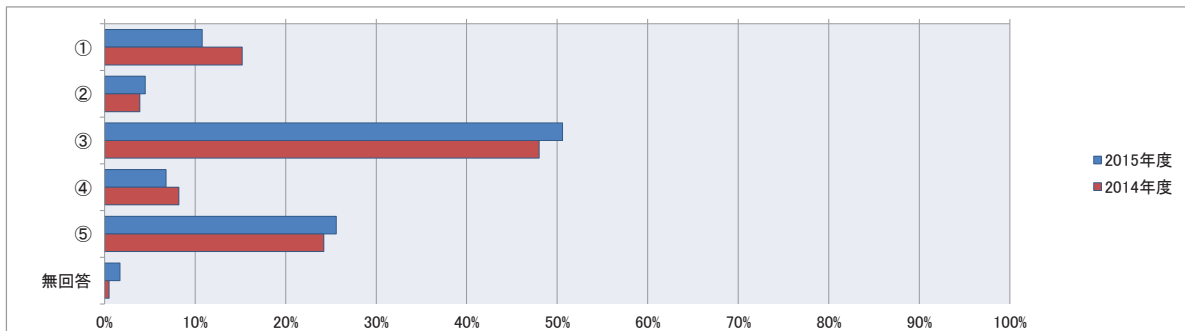
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	計
2015年度	回答数	3,339	6,712	12,847	10,993	13,906	29,054	2,133	78,984
	選択率	4.2%	8.5%	16.3%	13.9%	17.6%	36.8%	2.7%	100%
2014年度	回答数	2,309	4,607	9,106	8,845	12,381	28,534	285	66,067
	選択率	3.5%	7.0%	13.8%	13.4%	18.7%	43.2%	0.4%	100%



No.9 学校の授業以外で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

①パソコンを活用している ②タブレットを活用している ③スマートフォンや携帯電話を活用している
 ④その他の情報機器を活用している ⑤活用していない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	9,685	4,037	45,357	6,077	22,988	1,512	89,656
	選択率	10.8%	4.5%	50.6%	6.8%	25.6%	1.7%	100%
2014年度	回答数	12,616	3,234	39,823	6,774	20,081	451	82,979
	選択率	15.2%	3.9%	48.0%	8.2%	24.2%	0.5%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

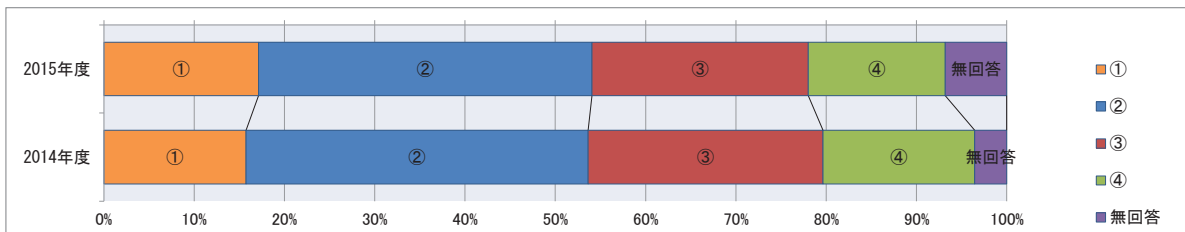
（英語を聞くことに関する活動）

No. 10 以下の学年の英語の授業では、英語を聞いて、
 （一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。

(1) 第1学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

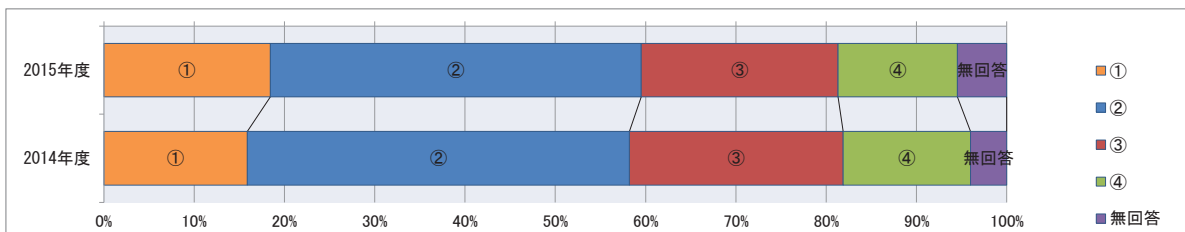
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	13,539	29,159	18,928	11,984	5,374	78,984
	選択率	17.1%	36.9%	24.0%	15.2%	6.8%	100%
2014年度	回答数	10,411	25,018	17,203	11,091	2,344	66,067
	選択率	15.8%	37.9%	26.0%	16.8%	3.5%	100%



(2) 第2学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

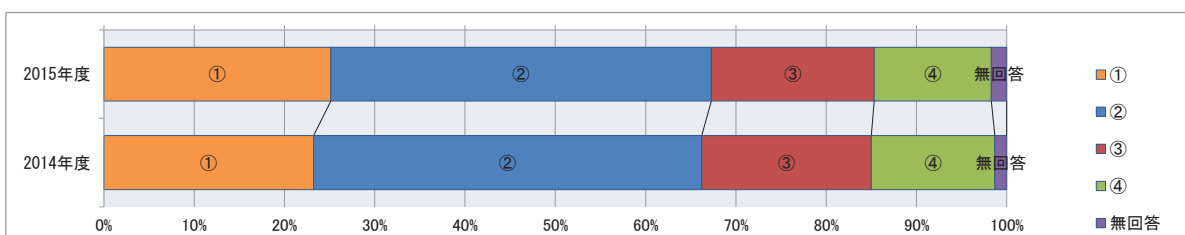
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	14,572	32,446	17,220	10,429	4,317	78,984
	選択率	18.4%	41.1%	21.8%	13.2%	5.5%	100%
2014年度	回答数	10,508	27,952	15,644	9,302	2,661	66,067
	選択率	15.9%	42.3%	23.7%	14.1%	4.0%	100%



(3) 第3学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	19,855	33,285	14,244	10,250	1,350	78,984
	選択率	25.1%	42.1%	18.0%	13.0%	1.7%	100%
2014年度	回答数	15,347	28,392	12,429	9,027	872	66,067
	選択率	23.2%	43.0%	18.8%	13.7%	1.3%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

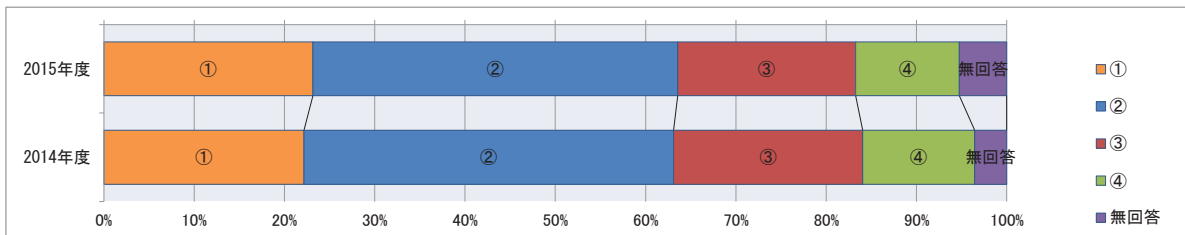
（英語を読むことに関する活動）

No. 11 次の学年の英語の授業では、英語を読んで、
 （一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていましたか。

(1) 第1学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

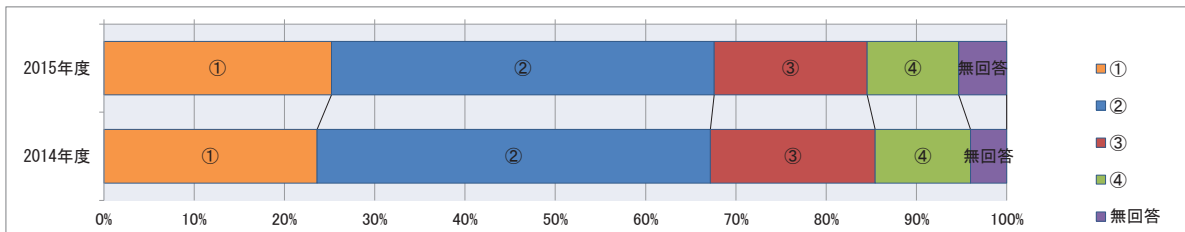
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	18,291	31,913	15,556	9,069	4,155	78,984
	選択率	23.2%	40.4%	19.7%	11.5%	5.3%	100%
2014年度	回答数	14,640	27,049	13,845	8,179	2,354	66,067
	選択率	22.2%	40.9%	21.0%	12.4%	3.6%	100%



(2) 第2学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

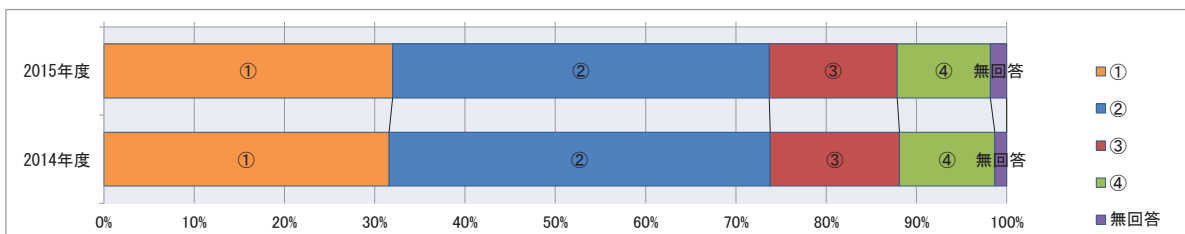
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	19,910	33,480	13,384	8,005	4,205	78,984
	選択率	25.2%	42.4%	16.9%	10.1%	5.3%	100%
2014年度	回答数	15,599	28,783	12,065	6,965	2,655	66,067
	選択率	23.6%	43.6%	18.3%	10.5%	4.0%	100%



(3) 第3学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	25,274	32,942	11,186	8,153	1,429	78,984
	選択率	32.0%	41.7%	14.2%	10.3%	1.8%	100%
2014年度	回答数	20,868	27,891	9,459	6,983	866	66,067
	選択率	31.6%	42.2%	14.3%	10.6%	1.3%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

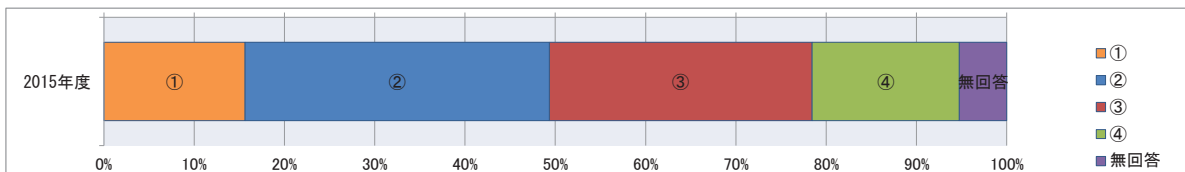
（英語を読むことに関する活動）

No. 12 次の学年の英語の授業では、速読したり精読したりするなど、目的に応じた読み方をする活動をしていましたか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

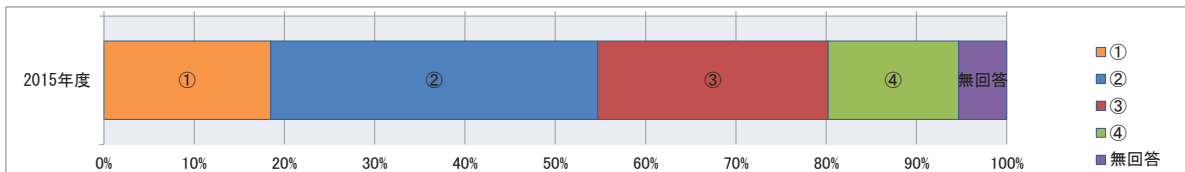
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	12,365	26,598	22,992	12,884	4,145	78,984
	選択率	15.7%	33.7%	29.1%	16.3%	5.2%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

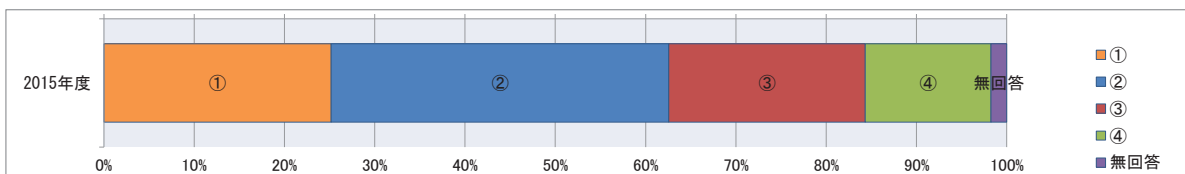
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	14,590	28,617	20,138	11,434	4,205	78,984
	選択率	18.5%	36.2%	25.5%	14.5%	5.3%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	19,898	29,532	17,178	10,997	1,379	78,984
	選択率	25.2%	37.4%	21.7%	13.9%	1.7%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

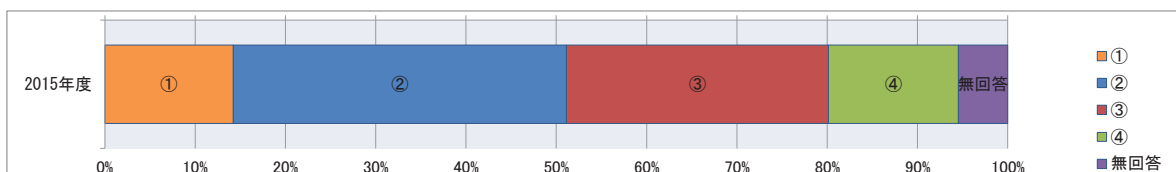
（英語を聞くこと及び読むことに関する活動）

No. 13 次の学年の英語の授業では、英語を聞いたり読んだりする際、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりするなどして理解するようにしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

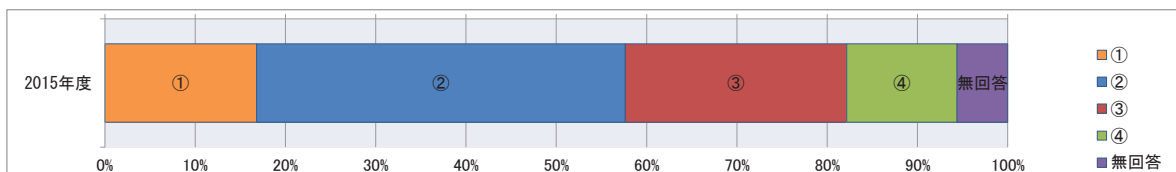
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	11,241	29,137	22,936	11,341	4,329	78,984
	選択率	14.2%	36.9%	29.0%	14.4%	5.5%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

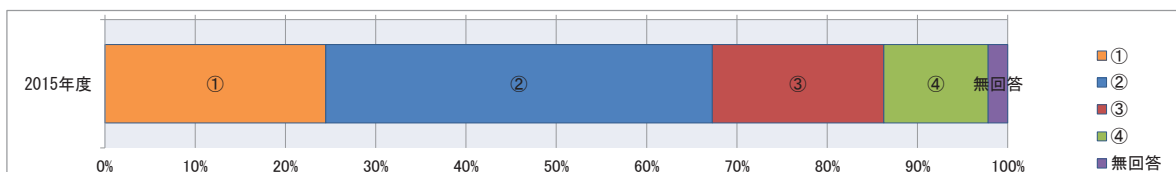
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	13,287	32,237	19,373	9,660	4,427	78,984
	選択率	16.8%	40.8%	24.5%	12.2%	5.6%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	19,330	33,809	14,994	9,147	1,704	78,984
	選択率	24.5%	42.8%	19.0%	11.6%	2.2%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

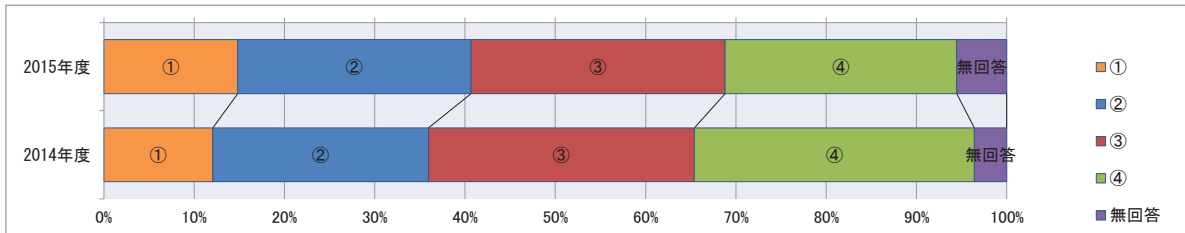
（英語を話すことに関する活動）

No. 14 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、
 生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか。

(1) 第1学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

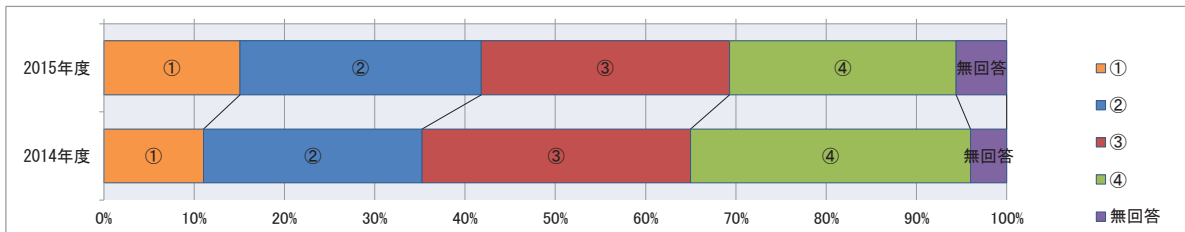
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	11,722	20,396	22,219	20,277	4,370	78,984
	選択率	14.8%	25.8%	28.1%	25.7%	5.5%	100%
2014年度	回答数	7,969	15,783	19,456	20,500	2,359	66,067
	選択率	12.1%	23.9%	29.4%	31.0%	3.6%	100%



(2) 第2学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

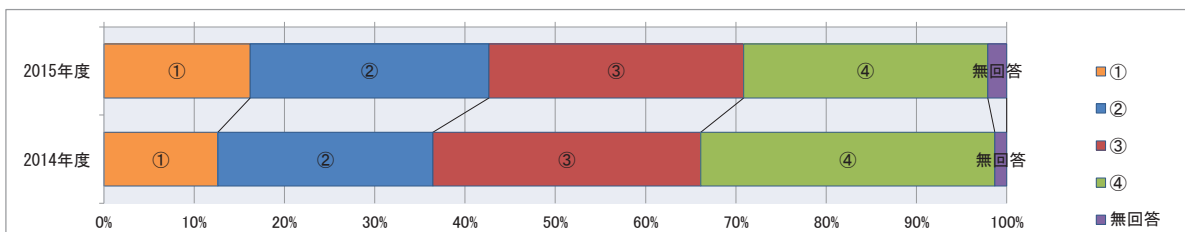
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	11,911	21,090	21,724	19,831	4,428	78,984
	選択率	15.1%	26.7%	27.5%	25.1%	5.6%	100%
2014年度	回答数	7,293	15,999	19,634	20,482	2,659	66,067
	選択率	11.0%	24.2%	29.7%	31.0%	4.0%	100%



(3) 第3学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	12,817	20,860	22,280	21,361	1,666	78,984
	選択率	16.2%	26.4%	28.2%	27.0%	2.1%	100%
2014年度	回答数	8,355	15,730	19,596	21,521	865	66,067
	選択率	12.6%	23.8%	29.7%	32.6%	1.3%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

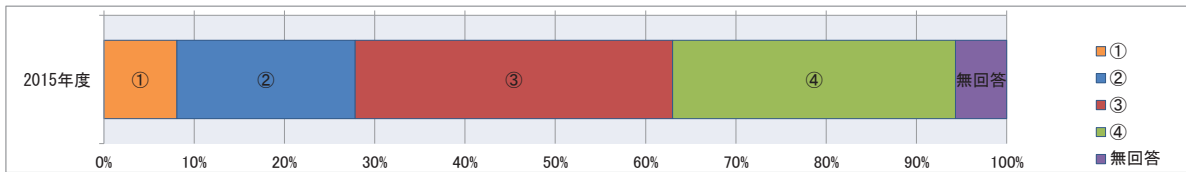
（英語を話すことに関する活動）

No. 15 次の学年の英語の授業では、与えられた話題について、
 （特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていましたか。

(1) 第1学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

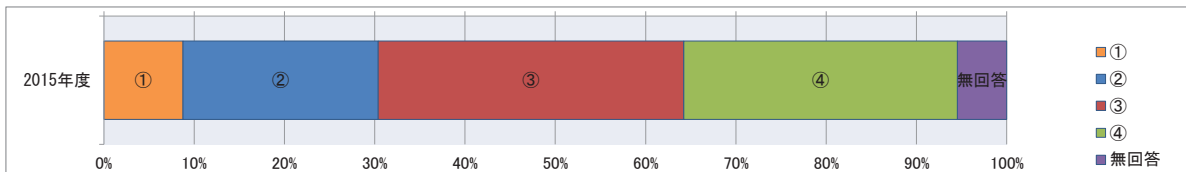
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	6,389	15,602	27,765	24,756	4,472	78,984
	選択率	8.1%	19.8%	35.2%	31.3%	5.7%	100%



(2) 第2学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

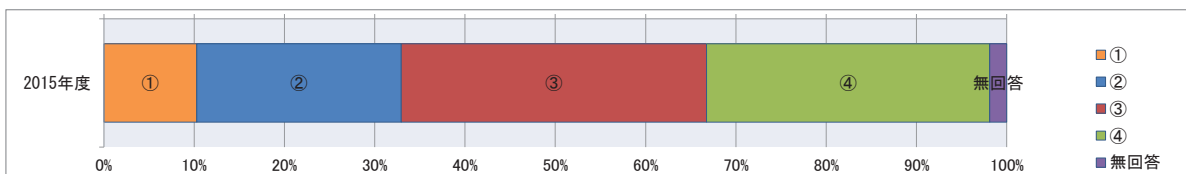
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	6,917	17,073	26,739	23,926	4,329	78,984
	選択率	8.8%	21.6%	33.9%	30.3%	5.5%	100%



(3) 第3学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	8,140	17,884	26,691	24,772	1,497	78,984
	選択率	10.3%	22.6%	33.8%	31.4%	1.9%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

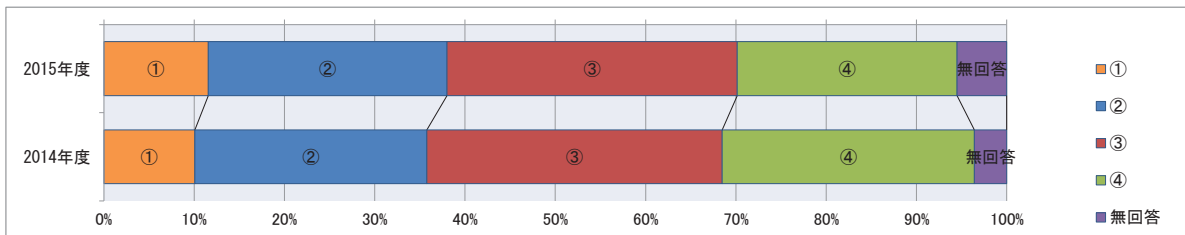
(英語を書くことに関する活動)

No. 16 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。

(1) 第1学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

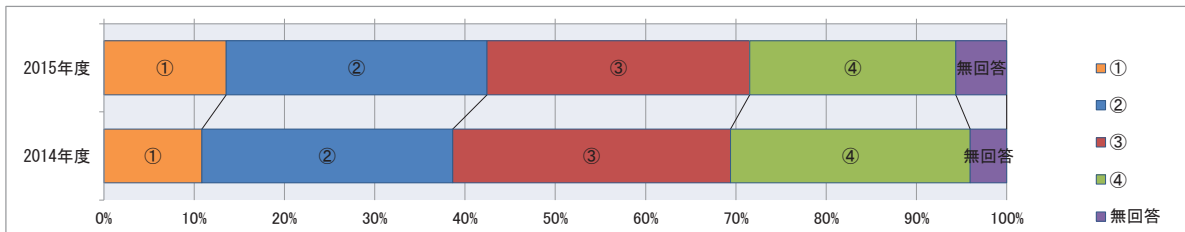
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	9,147	20,872	25,396	19,224	4,345	78,984
	選択率	11.6%	26.4%	32.2%	24.3%	5.5%	100%
2014年度	回答数	6,665	16,981	21,604	18,457	2,360	66,067
	選択率	10.1%	25.7%	32.7%	27.9%	3.6%	100%



(2) 第2学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

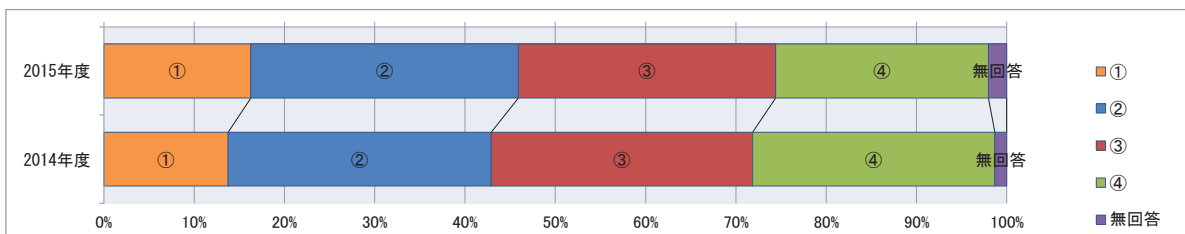
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	10,708	22,818	22,981	18,032	4,445	78,984
	選択率	13.6%	28.9%	29.1%	22.8%	5.6%	100%
2014年度	回答数	7,175	18,362	20,311	17,554	2,665	66,067
	選択率	10.9%	27.8%	30.7%	26.6%	4.0%	100%



(3) 第3学年

①そう思う ②どちらかといえば、そう思う ③どちらかといえば、そう思わない ④そう思わない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	12,864	23,385	22,516	18,612	1,607	78,984
	選択率	16.3%	29.6%	28.5%	23.6%	2.0%	100%
2014年度	回答数	9,095	19,245	19,121	17,740	866	66,067
	選択率	13.8%	29.1%	28.9%	26.9%	1.3%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

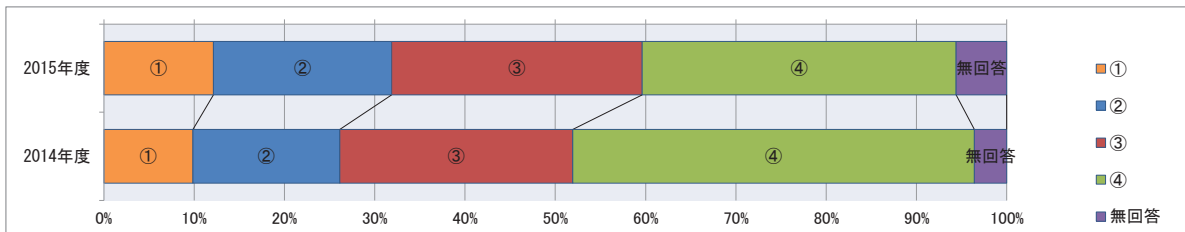
（総合的な活動）

No. 17 次の学年の英語の授業では、英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

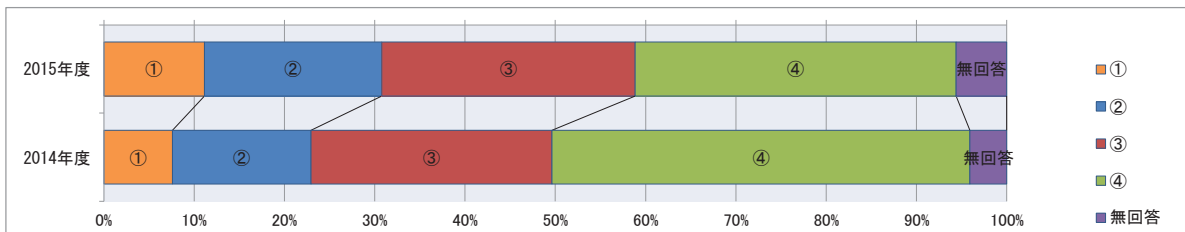
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	9,592	15,587	21,907	27,480	4,418	78,984
	選択率	12.1%	19.7%	27.7%	34.8%	5.6%	100%
2014年度	回答数	6,508	10,760	17,045	29,373	2,381	66,067
	選択率	9.9%	16.3%	25.8%	44.5%	3.6%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

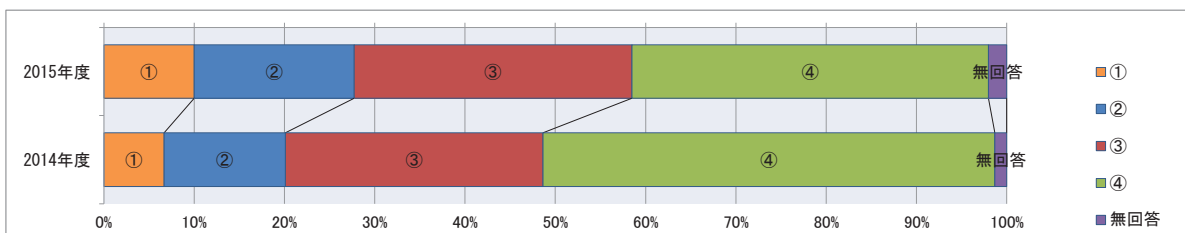
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	8,803	15,517	22,171	28,051	4,442	78,984
	選択率	11.1%	19.6%	28.1%	35.5%	5.6%	100%
2014年度	回答数	5,028	10,121	17,652	30,579	2,687	66,067
	選択率	7.6%	15.3%	26.7%	46.3%	4.1%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	7,915	13,982	24,291	31,181	1,615	78,984
	選択率	10.0%	17.7%	30.8%	39.5%	2.0%	100%
2014年度	回答数	4,404	8,875	18,854	33,071	863	66,067
	選択率	6.7%	13.4%	28.5%	50.1%	1.3%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

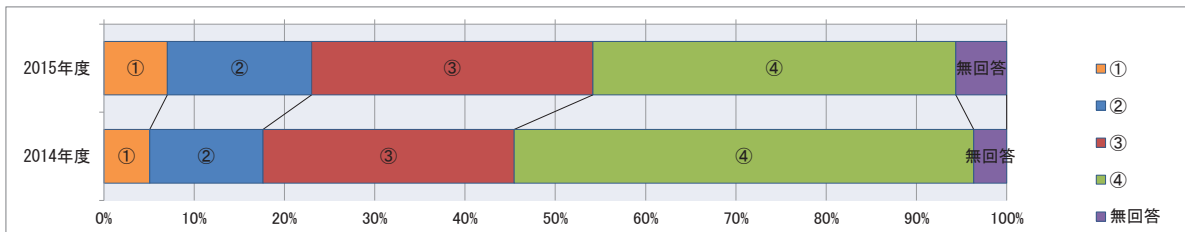
（総合的な活動）

No. 18 次の学年の英語の授業では、英語でディベートやディスカッションをしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

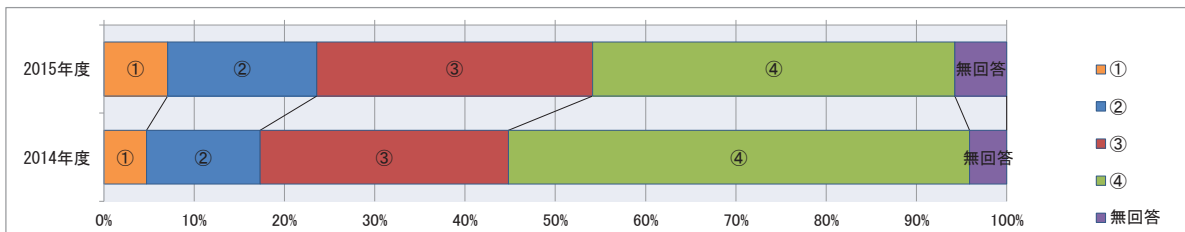
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	5,567	12,616	24,603	31,737	4,461	78,984
	選択率	7.0%	16.0%	31.1%	40.2%	5.6%	100%
2014年度	回答数	3,359	8,290	18,376	33,617	2,425	66,067
	選択率	5.1%	12.5%	27.8%	50.9%	3.7%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

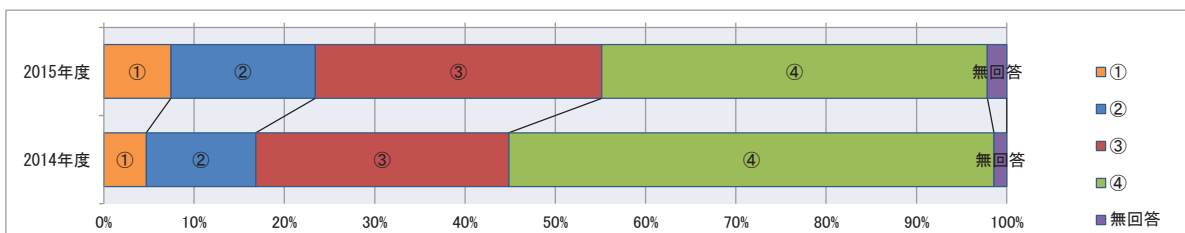
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	5,586	13,040	24,127	31,697	4,534	78,984
	選択率	7.1%	16.5%	30.5%	40.1%	5.7%	100%
2014年度	回答数	3,125	8,308	18,173	33,730	2,731	66,067
	選択率	4.7%	12.6%	27.5%	51.1%	4.1%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

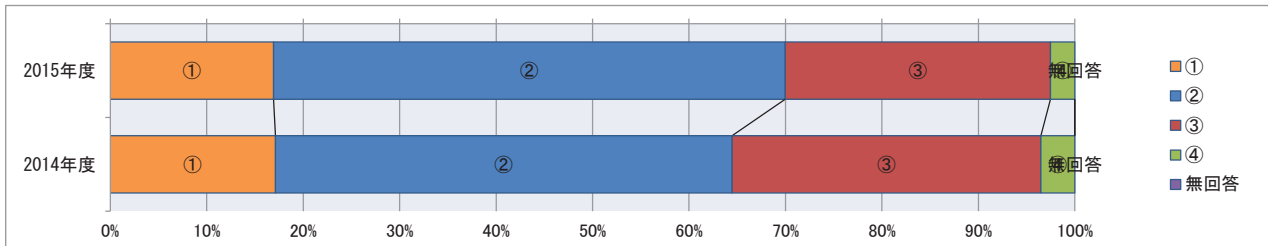
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	5,865	12,628	25,056	33,746	1,689	78,984
	選択率	7.4%	16.0%	31.7%	42.7%	2.1%	100%
2014年度	回答数	3,100	8,025	18,508	35,498	936	66,067
	選択率	4.7%	12.1%	28.0%	53.7%	1.4%	100%



No.1 英語教育に関して、模擬授業、授業相互参観、事例研究など、実践的な研修を行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

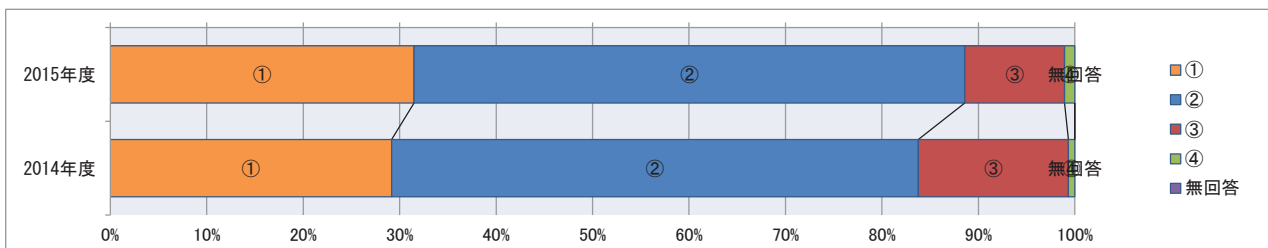
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	80	251	130	12	0	473
	選択率	16.9%	53.1%	27.5%	2.5%	0.0%	100%
2014年度	回答数	78	216	146	16	0	456
	選択率	17.1%	47.4%	32.0%	3.5%	0.0%	100%



No.2 英語教育に関して、教員が、他校や外部の研修機関などの学校外での研修に積極的に参加できるようにしていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

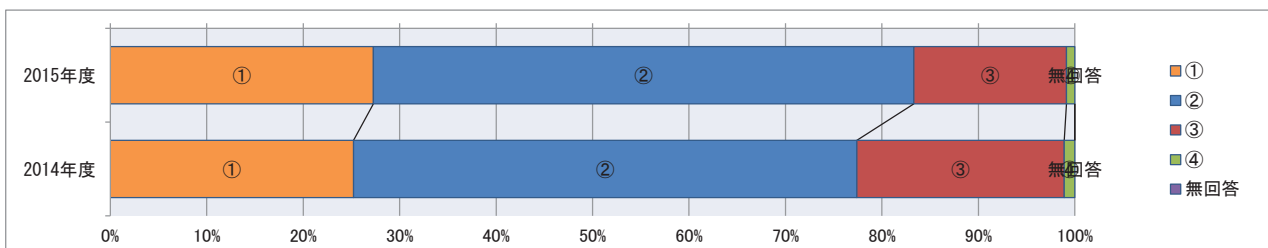
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	149	270	49	5	0	473
	選択率	31.5%	57.1%	10.4%	1.1%	0.0%	100%
2014年度	回答数	133	249	71	3	0	456
	選択率	29.2%	54.6%	15.6%	0.7%	0.0%	100%



No.3 英語教育に関して、言語活動に重点を置いた指導計画を作成していますか。

①当てはまる ②どちらかといえば当てはまる ③どちらかといえば当てはまらない ④当てはまらない

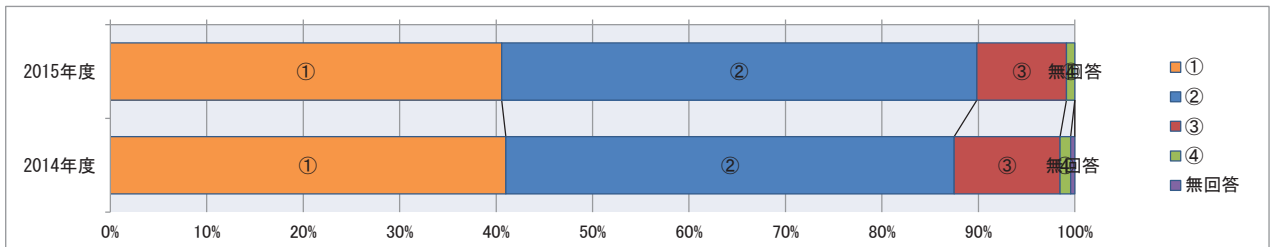
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	129	265	75	4	0	473
	選択率	27.3%	56.0%	15.9%	0.8%	0.0%	100%
2014年度	回答数	115	238	98	5	0	456
	選択率	25.2%	52.2%	21.5%	1.1%	0.0%	100%



No. 4 外国語（英語）科の指導目標やその達成に向けた方策を、全外国語（英語）科教員の間で共有し、取組にあたっていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

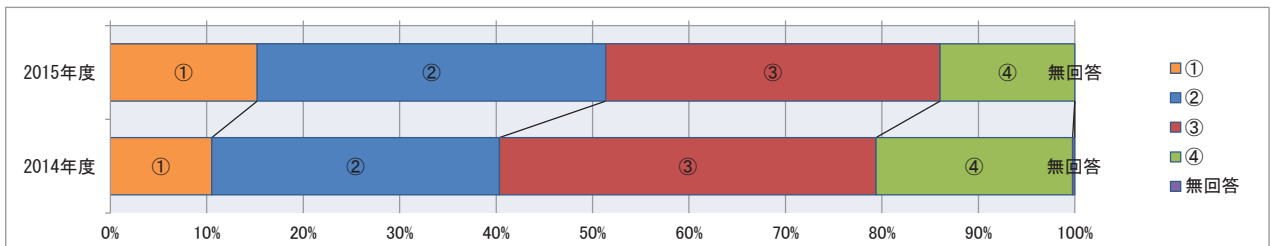
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	192	233	44	4	0	473
	選択率	40.6%	49.3%	9.3%	0.8%	0.0%	100%
2014年度	回答数	187	212	50	5	2	456
	選択率	41.0%	46.5%	11.0%	1.1%	0.4%	100%



No. 5 現在第3学年の生徒に対して、入学してからこれまで、授業以外で国際交流や外国語のコミュニケーション能力育成のための取組を実施しましたか。

①よく行った ②どちらかといえば、行った ③あまり行っていない ④ほとんど行っていない

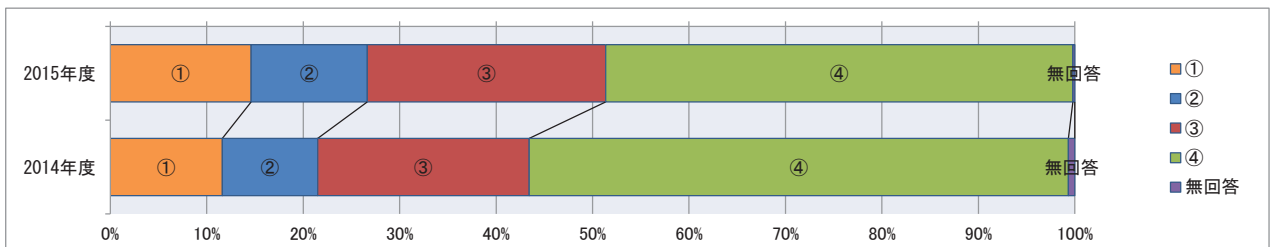
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	72	171	164	66	0	473
	選択率	15.2%	36.2%	34.7%	14.0%	0.0%	100%
2014年度	回答数	48	136	178	93	1	456
	選択率	10.5%	29.8%	39.0%	20.4%	0.2%	100%



No. 6 積極的に留学生を受け入れていますか。

①積極的にしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

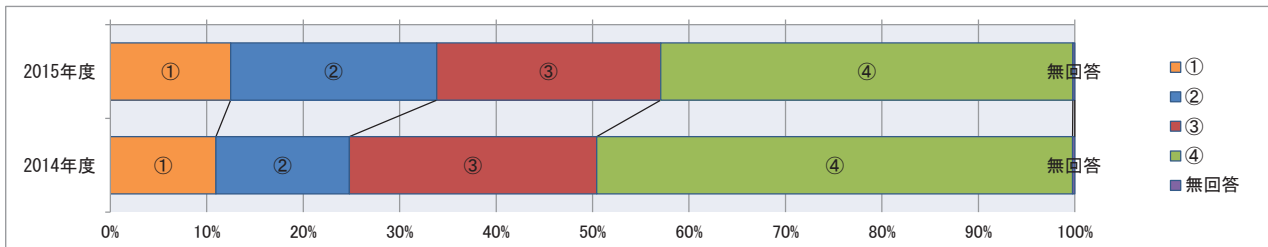
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	69	57	117	229	1	473
	選択率	14.6%	12.1%	24.7%	48.4%	0.2%	100%
2014年度	回答数	53	45	100	255	3	456
	選択率	11.6%	9.9%	21.9%	55.9%	0.7%	100%



No.7 積極的に生徒を留学させていますか。

①積極的にしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

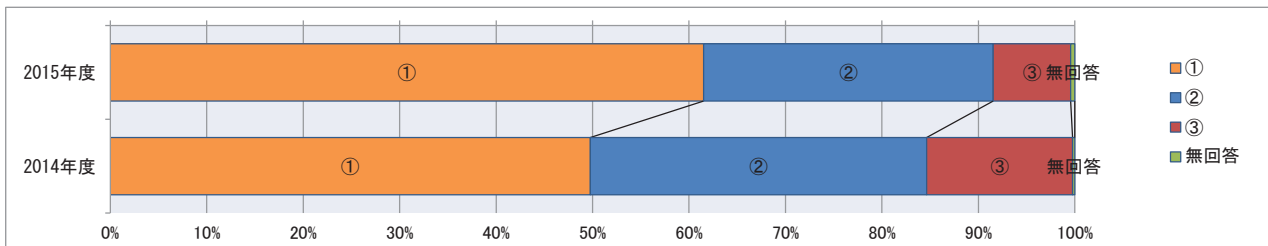
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	59	101	110	202	1	473
	選択率	12.5%	21.4%	23.3%	42.7%	0.2%	100%
2014年度	回答数	50	63	117	225	1	456
	選択率	11.0%	13.8%	25.7%	49.3%	0.2%	100%



No.8 生徒の英語力に関する学習到達目標について、CAN-DO リストの形で技能別に設定していますか。

①設定している ②今は設定していないが、今後設定する予定である ③設定しておらず、今後も設定する予定がない

実施年度	選択番号	①	②	③	無回答	計
2015年度	回答数	291	142	38	2	473
	選択率	61.5%	30.0%	8.0%	0.4%	100%
2014年度	回答数	227	159	69	1	456
	選択率	49.8%	34.9%	15.1%	0.2%	100%

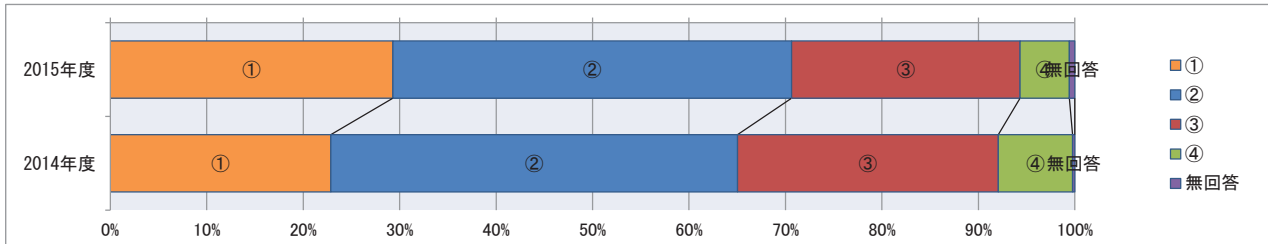


No.1 普段の英語の授業において、以下の言語活動や指導を行っているかについて、最も当てはまる選択肢を回答して下さい。

(1) 英語を聞いて、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

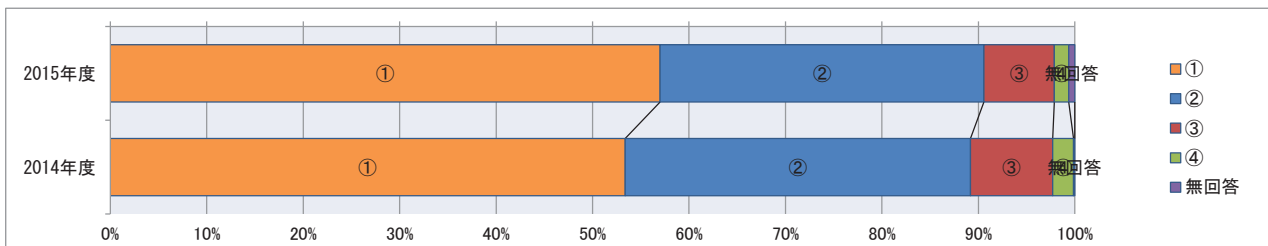
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	828	1,168	670	144	16	2,826
	選択率	29.3%	41.3%	23.7%	5.1%	0.6%	100%
2014年度	回答数	570	1,051	674	192	6	2,493
	選択率	22.9%	42.2%	27.0%	7.7%	0.2%	100%



(2) 英語を読んで、情報や考えなどを理解したり、概要や要点をとらえたりする活動を行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

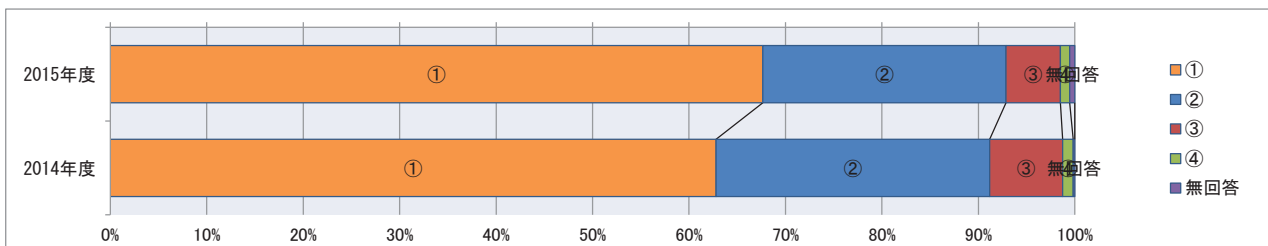
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	1,611	949	206	42	18	2,826
	選択率	57.0%	33.6%	7.3%	1.5%	0.6%	100%
2014年度	回答数	1,331	892	213	54	3	2,493
	選択率	53.4%	35.8%	8.5%	2.2%	0.1%	100%



(3) 音読や暗唱を行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	1,912	712	160	27	15	2,826
	選択率	67.7%	25.2%	5.7%	1.0%	0.5%	100%
2014年度	回答数	1,566	707	189	27	4	2,493
	選択率	62.8%	28.4%	7.6%	1.1%	0.2%	100%

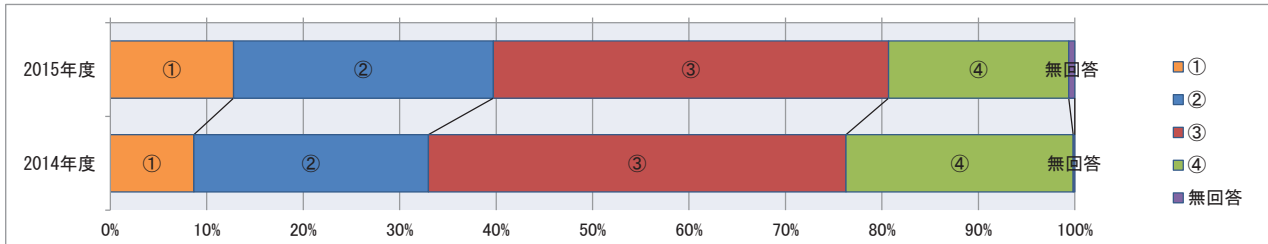


No.1 普段の英語の授業において、以下の言語活動や指導を行っているかについて、最も当てはまる選択肢を回答して下さい。

(4) 聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、話し合ったり意見の交換をしたりする活動を行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

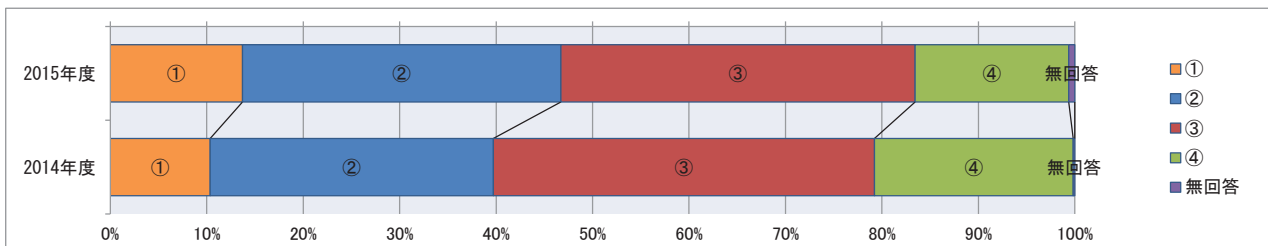
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	361	761	1,158	528	18	2,826
	選択率	12.8%	26.9%	41.0%	18.7%	0.6%	100%
2014年度	回答数	216	606	1,080	587	4	2,493
	選択率	8.7%	24.3%	43.3%	23.5%	0.2%	100%



(5) 聞いたり読んだりしたことに基づき、情報や考えなどについて、書く活動を行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

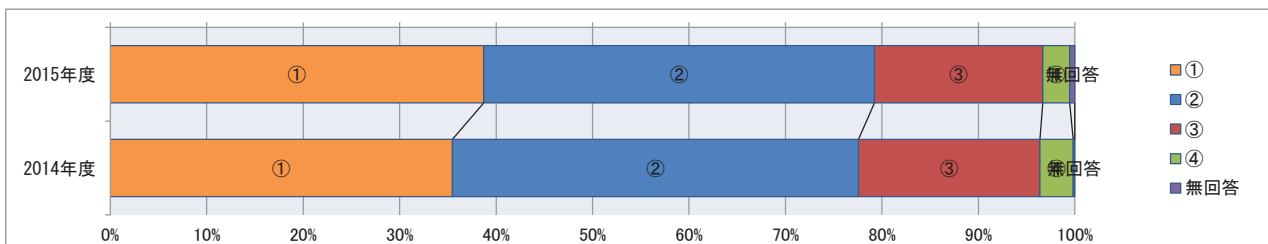
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	387	933	1,038	450	18	2,826
	選択率	13.7%	33.0%	36.7%	15.9%	0.6%	100%
2014年度	回答数	258	732	985	514	4	2,493
	選択率	10.3%	29.4%	39.5%	20.6%	0.2%	100%



(6) リズムやイントネーションなどの英語の音声的な特徴、話す速度、声の大きさなどに注意しながら聞いたり話したりするよう指導していますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	1,094	1,145	493	79	15	2,826
	選択率	38.7%	40.5%	17.4%	2.8%	0.5%	100%
2014年度	回答数	884	1,050	469	86	4	2,493
	選択率	35.5%	42.1%	18.8%	3.4%	0.2%	100%

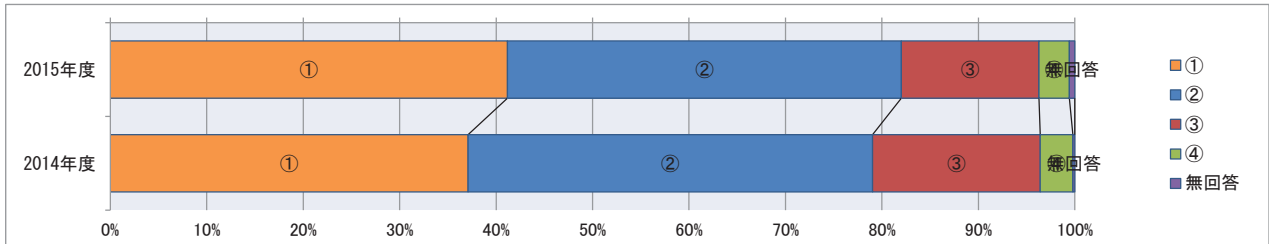


No.1 普段の英語の授業において、以下の言語活動や指導を行っているかについて、最も当てはまる選択肢を回答して下さい。

(7) 内容の要点を示す語句や文、つながりを示す語句などに注意しながら読んだり書いたりするよう指導していますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

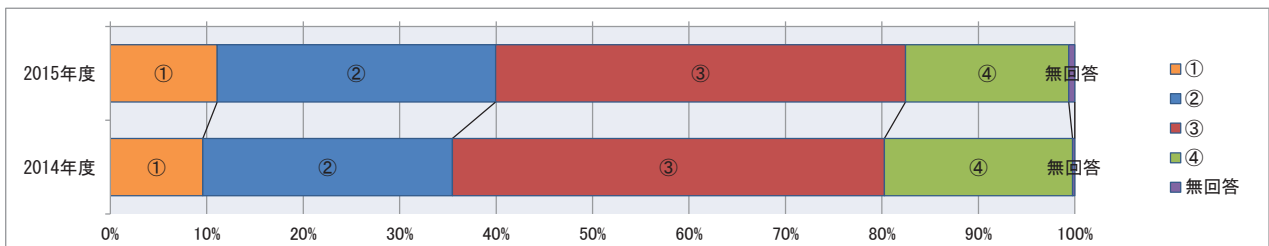
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	1,164	1,154	403	89	16	2,826
	選択率	41.2%	40.8%	14.3%	3.1%	0.6%	100%
2014年度	回答数	925	1,045	434	84	5	2,493
	選択率	37.1%	41.9%	17.4%	3.4%	0.2%	100%



(8) 事実と意見などを区別して、理解したり伝えたりするよう指導していますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

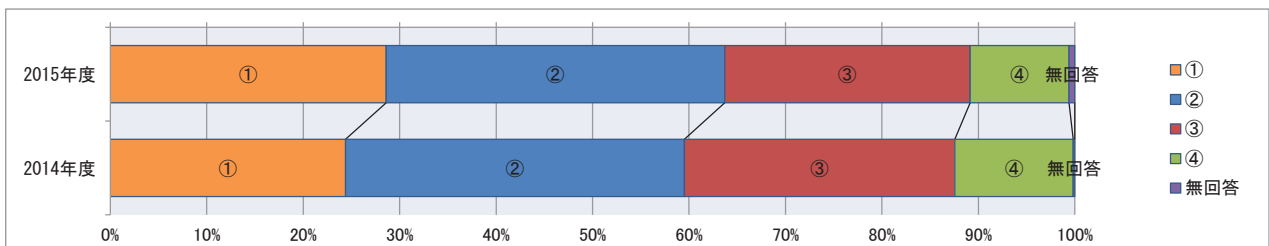
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	313	816	1,201	478	18	2,826
	選択率	11.1%	28.9%	42.5%	16.9%	0.6%	100%
2014年度	回答数	239	645	1,117	486	6	2,493
	選択率	9.6%	25.9%	44.8%	19.5%	0.2%	100%



(9) 速読したり精読したりするなど、目的に応じた読み方をする活動をしていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	808	992	719	290	17	2,826
	選択率	28.6%	35.1%	25.4%	10.3%	0.6%	100%
2014年度	回答数	608	876	699	306	4	2,493
	選択率	24.4%	35.1%	28.0%	12.3%	0.2%	100%

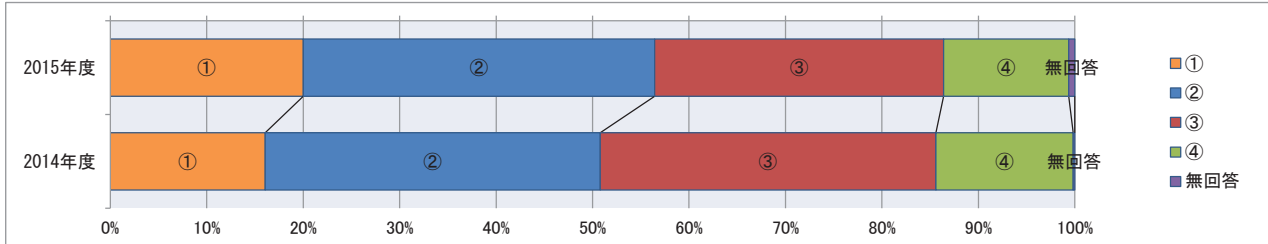


No.1 普段の英語の授業において、以下の言語活動や指導を行っているかについて、最も当てはまる選択肢を回答して下さい。

(10) 論点や根拠などを明確にするとともに、文章の構成や図表との関連などを考えながら、
 読んだり書いたりするよう指導していますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

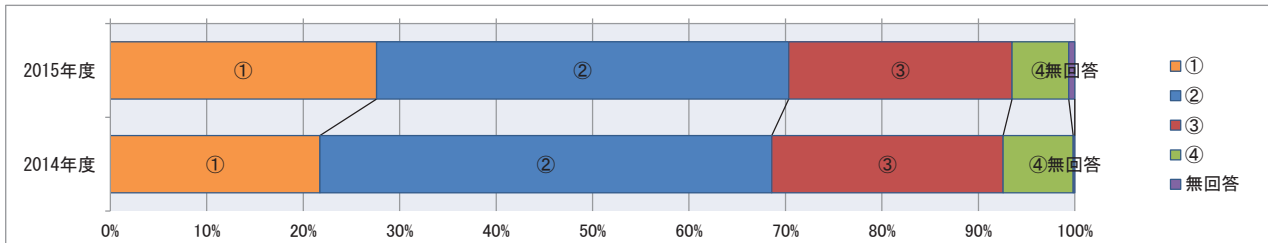
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	565	1,030	847	366	18	2,826
	選択率	20.0%	36.4%	30.0%	13.0%	0.6%	100%
2014年度	回答数	400	866	868	355	4	2,493
	選択率	16.0%	34.7%	34.8%	14.2%	0.2%	100%



(11) 未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりしながら、聞いたり読んだりするよう指導していますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

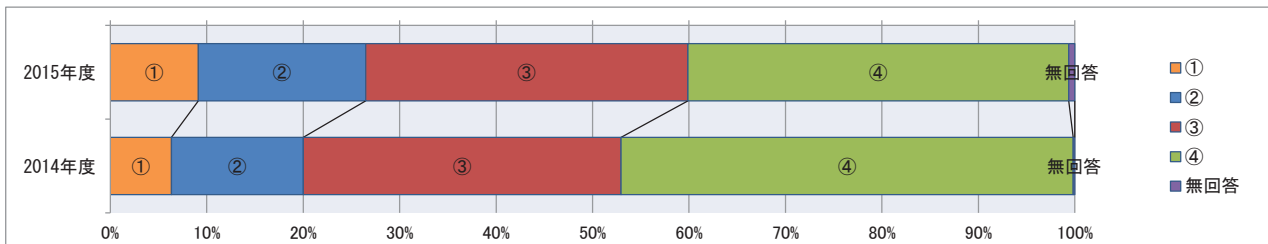
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	780	1,208	654	166	18	2,826
	選択率	27.6%	42.7%	23.1%	5.9%	0.6%	100%
2014年度	回答数	542	1,168	598	181	4	2,493
	選択率	21.7%	46.9%	24.0%	7.3%	0.2%	100%



(12) 与えられた話題について、即興で話す活動を行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	258	490	944	1,116	18	2,826
	選択率	9.1%	17.3%	33.4%	39.5%	0.6%	100%
2014年度	回答数	158	341	821	1,169	4	2,493
	選択率	6.3%	13.7%	32.9%	46.9%	0.2%	100%

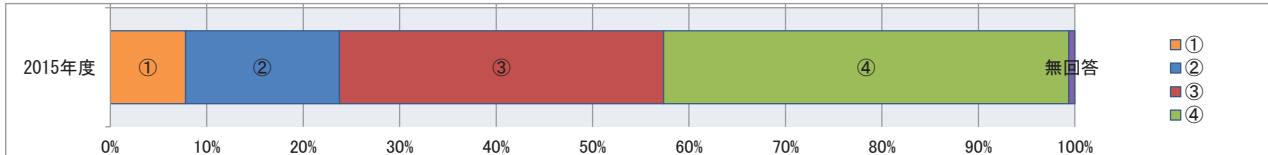


No.1 普段の英語の授業において、以下の言語活動や指導を行っているかについて、最も当てはまる選択肢を回答して下さい。

(13) 与えられた条件（話題、話す時間や量など）に合わせて、即興で話す活動を行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

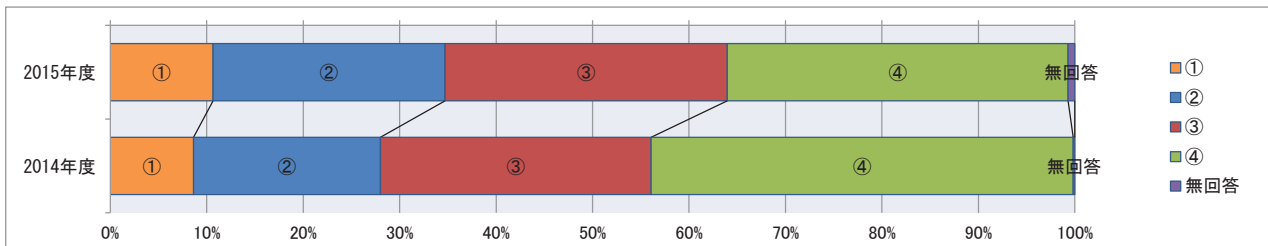
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	220	451	950	1,187	18	2,826
	選択率	7.8%	16.0%	33.6%	42.0%	0.6%	100%



(14) スピーチやプレゼンテーションを行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

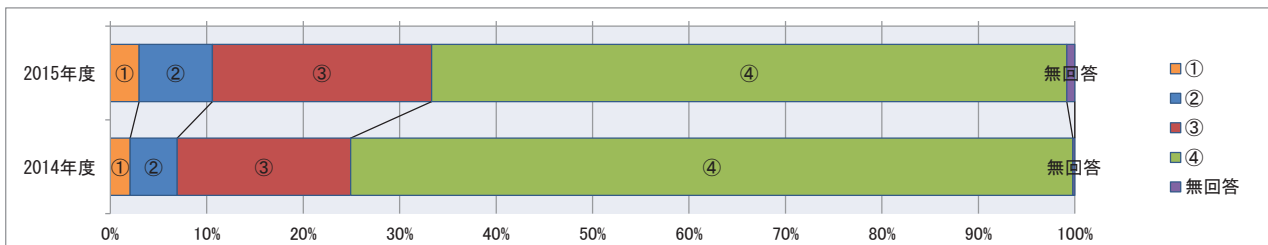
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	301	680	827	998	20	2,826
	選択率	10.7%	24.1%	29.3%	35.3%	0.7%	100%
2014年度	回答数	215	483	700	1,091	4	2,493
	選択率	8.6%	19.4%	28.1%	43.8%	0.2%	100%



(15) ディベートやディスカッションを行っていますか。

①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	84	215	642	1,862	23	2,826
	選択率	3.0%	7.6%	22.7%	65.9%	0.8%	100%
2014年度	回答数	51	122	448	1,867	5	2,493
	選択率	2.0%	4.9%	18.0%	74.9%	0.2%	100%

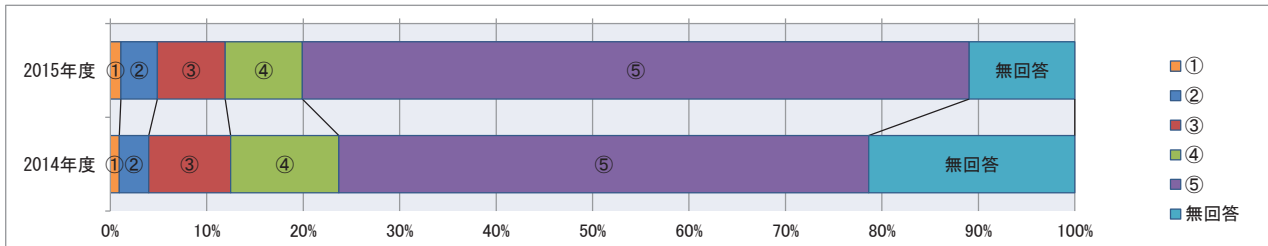


No.2 今年度の第3学年の授業において、あなたはどの程度英語を使用していますか（科目ごとに回答）。

(1) コミュニケーション英語Ⅱ

- ①発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上） ②発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

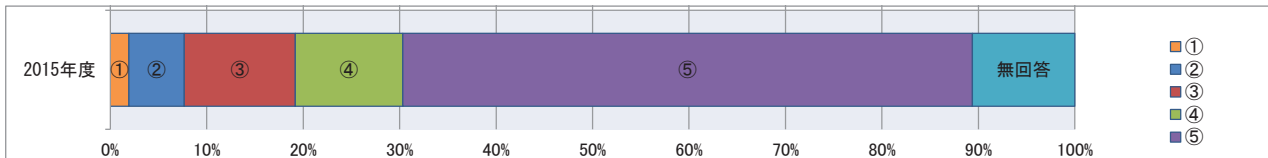
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	31	107	199	226	1,954	309	2,826
	選択率	1.1%	3.8%	7.0%	8.0%	69.1%	10.9%	100%
2014年度	回答数	23	76	212	280	1,369	533	2,493
	選択率	0.9%	3.0%	8.5%	11.2%	54.9%	21.4%	100%



(2) コミュニケーション英語Ⅲ

- ①発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上） ②発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

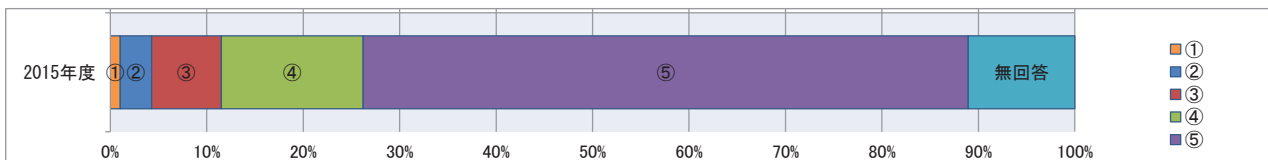
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	54	163	325	315	1,669	300	2,826
	選択率	1.9%	5.8%	11.5%	11.1%	59.1%	10.6%	100%



(3) 英語表現Ⅱ

- ①発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上） ②発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	29	92	204	416	1,773	312	2,826
	選択率	1.0%	3.3%	7.2%	14.7%	62.7%	11.0%	100%

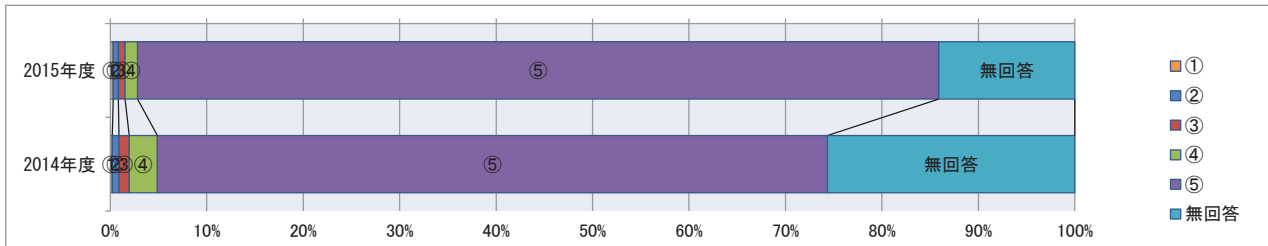


No.2 今年度の第3学年の授業において、あなたはどの程度英語を使用していますか（科目ごとに回答）。

(4) 総合英語

- ①発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上） ②発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

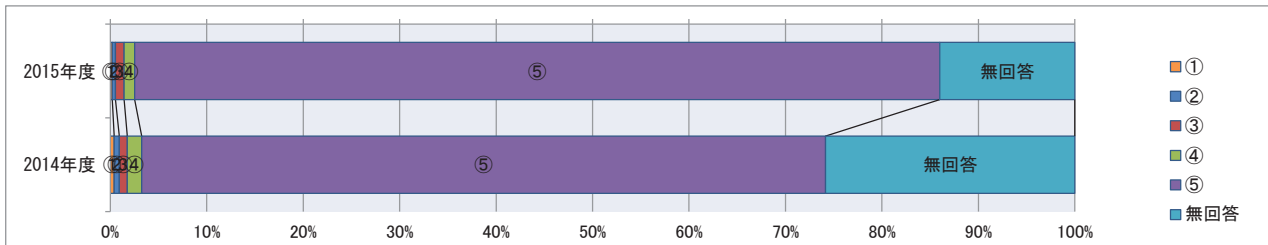
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	8	15	20	37	2,348	398	2,826
	選択率	0.3%	0.5%	0.7%	1.3%	83.1%	14.1%	100%
2014年度	回答数	5	17	27	73	1,732	639	2,493
	選択率	0.2%	0.7%	1.1%	2.9%	69.5%	25.6%	100%



(5) 英語理解

- ①発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上） ②発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

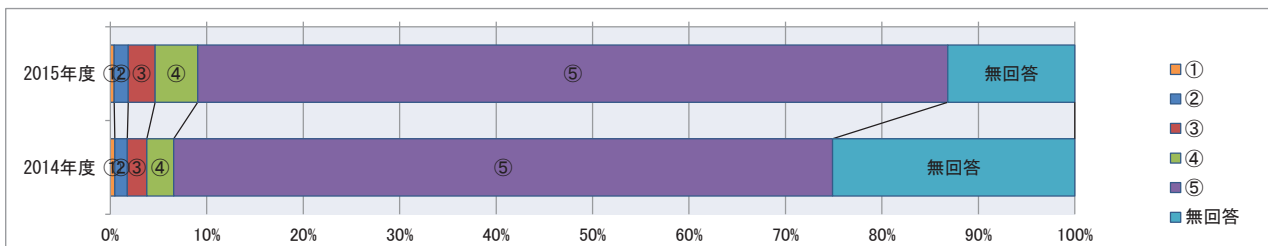
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	6	9	25	31	2,359	396	2,826
	選択率	0.2%	0.3%	0.9%	1.1%	83.5%	14.0%	100%
2014年度	回答数	10	13	21	37	1,768	644	2,493
	選択率	0.4%	0.5%	0.8%	1.5%	70.9%	25.8%	100%



(6) 英語表現

- ①発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上） ②発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	11	42	78	125	2,198	372	2,826
	選択率	0.4%	1.5%	2.8%	4.4%	77.8%	13.2%	100%
2014年度	回答数	12	32	50	70	1,703	626	2,493
	選択率	0.5%	1.3%	2.0%	2.8%	68.3%	25.1%	100%

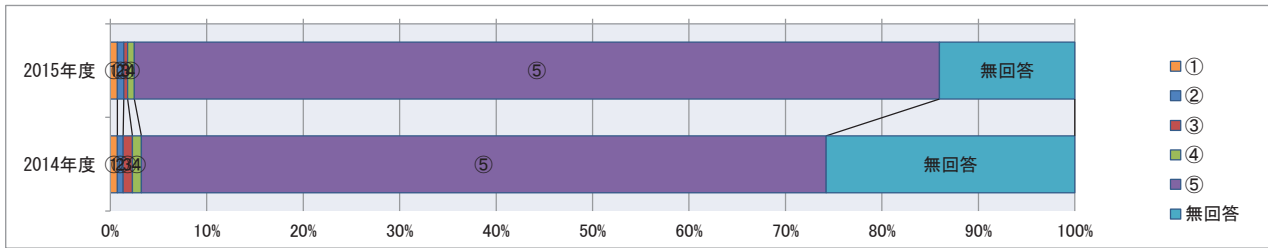


No.2 今年度の第3学年の授業において、あなたはどの程度英語を使用していますか（科目ごとに回答）。

(7) 異文化理解

- ①発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上） ②発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

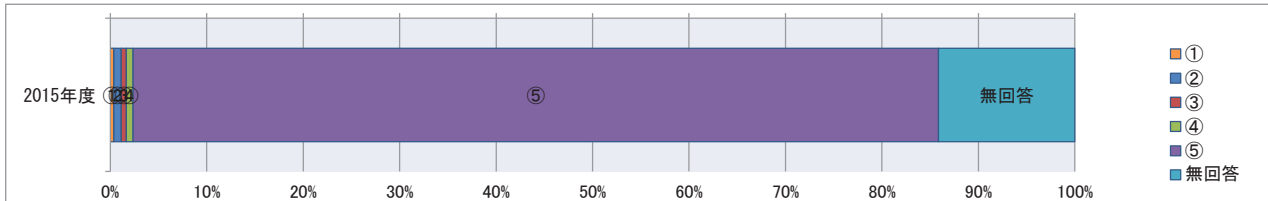
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	21	18	12	19	2,359	397	2,826
	選択率	0.7%	0.6%	0.4%	0.7%	83.5%	14.0%	100%
2014年度	回答数	18	15	24	23	1,770	643	2,493
	選択率	0.7%	0.6%	1.0%	0.9%	71.0%	25.8%	100%



(8) 時事英語

- ①発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上） ②発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

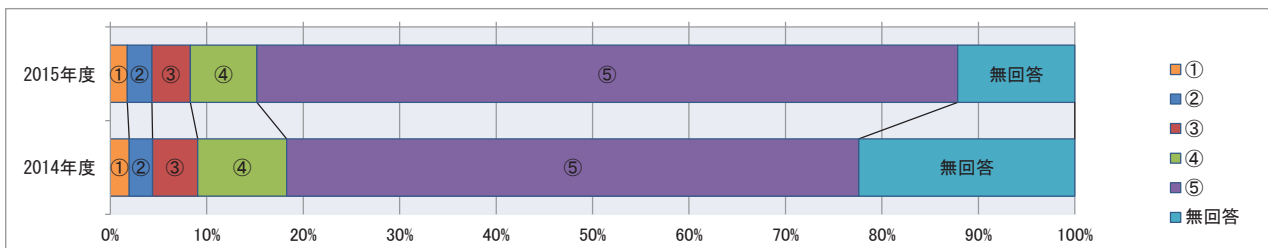
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	10	22	15	20	2,360	399	2,826
	選択率	0.4%	0.8%	0.5%	0.7%	83.5%	14.1%	100%



(9) 学校設定科目

- ①発話をおおむね英語で行っている（75%程度以上） ②発話の半分以上を英語で行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③発話の半分未満を英語で行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	50	72	112	195	2,054	343	2,826
	選択率	1.8%	2.5%	4.0%	6.9%	72.7%	12.1%	100%
2014年度	回答数	49	60	117	230	1,479	558	2,493
	選択率	2.0%	2.4%	4.7%	9.2%	59.3%	22.4%	100%

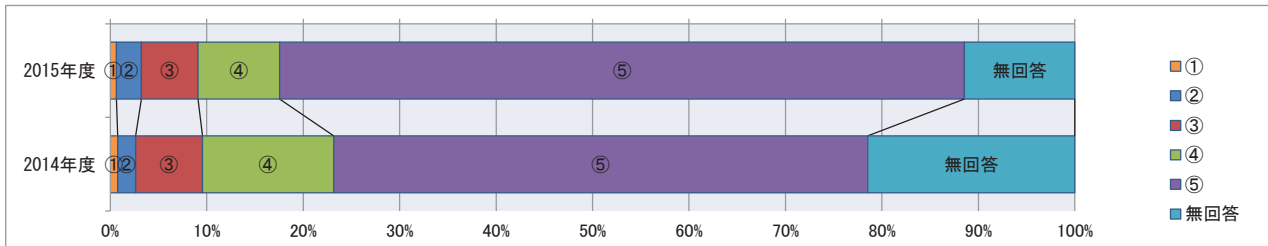


No.3 今年度の第3学年の授業において、生徒が英語による言語活動を行っている時間の割合はどのくらいですか（科目ごとに回答）。

(1) コミュニケーション英語Ⅱ

- ①授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上） ②半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

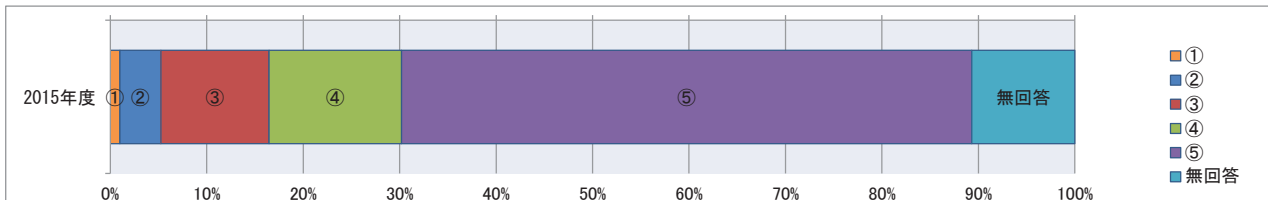
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	18	73	166	239	2,007	323	2,826
	選択率	0.6%	2.6%	5.9%	8.5%	71.0%	11.4%	100%
2014年度	回答数	19	46	173	339	1,381	535	2,493
	選択率	0.8%	1.8%	6.9%	13.6%	55.4%	21.5%	100%



(2) コミュニケーション英語Ⅲ

- ①授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上） ②半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

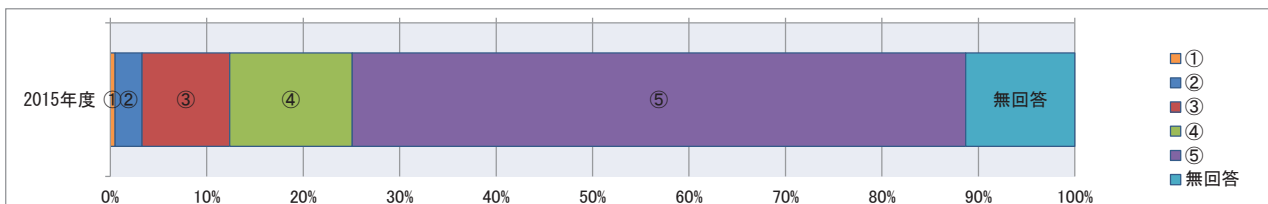
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	28	120	317	388	1,671	302	2,826
	選択率	1.0%	4.2%	11.2%	13.7%	59.1%	10.7%	100%



(3) 英語表現Ⅱ

- ①授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上） ②半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	14	79	257	359	1,797	320	2,826
	選択率	0.5%	2.8%	9.1%	12.7%	63.6%	11.3%	100%

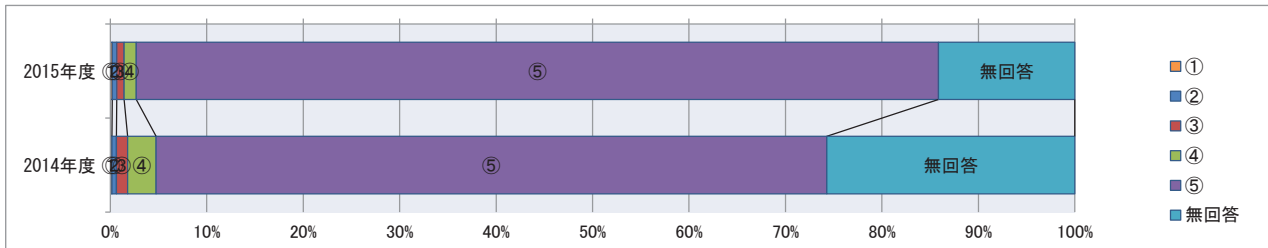


No.3 今年度の第3学年の授業において、生徒が英語による言語活動を行っている時間の割合はどのくらいですか（科目ごとに回答）。

(4) 総合英語

- ①授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上） ②半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

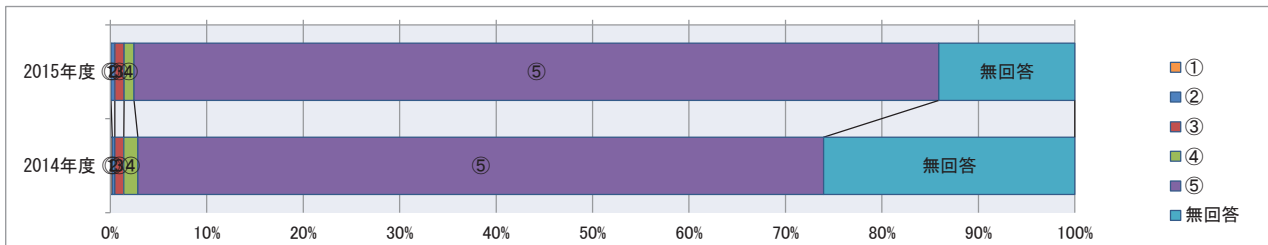
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	6	13	21	36	2,351	399	2,826
	選択率	0.2%	0.5%	0.7%	1.3%	83.2%	14.1%	100%
2014年度	回答数	4	12	29	73	1,734	641	2,493
	選択率	0.2%	0.5%	1.2%	2.9%	69.6%	25.7%	100%



(5) 英語理解

- ①授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上） ②半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

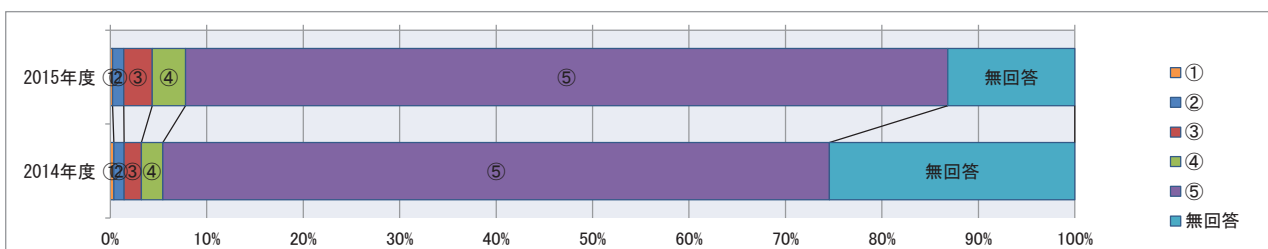
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	2	11	27	29	2,359	398	2,826
	選択率	0.1%	0.4%	1.0%	1.0%	83.5%	14.1%	100%
2014年度	回答数	5	7	23	36	1,773	649	2,493
	選択率	0.2%	0.3%	0.9%	1.4%	71.1%	26.0%	100%



(6) 英語表現

- ①授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上） ②半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	7	32	84	97	2,234	372	2,826
	選択率	0.2%	1.1%	3.0%	3.4%	79.1%	13.2%	100%
2014年度	回答数	9	27	44	56	1,723	634	2,493
	選択率	0.4%	1.1%	1.8%	2.2%	69.1%	25.4%	100%

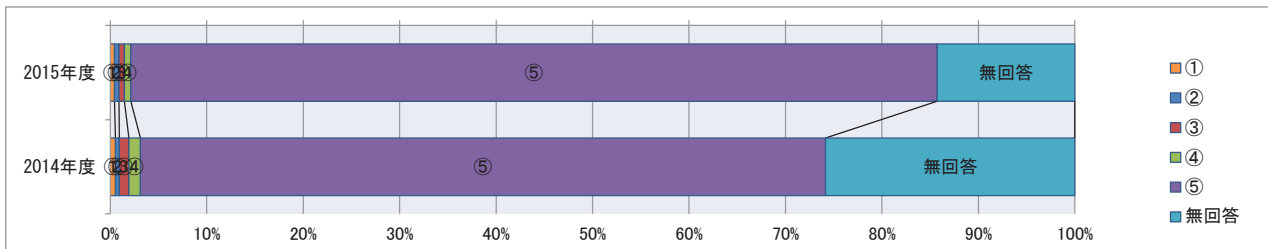


No.3 今年度の第3学年の授業において、生徒が英語による言語活動を行っている時間の割合はどのくらいですか（科目ごとに回答）。

(7) 異文化理解

- ①授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上） ②半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

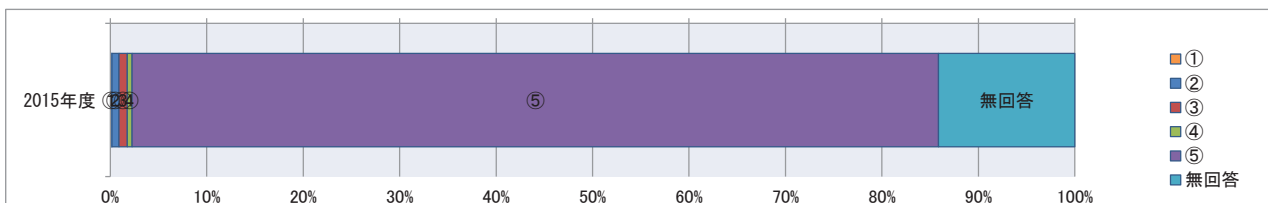
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	12	13	16	19	2,363	403	2,826
	選択率	0.4%	0.5%	0.6%	0.7%	83.6%	14.3%	100%
2014年度	回答数	13	10	25	30	1,771	644	2,493
	選択率	0.5%	0.4%	1.0%	1.2%	71.0%	25.8%	100%



(8) 時事英語

- ①授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上） ②半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

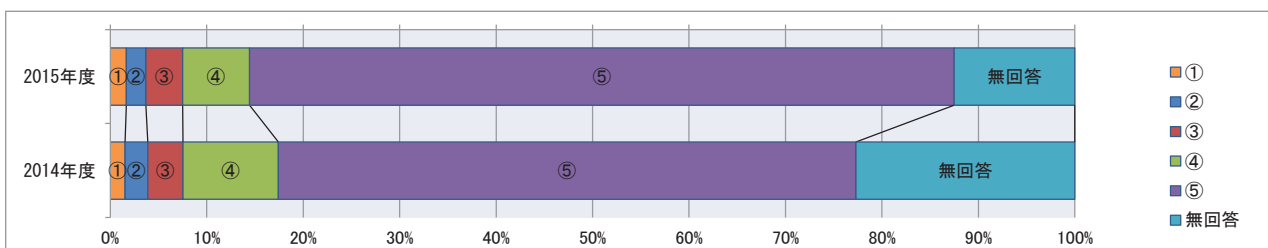
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	5	20	25	14	2,363	399	2,826
	選択率	0.2%	0.7%	0.9%	0.5%	83.6%	14.1%	100%



(9) 学校設定科目

- ①授業中、おおむね言語活動を行っている（75%程度以上） ②半分以上の時間、言語活動を行っている（50%程度以上～75%程度未満）
 ③半分未満の時間、言語活動を行っている（25%程度以上～50%程度未満） ④あまり言語活動を行っていない（25%程度未満）
 ⑤今年度は当該科目を担当していない

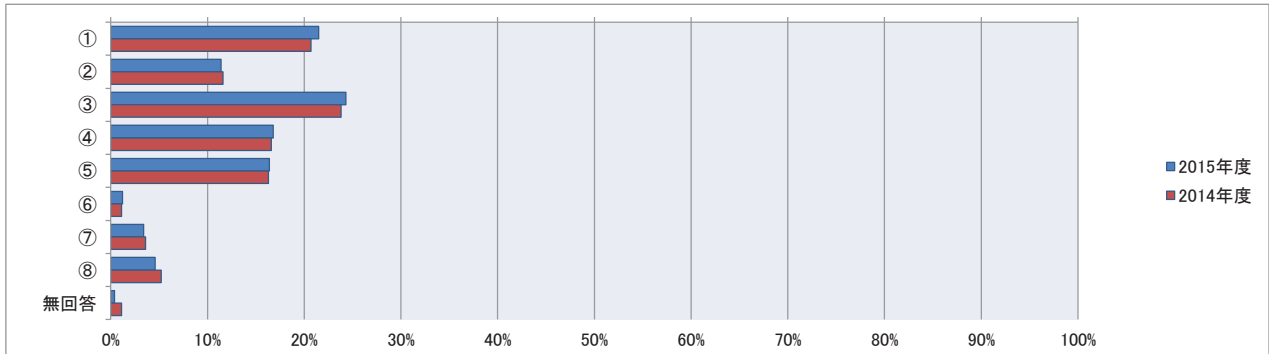
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
2015年度	回答数	47	57	108	196	2,065	353	2,826
	選択率	1.7%	2.0%	3.8%	6.9%	73.1%	12.5%	100%
2014年度	回答数	38	59	91	246	1,493	566	2,493
	選択率	1.5%	2.4%	3.7%	9.9%	59.9%	22.7%	100%



No. 4 自分の英語力を向上させるための取組をしていますか（複数回答可）。

- ①英字新聞や英語の雑誌、本を読む ②ラジオやテレビの英語講座で学習する ③英語のニュース番組や映画、ドラマを見る
 ④英語教材で学習する ⑤英語のウェブサイトを見たり、英語でEメールのやりとりをする ⑥国内の語学学校に通う
 ⑦SNSや教材等を利用して英語を話す練習をする ⑧その他

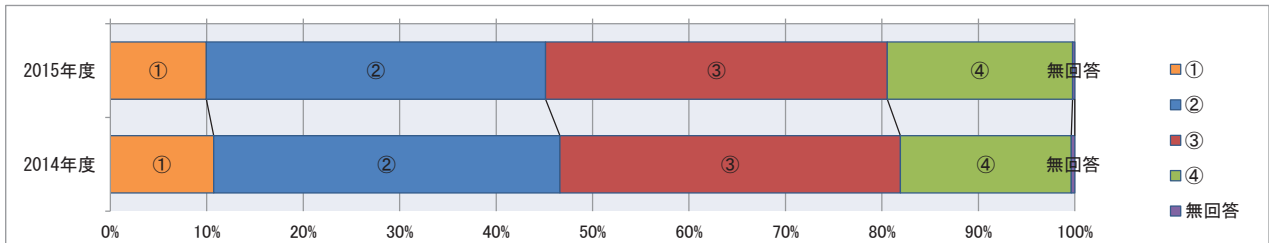
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	計
2015年度	回答数	1,729	914	1,957	1,354	1,322	93	271	373	34	8,047
	選択率	21.5%	11.4%	24.3%	16.8%	16.4%	1.2%	3.4%	4.6%	0.4%	100%
2014年度	回答数	1,490	831	1,709	1,190	1,173	82	258	371	78	7,182
	選択率	20.7%	11.6%	23.8%	16.6%	16.3%	1.1%	3.6%	5.2%	1.1%	100%



No. 5 校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか。

- ①よくしている ②どちらかといえば、している ③あまりしていない ④ほとんどしていない

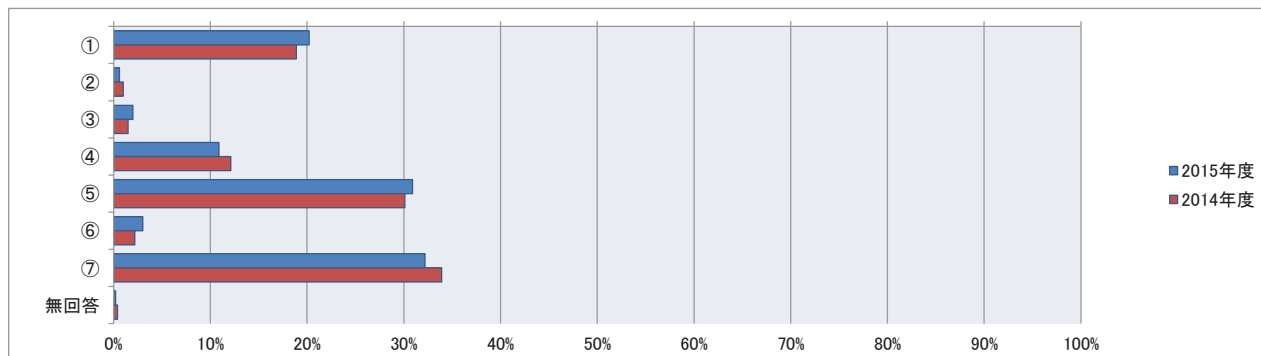
実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
2015年度	回答数	281	994	1,002	542	7	2,826
	選択率	9.9%	35.2%	35.5%	19.2%	0.2%	100%
2014年度	回答数	267	895	880	442	9	2,493
	選択率	10.7%	35.9%	35.3%	17.7%	0.4%	100%



No. 6 教員になってから、英語に関する外部検定試験を受験しましたか（複数回答可）。

①英検（実用英語技能検定） ②GTEC ③IELTS ④TOEFL ⑤TOEIC ⑥その他 ⑦受験していない

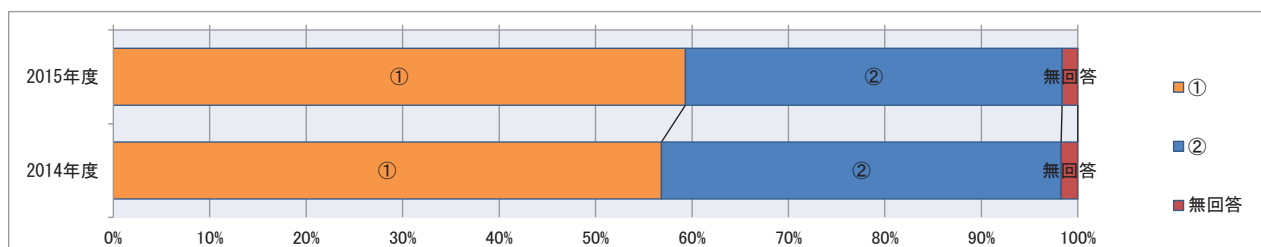
実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	無回答	計
2015年度	回答数	734	22	74	395	1,122	108	1,168	9	3,632
	選択率	20.2%	0.6%	2.0%	10.9%	30.9%	3.0%	32.2%	0.2%	100%
2014年度	回答数	606	32	47	386	963	69	1,083	12	3,198
	選択率	18.9%	1.0%	1.5%	12.1%	30.1%	2.2%	33.9%	0.4%	100%



No. 7 外部検定試験を受験し、英検準1級、TOEFL iBT 80点、TOEIC 730点以上のいずれかを取得していますか。

①取得している ②取得していない

実施年度	選択番号	①	②	無回答	計
2015年度	回答数	1,676	1,104	46	2,826
	選択率	59.3%	39.1%	1.6%	100%
2014年度	回答数	1,417	1,033	43	2,493
	選択率	56.8%	41.4%	1.7%	100%



＜参考資料＞

資料 2 : 質問紙調査結果と各技能のクロス集計（公立学校）

- (1) 生徒質問紙とリーディングのクロス集計結果・・・226
- (2) 生徒質問紙とリスニングのクロス集計結果・・・262
- (3) 生徒質問紙とライティングのクロス集計結果・・・298
- (4) 生徒質問紙とスピーキングのクロス集計結果・・・334

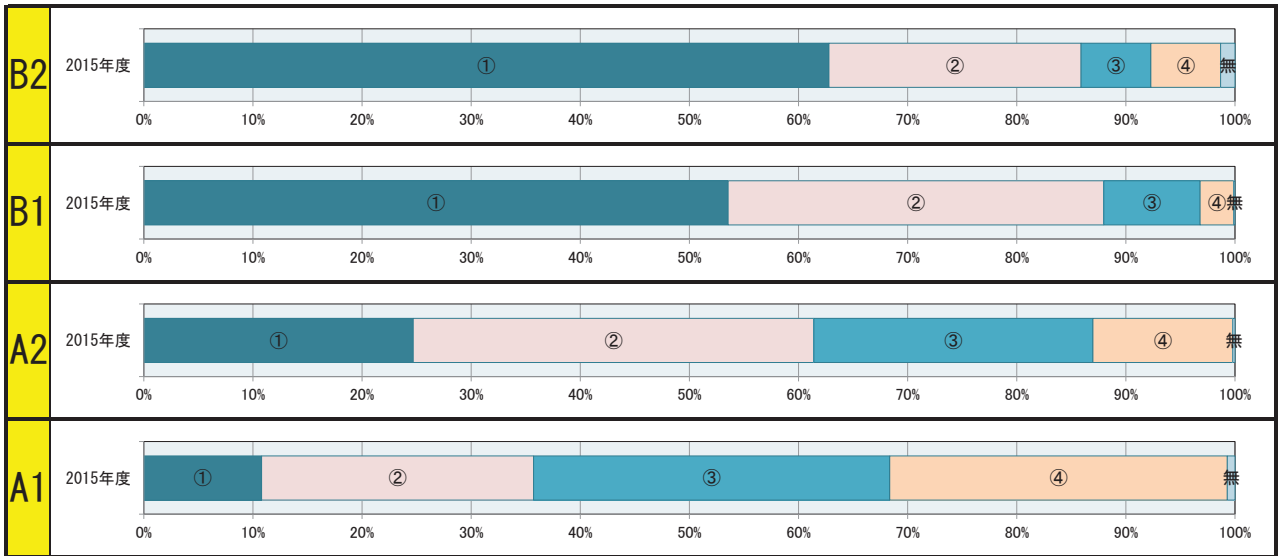
【英語に関する意識・経験・学習・授業等に関するアンケート】

<英語に関する意識について>

No.1 英語の学習は好きですか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ ほとんどそう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	49	18	5	5	1	78
		選択率	62.8%	23.1%	6.4%	6.4%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	831	535	137	48	2	1,553
		選択率	53.5%	34.4%	8.8%	3.1%	0.1%	100%
A2	2015年度	回答数	5,759	8,560	5,968	2,991	45	23,323
		選択率	24.7%	36.7%	25.6%	12.8%	0.2%	100%
A1	2015年度	回答数	5,706	13,167	17,231	16,349	390	52,843
		選択率	10.8%	24.9%	32.6%	30.9%	0.7%	100%

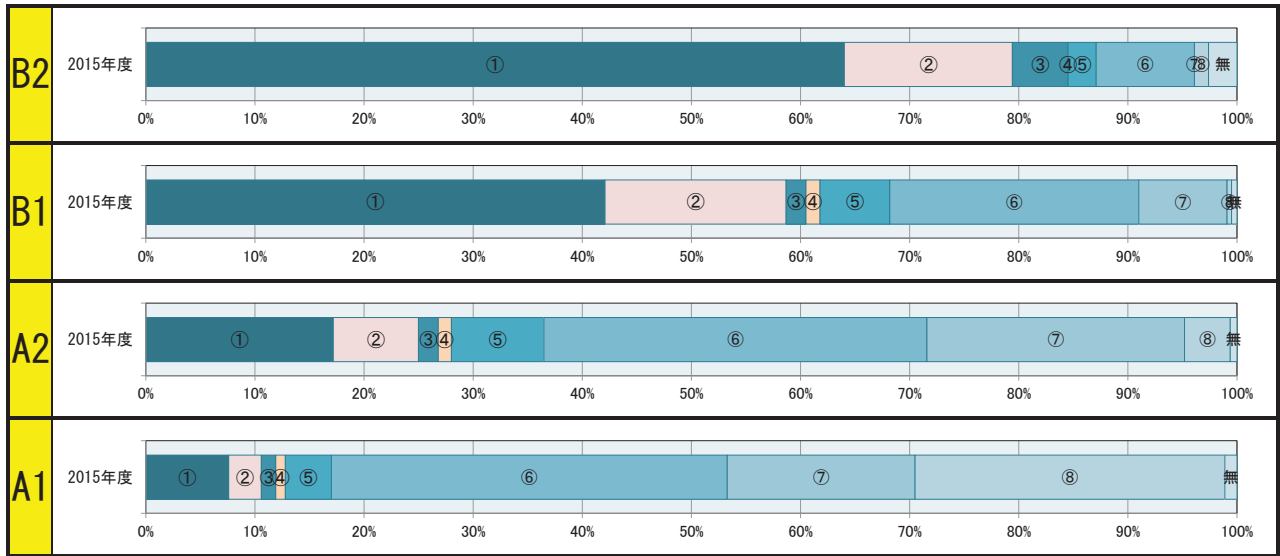


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

No. 2 どの程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①英語を使って国際社会で活躍できるようになりたい ②大学での自分が専攻する学問を英語で学ぶことができるようになりたい
③高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい ④高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい
⑤海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい ⑥海外旅行などをするとき、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい
⑦大学入試に対応できる力をつけたい ⑧特に学校の授業以外での利用を考えていない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	計
B2	2015年度	回答数	50	12	4	0	2	7	0	1	2	78
		選択率	64.1%	15.4%	5.1%	0.0%	2.6%	9.0%	0.0%	1.3%	2.6%	100%
B1	2015年度	回答数	654	258	28	20	99	354	126	6	8	1,553
		選択率	42.1%	16.6%	1.8%	1.3%	6.4%	22.8%	8.1%	0.4%	0.5%	100%
A2	2015年度	回答数	4,011	1,818	413	284	1,988	8,182	5,509	989	129	23,323
		選択率	17.2%	7.8%	1.8%	1.2%	8.5%	35.1%	23.6%	4.2%	0.6%	100%
A1	2015年度	回答数	4,005	1,571	665	457	2,245	19,203	9,094	14,997	606	52,843
		選択率	7.6%	3.0%	1.3%	0.9%	4.2%	36.3%	17.2%	28.4%	1.1%	100%



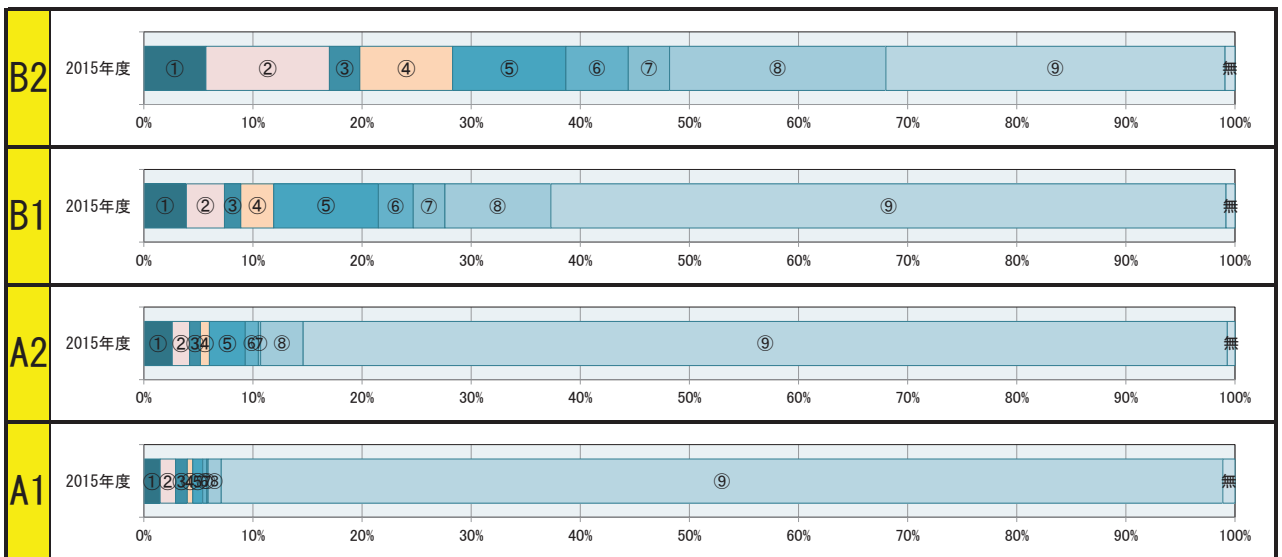
クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<英語使用などに関する経験について>

No.3 高校生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

- ①イングリッシュキャンプ ②英語のスピーチ大会（校内での予選などは除く）
③英語のプレゼンテーション大会（校内での予選などは除く） ④英語のディベート大会（校内での予選などは除く）
⑤留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満） ⑥留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満）
⑦留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上） ⑧ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）
⑨当てはまるものはない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
B2	2015年度	回答数	6	12	3	9	11	6	4	21	33	1	106
		選択率	5.7%	11.3%	2.8%	8.5%	10.4%	5.7%	3.8%	19.8%	31.1%	0.9%	100%
B1	2015年度	回答数	69	62	27	54	172	58	51	174	1,107	14	1,788
		選択率	3.9%	3.5%	1.5%	3.0%	9.6%	3.2%	2.9%	9.7%	61.9%	0.8%	100%
A2	2015年度	回答数	644	390	254	185	805	286	58	954	20,566	173	24,315
		選択率	2.6%	1.6%	1.0%	0.8%	3.3%	1.2%	0.2%	3.9%	84.6%	0.7%	100%
A1	2015年度	回答数	811	731	586	290	456	201	63	633	49,029	565	53,365
		選択率	1.5%	1.4%	1.1%	0.5%	0.9%	0.4%	0.1%	1.2%	91.9%	1.1%	100%

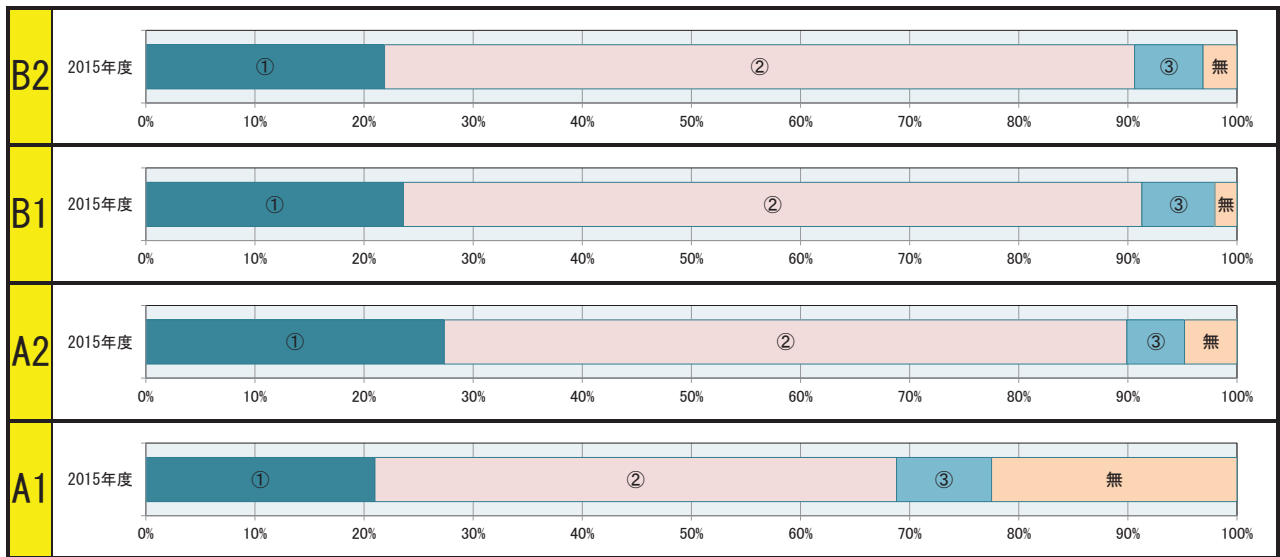


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リーディング
全国（公立）

No. 4 (No. 3で⑤～⑧と回答した方のみ) 外国に渡った当時の学年はいつですか。
当てはまるものを1つ選んで下さい（複数回留学などをした経験がある場合は、一番最近留学などをした学年を選んで下さい）。

①高校1年生 ②高校2年生 ③高校3年生

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	無回答	計
B2	2015年度	回答数	7	22	2	1	32
		選択率	21.9%	68.8%	6.3%	3.1%	100%
B1	2015年度	回答数	81	232	23	7	343
		選択率	23.6%	67.6%	6.7%	2.0%	100%
A2	2015年度	回答数	448	1,025	87	78	1,638
		選択率	27.4%	62.6%	5.3%	4.8%	100%
A1	2015年度	回答数	243	552	100	260	1,155
		選択率	21.0%	47.8%	8.7%	22.5%	100%



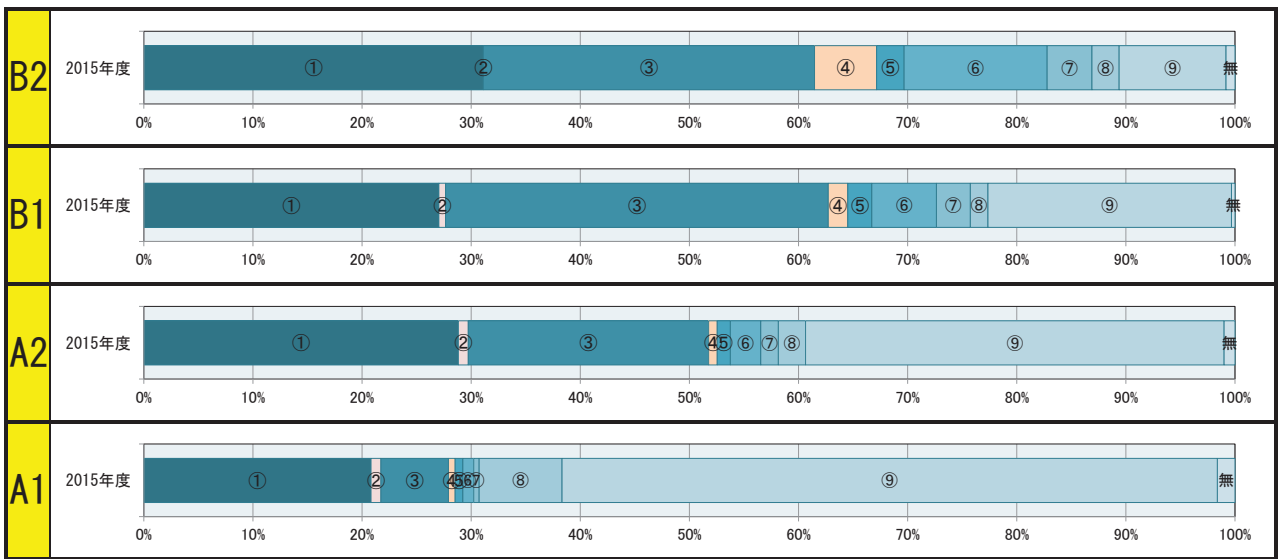
クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<英語に関する資格・検定試験の受験経験について>

No.5 高校生になってから、今回の試験以外に、英語に関する資格・検定試験を受験したことがありますか。
受験したことがあるものをすべて選んで下さい。受験したことがなければ⑨を選んで下さい（複数回答可）。

- ①英検（実用英語技能検定） ②ケンブリッジ英検 ③GTEC for STUDENTS ④TOEFL ⑤TOEFL Junior
⑥TOEIC ⑦TOEIC Bridge ⑧その他 ⑨英語に関する資格・検定試験を受験したことはない

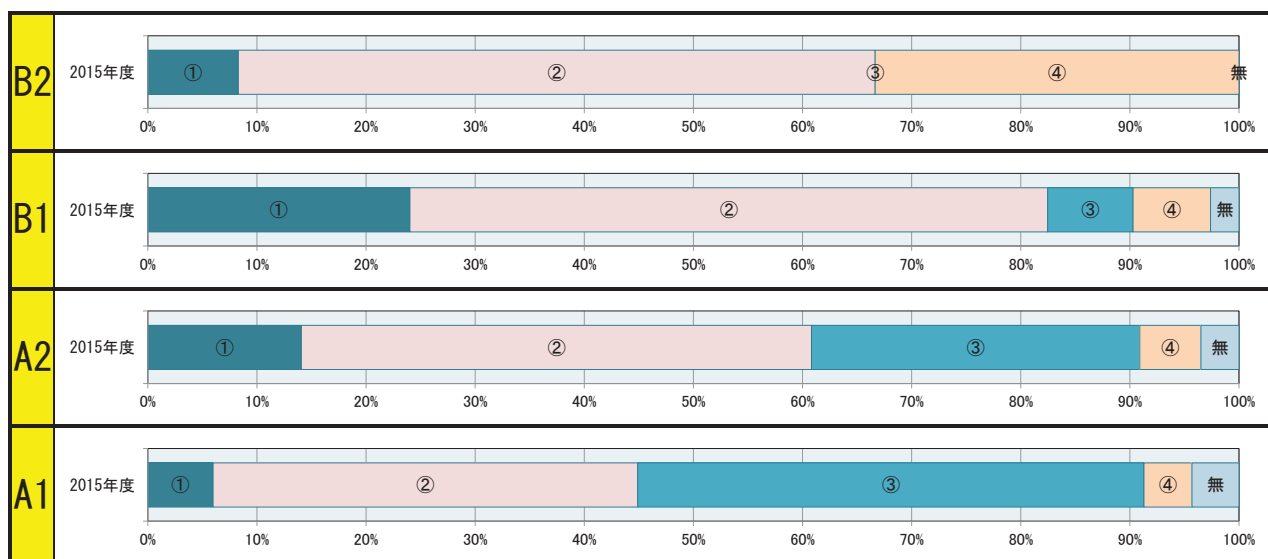
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
B2	2015年度	回答数	38	0	37	7	3	16	5	3	12	1	122
		選択率	31.1%	0.0%	30.3%	5.7%	2.5%	13.1%	4.1%	2.5%	9.8%	0.8%	100%
B1	2015年度	回答数	541	13	702	37	44	118	63	32	447	7	2,004
		選択率	27.0%	0.6%	35.0%	1.8%	2.2%	5.9%	3.1%	1.6%	22.3%	0.3%	100%
A2	2015年度	回答数	7,584	228	5,794	202	326	743	433	671	10,085	257	26,323
		選択率	28.8%	0.9%	22.0%	0.8%	1.2%	2.8%	1.6%	2.5%	38.3%	1.0%	100%
A1	2015年度	回答数	11,322	507	3,409	345	383	552	265	4,172	32,715	884	54,554
		選択率	20.8%	0.9%	6.2%	0.6%	0.7%	1.0%	0.5%	7.6%	60.0%	1.6%	100%



No. 6 (No. 5で⑨と回答した方のみ) 受験したことがない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

- ①受験しなかったが、その機会がなかった ②受験したいとは思わなかった（受験する必要性を感じなかった）
 ③自分の英語力に自信がない ④その他

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	1	7	0	4	0	12
		選択率	8.3%	58.3%	0.0%	33.3%	0.0%	100%
B1	2015年度	回答数	111	270	36	33	12	462
		選択率	24.0%	58.4%	7.8%	7.1%	2.6%	100%
A2	2015年度	回答数	1,502	4,991	3,210	598	370	10,671
		選択率	14.1%	46.8%	30.1%	5.6%	3.5%	100%
A1	2015年度	回答数	2,070	13,514	16,155	1,537	1,508	34,784
		選択率	6.0%	38.9%	46.4%	4.4%	4.3%	100%



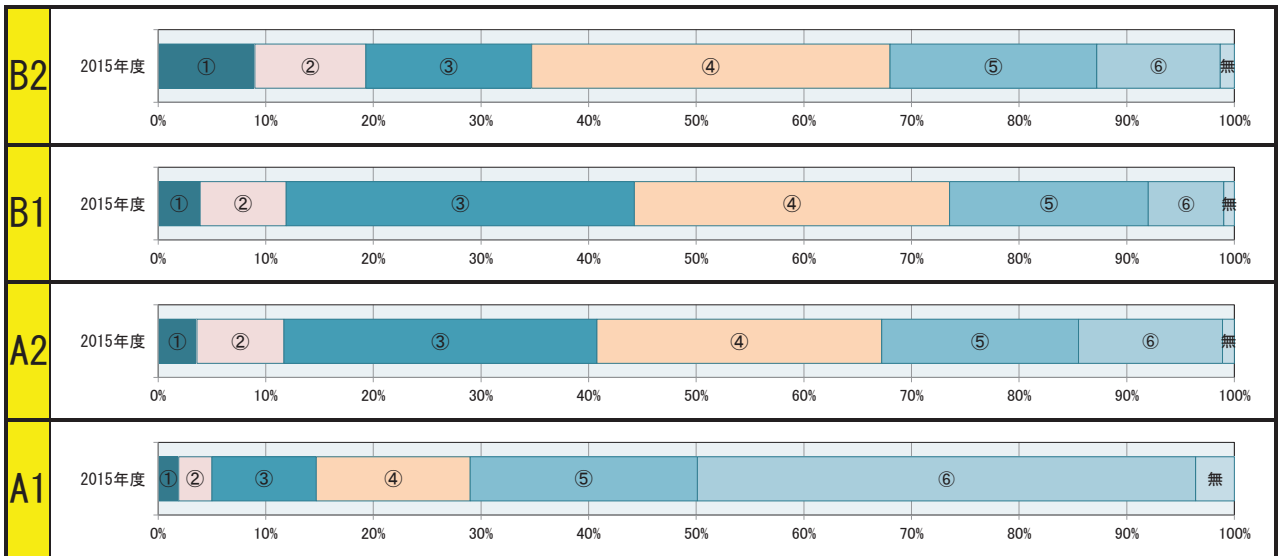
クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<英語の学習方法・内容・時間について>

No.7 学校の授業や予習・復習以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

①3時間以上 ②2時間以上3時間未満 ③1時間以上2時間未満 ④30分以上1時間未満 ⑤30分未満 ⑥全くしない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	計
B2	2015年度	回答数	7	8	12	26	15	9	1	78
		選択率	9.0%	10.3%	15.4%	33.3%	19.2%	11.5%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	60	125	503	455	287	108	15	1,553
		選択率	3.9%	8.0%	32.4%	29.3%	18.5%	7.0%	1.0%	100%
A2	2015年度	回答数	828	1,893	6,782	6,191	4,268	3,116	245	23,323
		選択率	3.6%	8.1%	29.1%	26.5%	18.3%	13.4%	1.1%	100%
A1	2015年度	回答数	988	1,615	5,137	7,556	11,131	24,488	1,928	52,843
		選択率	1.9%	3.1%	9.7%	14.3%	21.1%	46.3%	3.6%	100%

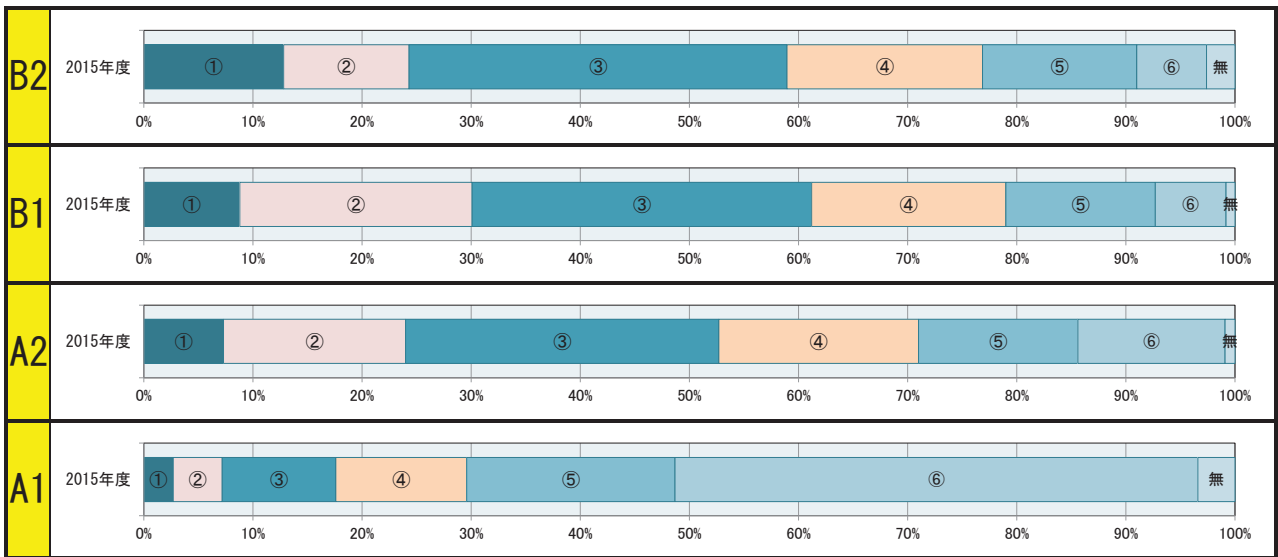


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

No. 8 土曜日・日曜日、祝日など学校が休みの日に、学校の授業の予習・復習以外に、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

① 3時間以上 ② 2時間以上3時間未満 ③ 1時間以上2時間未満 ④ 30分以上1時間未満 ⑤ 30分未満 ⑥ 全くしない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	計
B2	2015年度	回答数	10	9	27	14	11	5	2	78
		選択率	12.8%	11.5%	34.6%	17.9%	14.1%	6.4%	2.6%	100%
B1	2015年度	回答数	136	331	483	277	212	101	13	1,553
		選択率	8.8%	21.3%	31.1%	17.8%	13.7%	6.5%	0.8%	100%
A2	2015年度	回答数	1,700	3,900	6,700	4,272	3,406	3,140	205	23,323
		選択率	7.3%	16.7%	28.7%	18.3%	14.6%	13.5%	0.9%	100%
A1	2015年度	回答数	1,441	2,398	5,502	6,316	10,089	25,299	1,798	52,843
		選択率	2.7%	4.5%	10.4%	12.0%	19.1%	47.9%	3.4%	100%

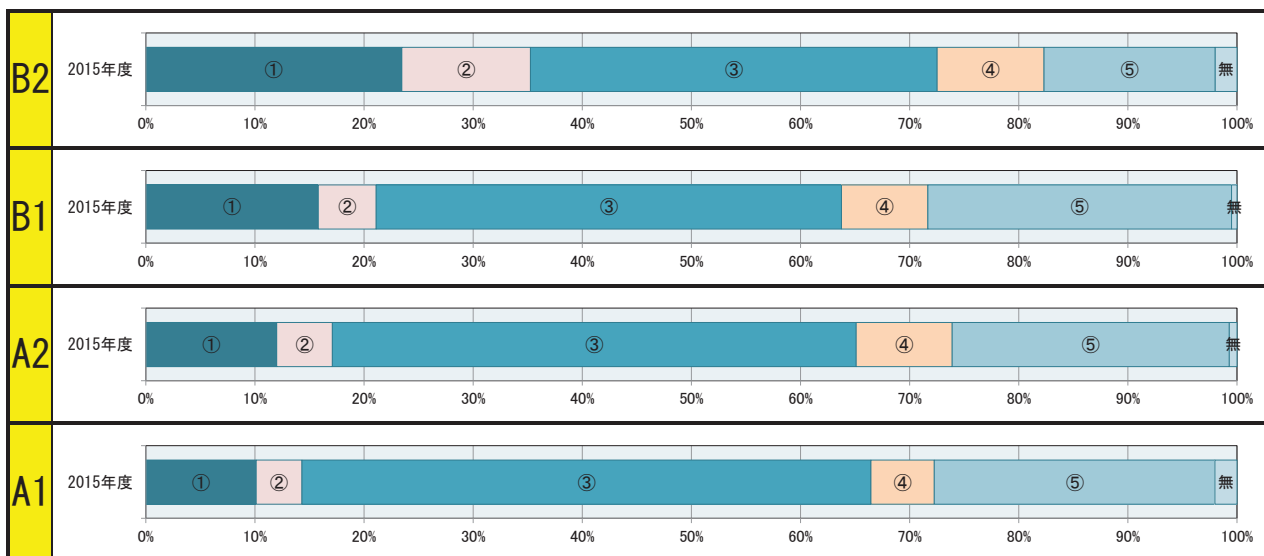


平成27年度 英語教育改善のための英語力調査事業
 クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リーディング
 全国（公立）

No. 9 学校の授業以外で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。
 当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

- ①パソコンを活用している ②タブレットを活用している ③スマートフォンや携帯電話を活用している
 ④その他の情報機器を活用している ⑤活用していない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
B2	2015年度	回答数	24	12	38	10	16	2	102
		選択率	23.5%	11.8%	37.3%	9.8%	15.7%	2.0%	100%
B1	2015年度	回答数	288	97	777	144	506	10	1,822
		選択率	15.8%	5.3%	42.6%	7.9%	27.8%	0.5%	100%
A2	2015年度	回答数	3,199	1,359	12,840	2,368	6,806	191	26,763
		選択率	12.0%	5.1%	48.0%	8.8%	25.4%	0.7%	100%
A1	2015年度	回答数	6,026	2,497	31,078	3,486	15,335	1,207	59,629
		選択率	10.1%	4.2%	52.1%	5.8%	25.7%	2.0%	100%



クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リーディング
全国（公立）

<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

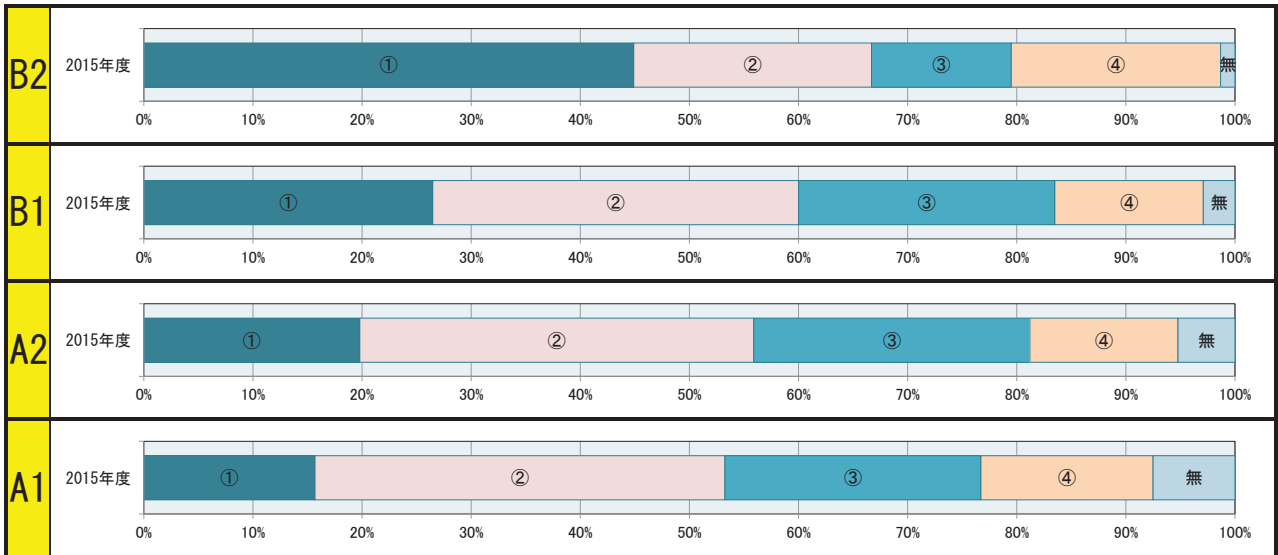
（英語を聞くことに関する活動）

No. 10 以下の学年の英語の授業では、英語を聞いて、
（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	35	17	10	15	1	78
		選択率	44.9%	21.8%	12.8%	19.2%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	411	521	365	211	45	1,553
		選択率	26.5%	33.5%	23.5%	13.6%	2.9%	100%
A2	2015年度	回答数	4,617	8,415	5,901	3,176	1,214	23,323
		選択率	19.8%	36.1%	25.3%	13.6%	5.2%	100%
A1	2015年度	回答数	8,275	19,862	12,407	8,351	3,948	52,843
		選択率	15.7%	37.6%	23.5%	15.8%	7.5%	100%

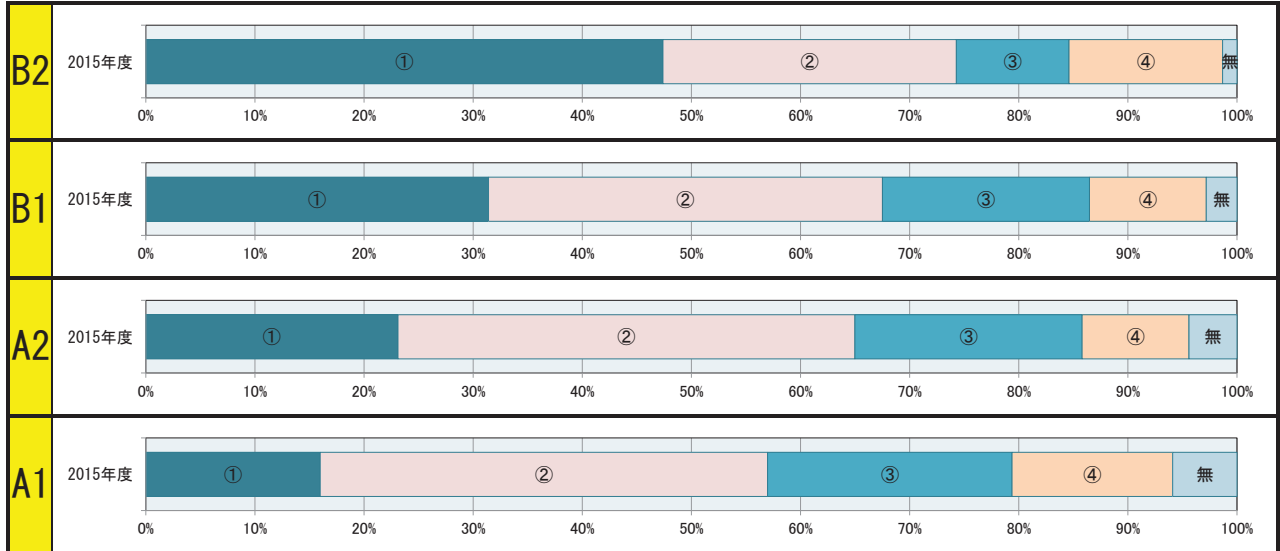


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リーディング
全国（公立）

(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

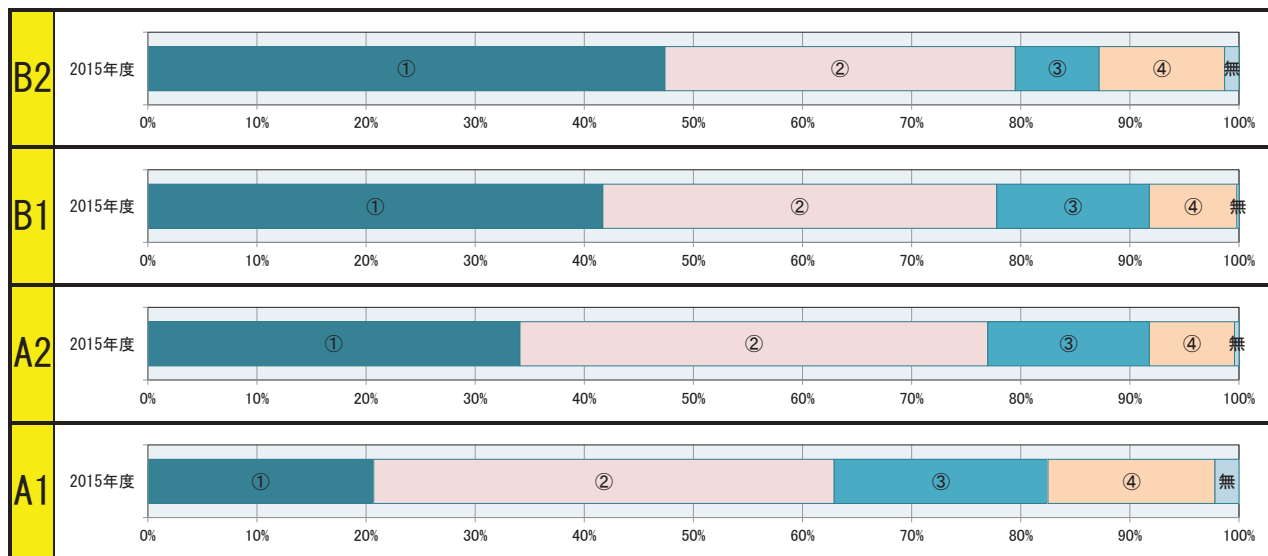
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	37	21	8	11	1	78
		選択率	47.4%	26.9%	10.3%	14.1%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	488	561	295	166	43	1,553
		選択率	31.4%	36.1%	19.0%	10.7%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	5,376	9,783	4,844	2,293	1,027	23,323
		選択率	23.1%	41.9%	20.8%	9.8%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	8,478	21,690	11,832	7,742	3,101	52,843
		選択率	16.0%	41.0%	22.4%	14.7%	5.9%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	37	25	6	9	1	78
		選択率	47.4%	32.1%	7.7%	11.5%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	647	560	218	125	3	1,553
		選択率	41.7%	36.1%	14.0%	8.0%	0.2%	100%
A2	2015年度	回答数	7,957	10,006	3,451	1,810	99	23,323
		選択率	34.1%	42.9%	14.8%	7.8%	0.4%	100%
A1	2015年度	回答数	10,959	22,297	10,353	8,080	1,154	52,843
		選択率	20.7%	42.2%	19.6%	15.3%	2.2%	100%



クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

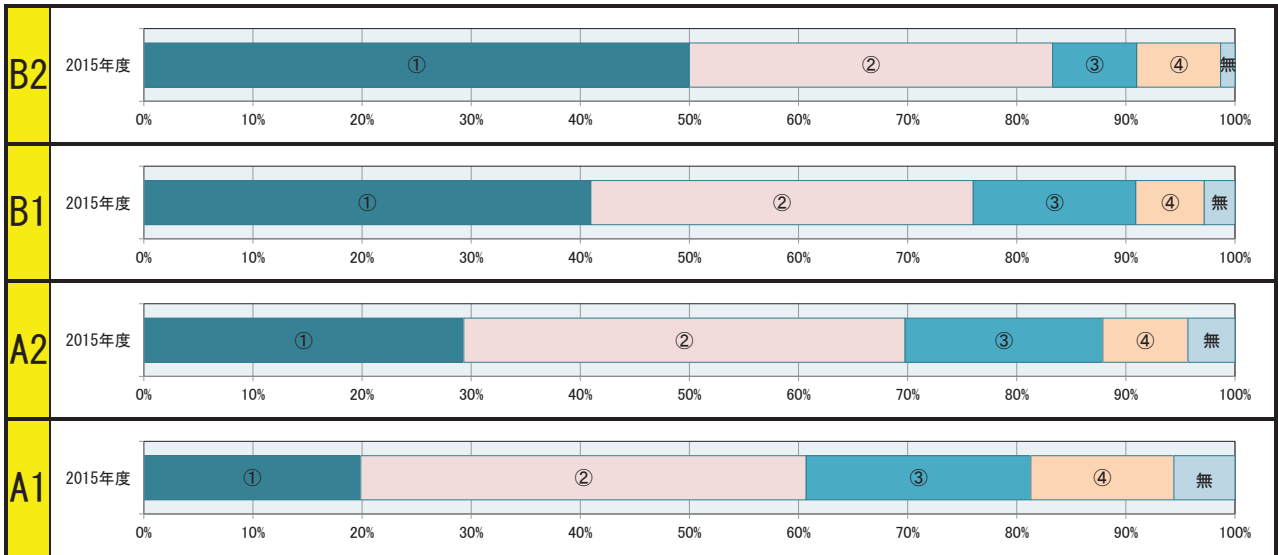
（英語を読むことに関する活動）

No. 11 次の学年の英語の授業では、英語を読んで、
（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

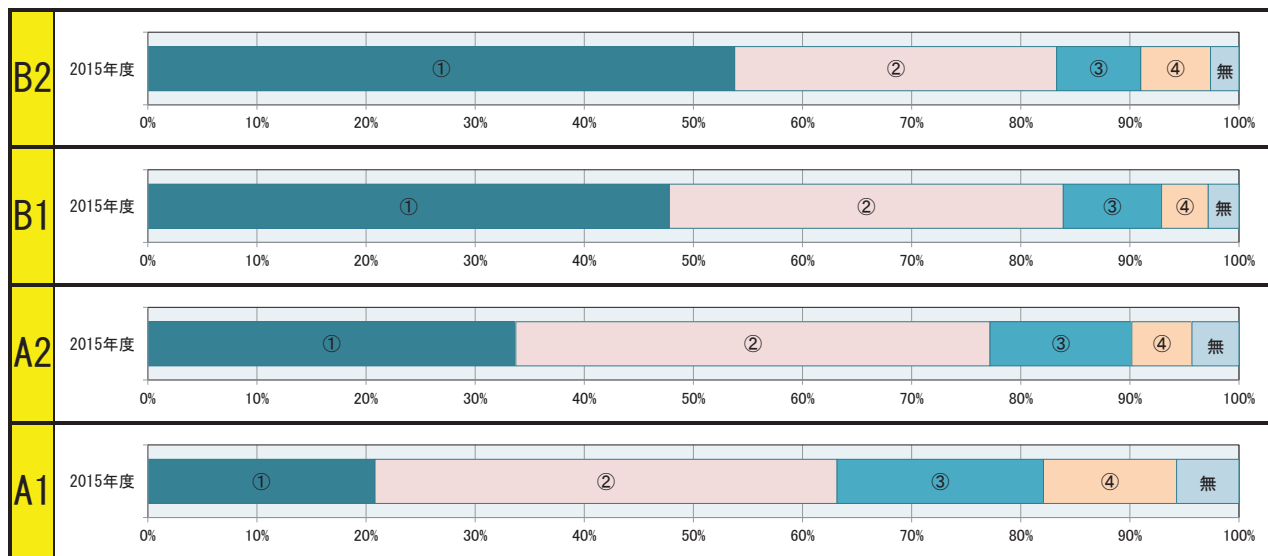
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	39	26	6	6	1	78
		選択率	50.0%	33.3%	7.7%	7.7%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	636	545	231	98	43	1,553
		選択率	41.0%	35.1%	14.9%	6.3%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	6,845	9,416	4,233	1,830	999	23,323
		選択率	29.3%	40.4%	18.1%	7.8%	4.3%	100%
A1	2015年度	回答数	10,527	21,540	10,867	6,939	2,970	52,843
		選択率	19.9%	40.8%	20.6%	13.1%	5.6%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	42	23	6	5	2	78
		選択率	53.8%	29.5%	7.7%	6.4%	2.6%	100%
B1	2015年度	回答数	743	561	139	67	43	1,553
		選択率	47.8%	36.1%	9.0%	4.3%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	7,861	10,131	3,042	1,289	1,000	23,323
		選択率	33.7%	43.4%	13.0%	5.5%	4.3%	100%
A1	2015年度	回答数	11,015	22,362	9,998	6,445	3,023	52,843
		選択率	20.8%	42.3%	18.9%	12.2%	5.7%	100%

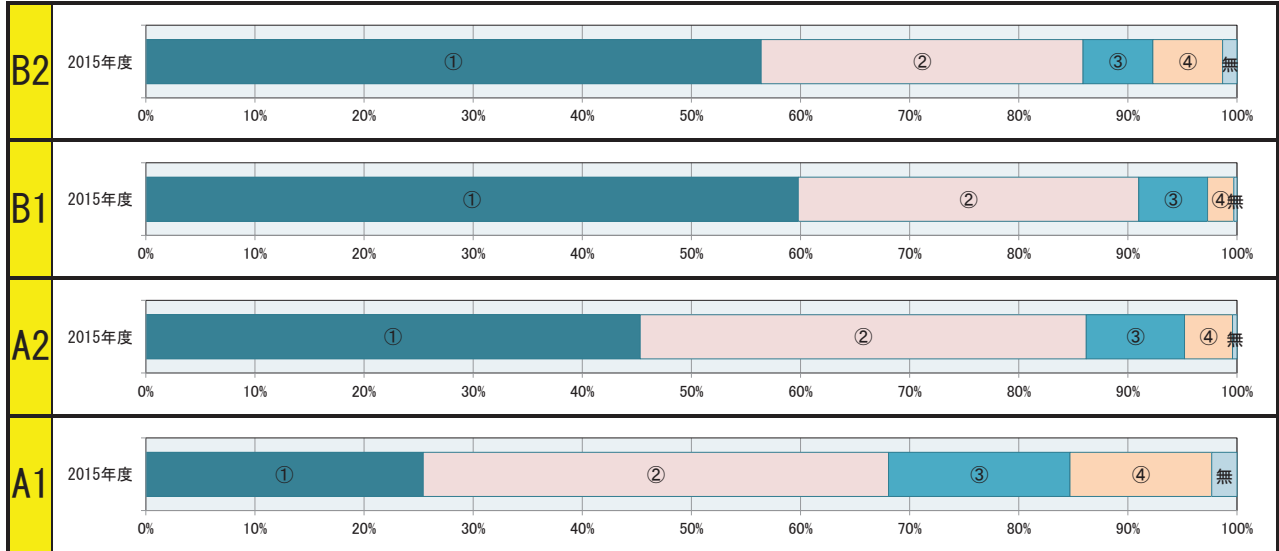


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リーディング
全国（公立）

(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	44	23	5	5	1	78
		選択率	56.4%	29.5%	6.4%	6.4%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	929	484	98	38	4	1,553
		選択率	59.8%	31.2%	6.3%	2.4%	0.3%	100%
A2	2015年度	回答数	10,566	9,538	2,093	1,023	103	23,323
		選択率	45.3%	40.9%	9.0%	4.4%	0.4%	100%
A1	2015年度	回答数	13,422	22,502	8,795	6,893	1,231	52,843
		選択率	25.4%	42.6%	16.6%	13.0%	2.3%	100%



クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

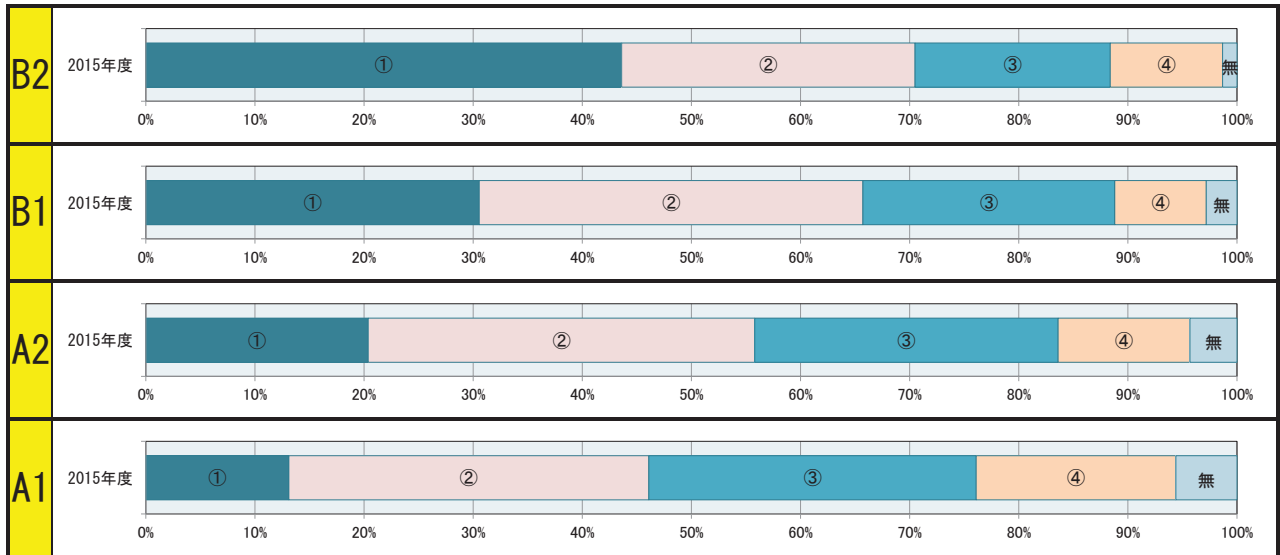
（英語を読むことに関する活動）

No. 12 次の学年の英語の授業では、速読したり精読したりするなど、目的に応じた読み方をする活動をしていましたか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

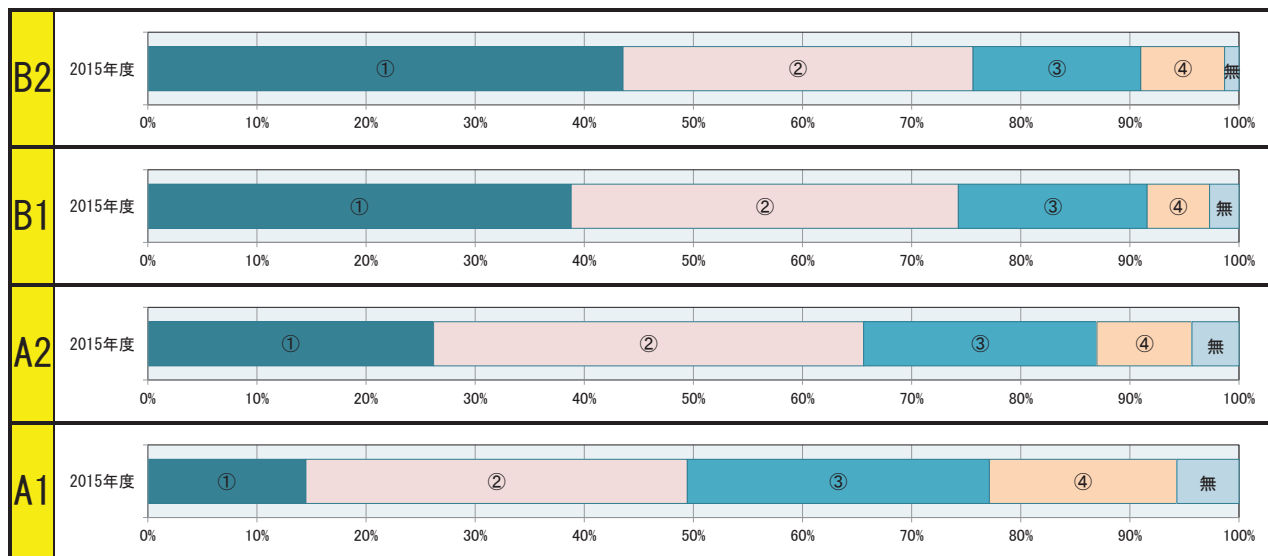
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	34	21	14	8	1	78
		選択率	43.6%	26.9%	17.9%	10.3%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	475	546	359	130	43	1,553
		選択率	30.6%	35.2%	23.1%	8.4%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	4,756	8,267	6,474	2,827	999	23,323
		選択率	20.4%	35.4%	27.8%	12.1%	4.3%	100%
A1	2015年度	回答数	6,926	17,432	15,846	9,671	2,968	52,843
		選択率	13.1%	33.0%	30.0%	18.3%	5.6%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

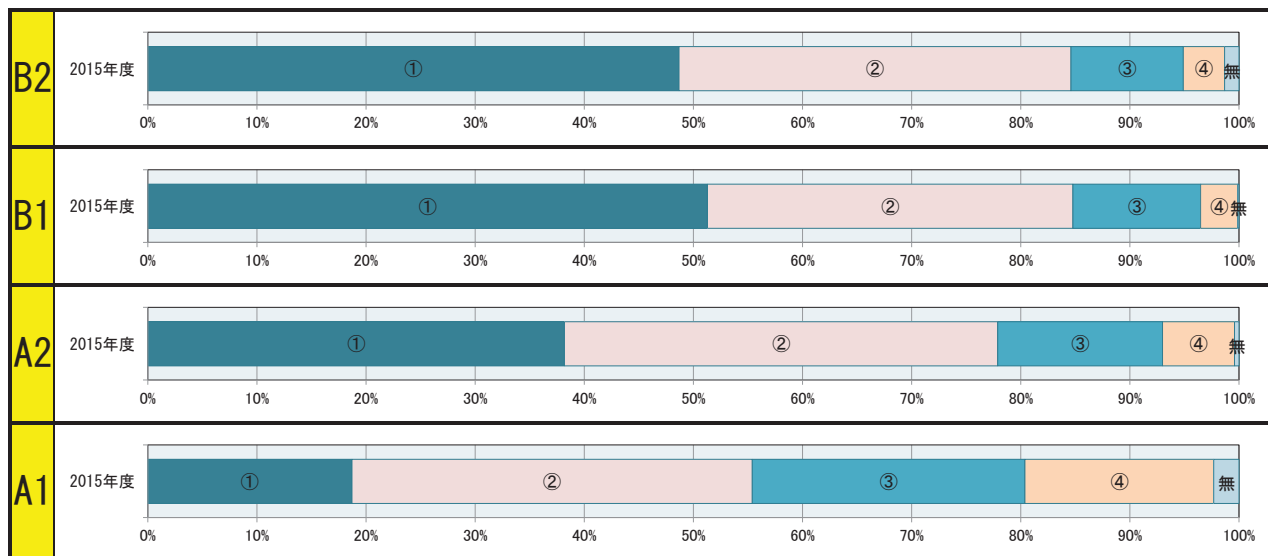
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	34	25	12	6	1	78
		選択率	43.6%	32.1%	15.4%	7.7%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	602	552	268	89	42	1,553
		選択率	38.8%	35.5%	17.3%	5.7%	2.7%	100%
A2	2015年度	回答数	6,115	9,186	4,988	2,023	1,011	23,323
		選択率	26.2%	39.4%	21.4%	8.7%	4.3%	100%
A1	2015年度	回答数	7,639	18,506	14,612	9,069	3,017	52,843
		選択率	14.5%	35.0%	27.7%	17.2%	5.7%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	38	28	8	3	1	78
		選択率	48.7%	35.9%	10.3%	3.8%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	796	520	182	53	2	1,553
		選択率	51.3%	33.5%	11.7%	3.4%	0.1%	100%
A2	2015年度	回答数	8,920	9,249	3,527	1,538	89	23,323
		選択率	38.2%	39.7%	15.1%	6.6%	0.4%	100%
A1	2015年度	回答数	9,893	19,374	13,219	9,154	1,203	52,843
		選択率	18.7%	36.7%	25.0%	17.3%	2.3%	100%



クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

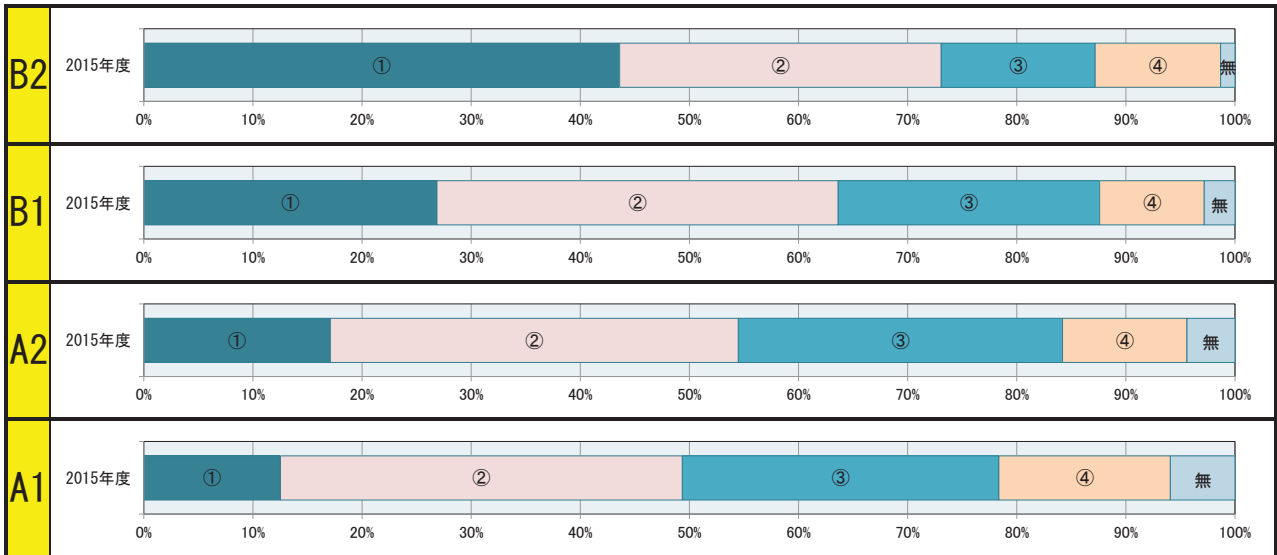
（英語を聞くこと及び読むことに関する活動）

No. 13 次の学年の英語の授業では、英語を聞いたり読んだりする際、未知の語の意味を推測したり背景となる知識を活用したりするなどして理解するようにしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	34	23	11	9	1	78
		選択率	43.6%	29.5%	14.1%	11.5%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	418	571	372	149	43	1,553
		選択率	26.9%	36.8%	24.0%	9.6%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	3,999	8,719	6,922	2,656	1,027	23,323
		選択率	17.1%	37.4%	29.7%	11.4%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	6,624	19,466	15,326	8,308	3,119	52,843
		選択率	12.5%	36.8%	29.0%	15.7%	5.9%	100%

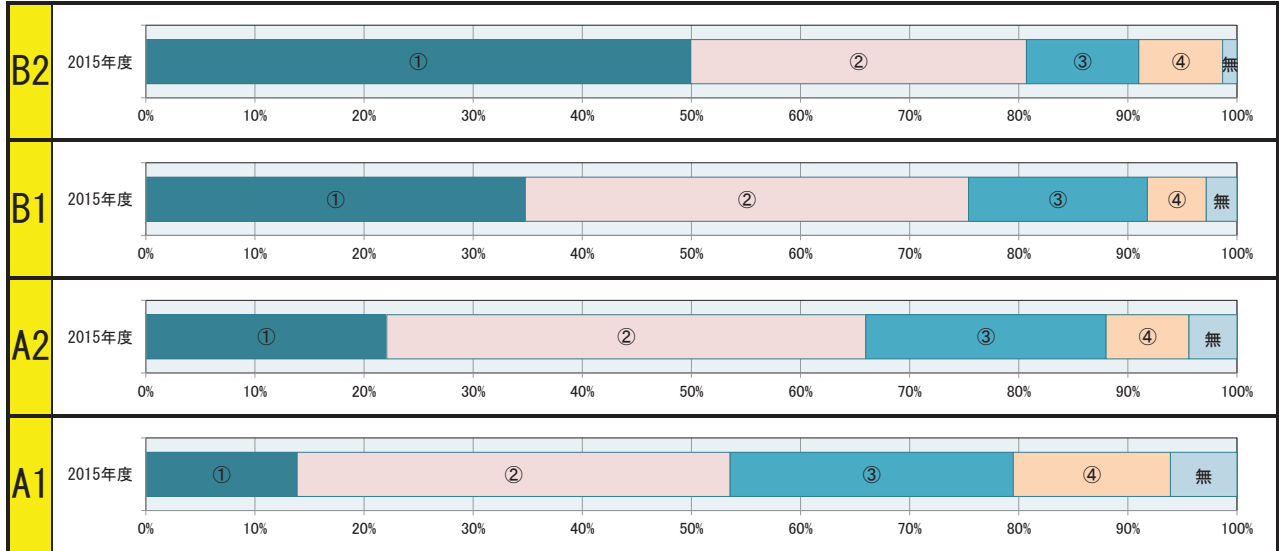


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リーディング
全国（公立）

(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

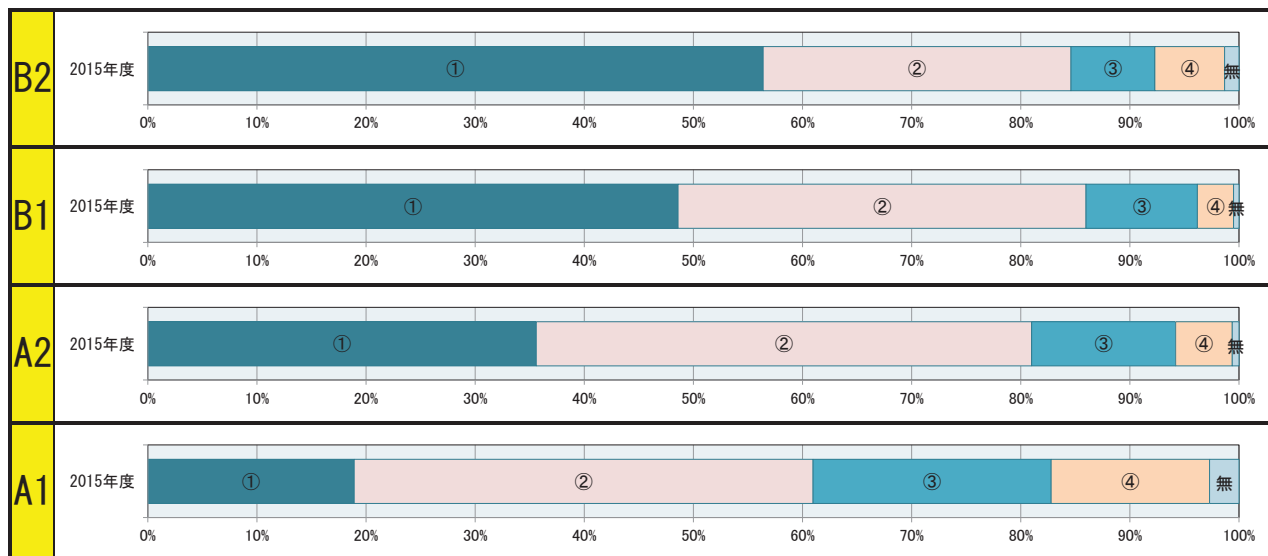
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	39	24	8	6	1	78
		選択率	50.0%	30.8%	10.3%	7.7%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	540	630	255	84	44	1,553
		選択率	34.8%	40.6%	16.4%	5.4%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	5,166	10,244	5,120	1,765	1,028	23,323
		選択率	22.1%	43.9%	22.0%	7.6%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	7,363	20,956	13,719	7,594	3,211	52,843
		選択率	13.9%	39.7%	26.0%	14.4%	6.1%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	44	22	6	5	1	78
		選択率	56.4%	28.2%	7.7%	6.4%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	754	581	159	52	7	1,553
		選択率	48.6%	37.4%	10.2%	3.3%	0.5%	100%
A2	2015年度	回答数	8,297	10,587	3,076	1,217	146	23,323
		選択率	35.6%	45.4%	13.2%	5.2%	0.6%	100%
A1	2015年度	回答数	9,992	22,216	11,521	7,664	1,450	52,843
		選択率	18.9%	42.0%	21.8%	14.5%	2.7%	100%



クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

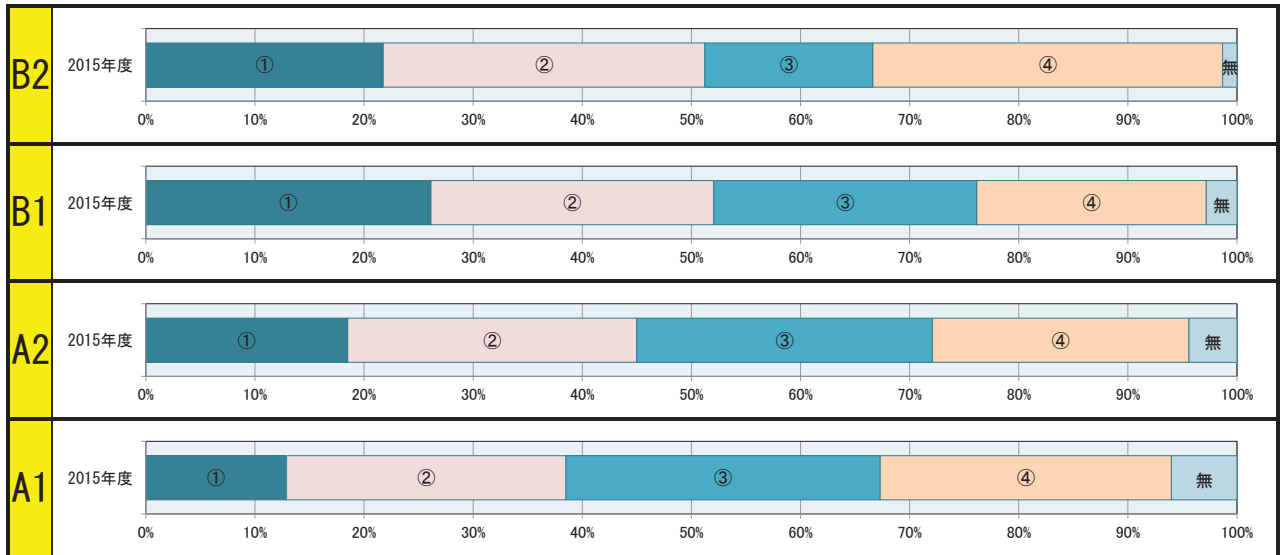
（英語を話すことに関する活動）

No. 14 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、
生徒同士で英語で話し合ったり意見の交換をしたりしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

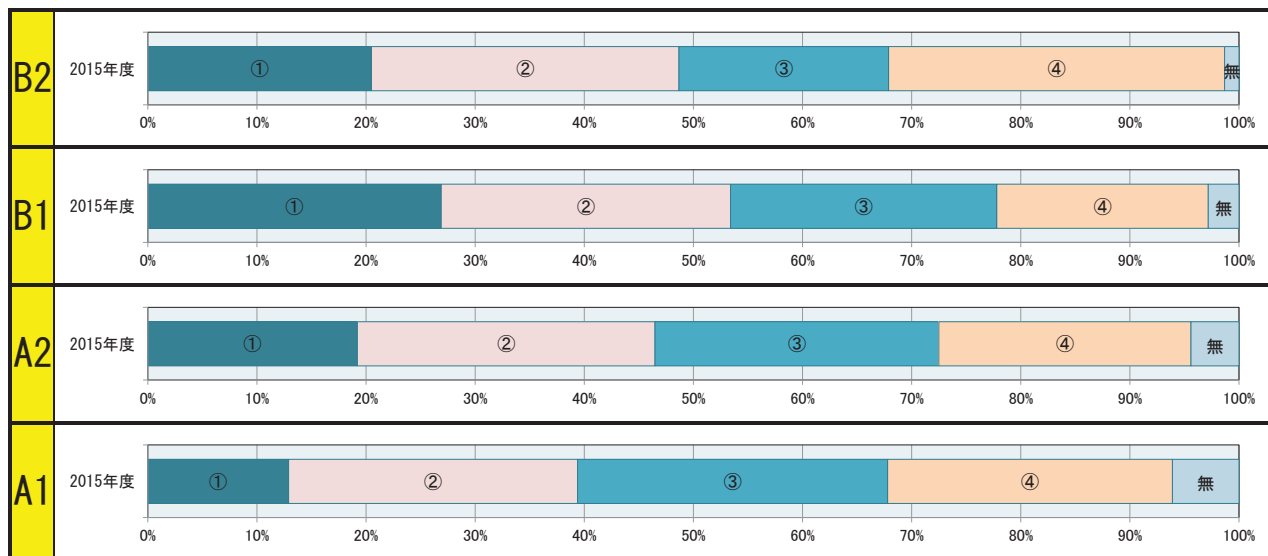
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	17	23	12	25	1	78
		選択率	21.8%	29.5%	15.4%	32.1%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	405	403	375	326	44	1,553
		選択率	26.1%	25.9%	24.1%	21.0%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	4,315	6,183	6,329	5,480	1,016	23,323
		選択率	18.5%	26.5%	27.1%	23.5%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	6,822	13,539	15,197	14,118	3,167	52,843
		選択率	12.9%	25.6%	28.8%	26.7%	6.0%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

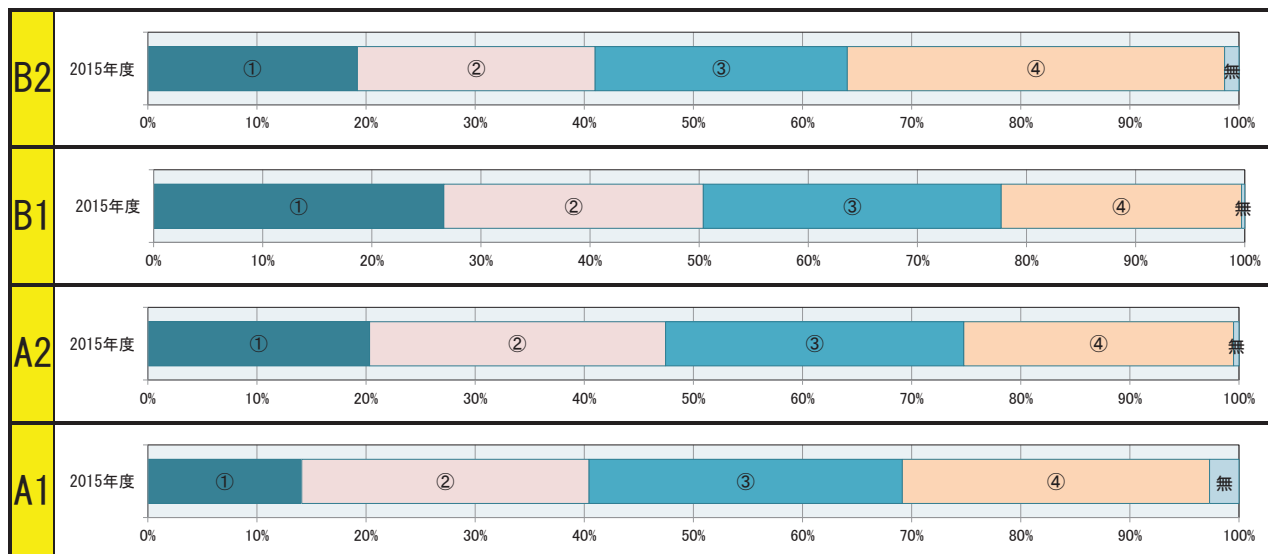
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	16	22	15	24	1	78
		選択率	20.5%	28.2%	19.2%	30.8%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	417	412	379	301	44	1,553
		選択率	26.9%	26.5%	24.4%	19.4%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	4,481	6,376	6,062	5,384	1,020	23,323
		選択率	19.2%	27.3%	26.0%	23.1%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	6,842	14,002	14,989	13,798	3,212	52,843
		選択率	12.9%	26.5%	28.4%	26.1%	6.1%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	15	17	18	27	1	78
		選択率	19.2%	21.8%	23.1%	34.6%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	413	369	424	342	5	1,553
		選択率	26.6%	23.8%	27.3%	22.0%	0.3%	100%
A2	2015年度	回答数	4,745	6,315	6,375	5,772	116	23,323
		選択率	20.3%	27.1%	27.3%	24.7%	0.5%	100%
A1	2015年度	回答数	7,474	13,884	15,184	14,854	1,447	52,843
		選択率	14.1%	26.3%	28.7%	28.1%	2.7%	100%



クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

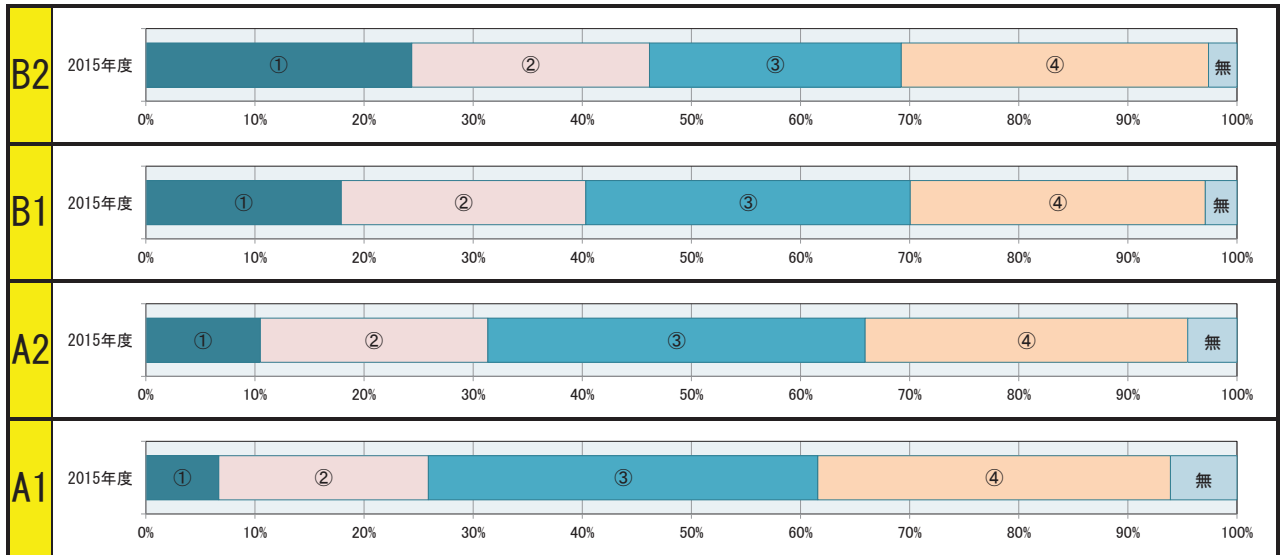
（英語を話すことに関する活動）

No. 15 次の学年の英語の授業では、与えられた話題について、
（特に準備をすることなく）即興で話す活動をしていましたか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	19	17	18	22	2	78
		選択率	24.4%	21.8%	23.1%	28.2%	2.6%	100%
B1	2015年度	回答数	278	348	462	420	45	1,553
		選択率	17.9%	22.4%	29.7%	27.0%	2.9%	100%
A2	2015年度	回答数	2,456	4,868	8,060	6,896	1,043	23,323
		選択率	10.5%	20.9%	34.6%	29.6%	4.5%	100%
A1	2015年度	回答数	3,526	10,165	18,862	17,055	3,235	52,843
		選択率	6.7%	19.2%	35.7%	32.3%	6.1%	100%

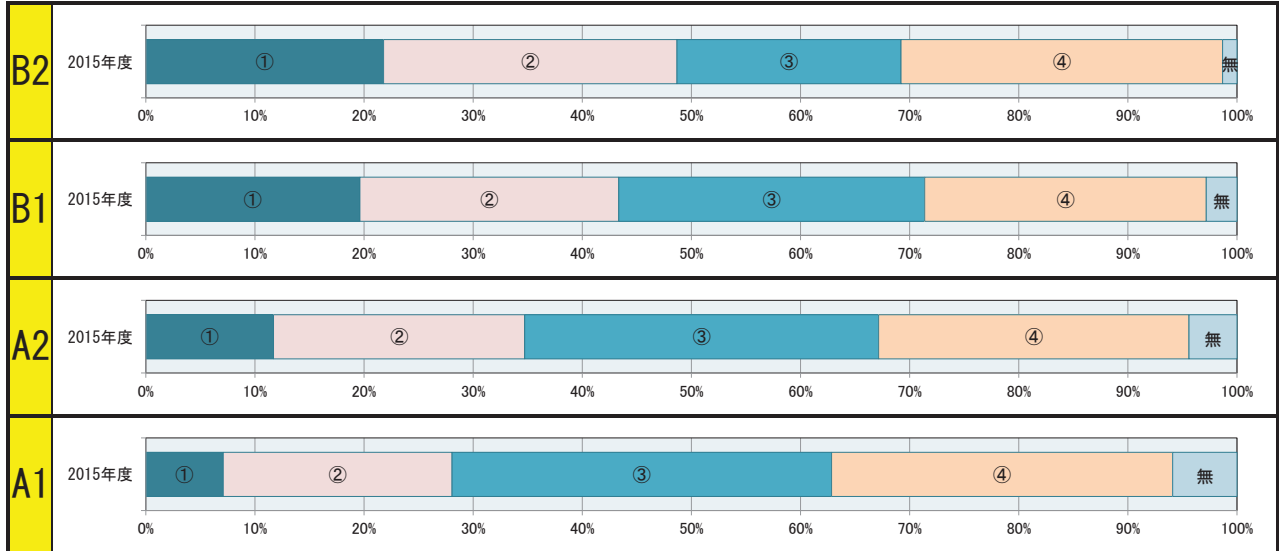


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リーディング
全国（公立）

(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

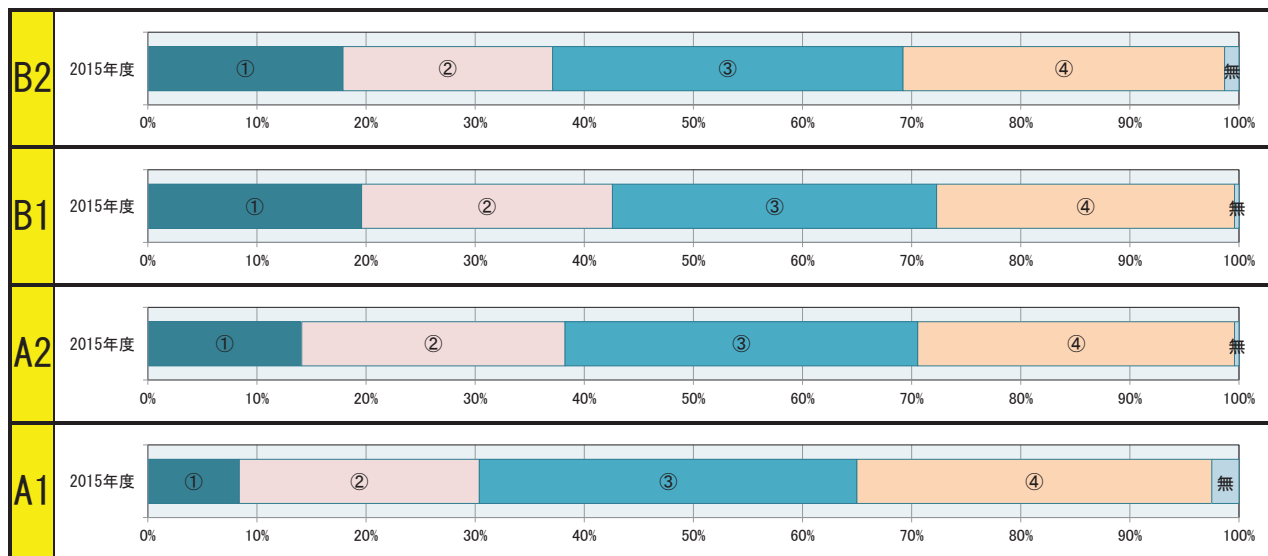
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	17	21	16	23	1	78
		選択率	21.8%	26.9%	20.5%	29.5%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	305	368	435	401	44	1,553
		選択率	19.6%	23.7%	28.0%	25.8%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	2,740	5,375	7,558	6,626	1,024	23,323
		選択率	11.7%	23.0%	32.4%	28.4%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	3,743	11,078	18,378	16,525	3,119	52,843
		選択率	7.1%	21.0%	34.8%	31.3%	5.9%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	14	15	25	23	1	78
		選択率	17.9%	19.2%	32.1%	29.5%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	304	357	462	424	6	1,553
		選択率	19.6%	23.0%	29.7%	27.3%	0.4%	100%
A2	2015年度	回答数	3,287	5,624	7,539	6,774	99	23,323
		選択率	14.1%	24.1%	32.3%	29.0%	0.4%	100%
A1	2015年度	回答数	4,421	11,648	18,306	17,169	1,299	52,843
		選択率	8.4%	22.0%	34.6%	32.5%	2.5%	100%



クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

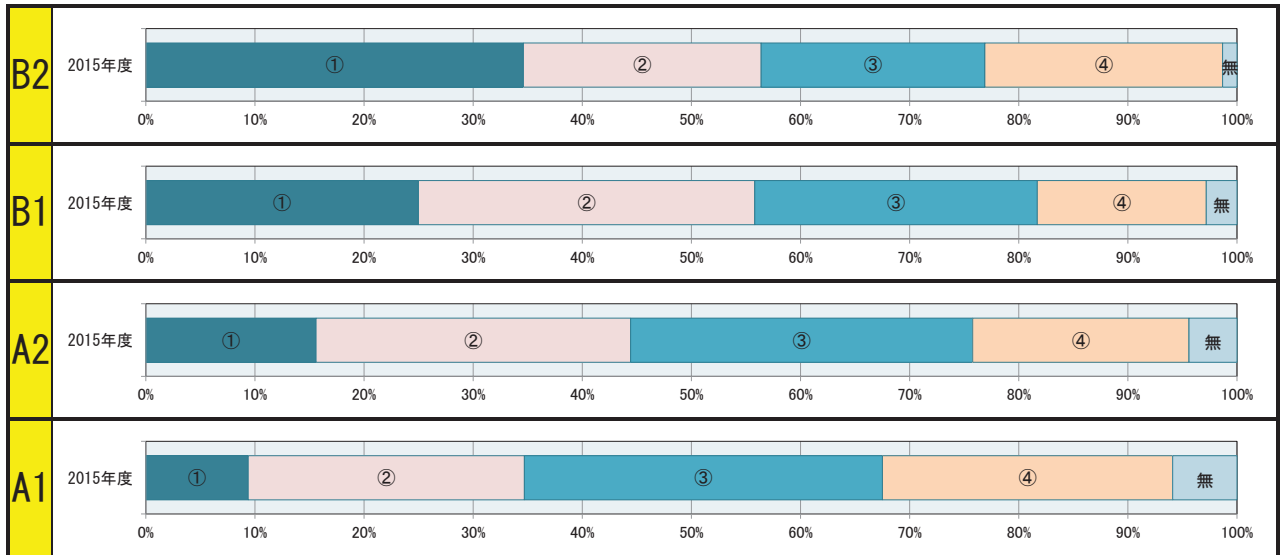
（英語を書くことに関する活動）

No. 16 次の学年の英語の授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

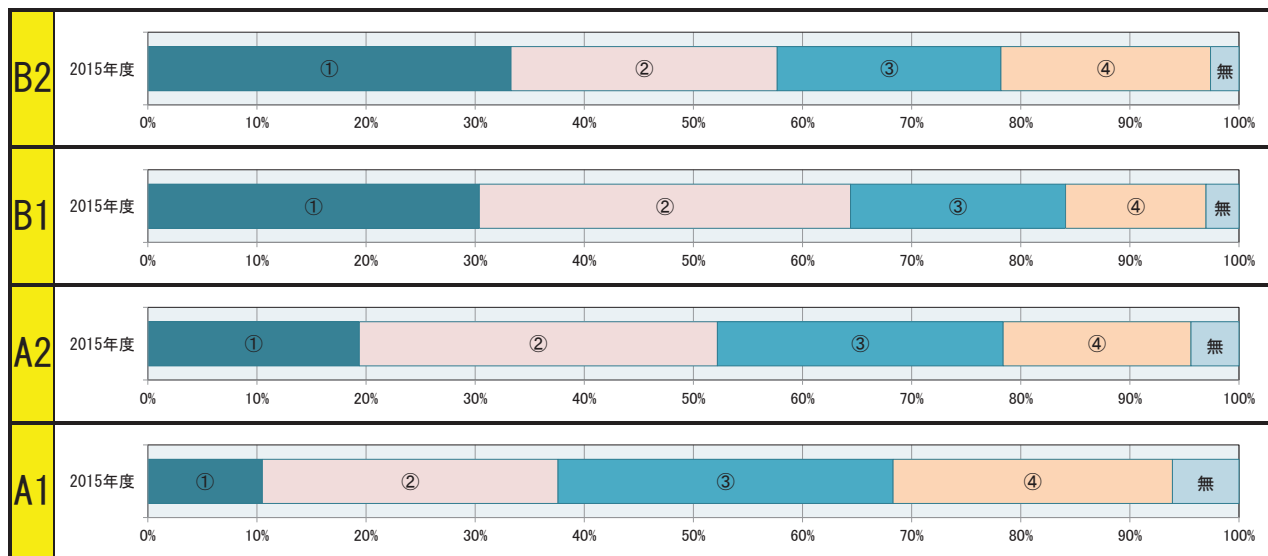
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	27	17	16	17	1	78
		選択率	34.6%	21.8%	20.5%	21.8%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	388	478	403	241	43	1,553
		選択率	25.0%	30.8%	25.9%	15.5%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	3,644	6,724	7,311	4,622	1,022	23,323
		選択率	15.6%	28.8%	31.3%	19.8%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	4,952	13,368	17,334	14,063	3,126	52,843
		選択率	9.4%	25.3%	32.8%	26.6%	5.9%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	26	19	16	15	2	78
		選択率	33.3%	24.4%	20.5%	19.2%	2.6%	100%
B1	2015年度	回答数	472	528	306	201	46	1,553
		選択率	30.4%	34.0%	19.7%	12.9%	3.0%	100%
A2	2015年度	回答数	4,534	7,642	6,107	4,010	1,030	23,323
		選択率	19.4%	32.8%	26.2%	17.2%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	5,535	14,319	16,242	13,534	3,213	52,843
		選択率	10.5%	27.1%	30.7%	25.6%	6.1%	100%

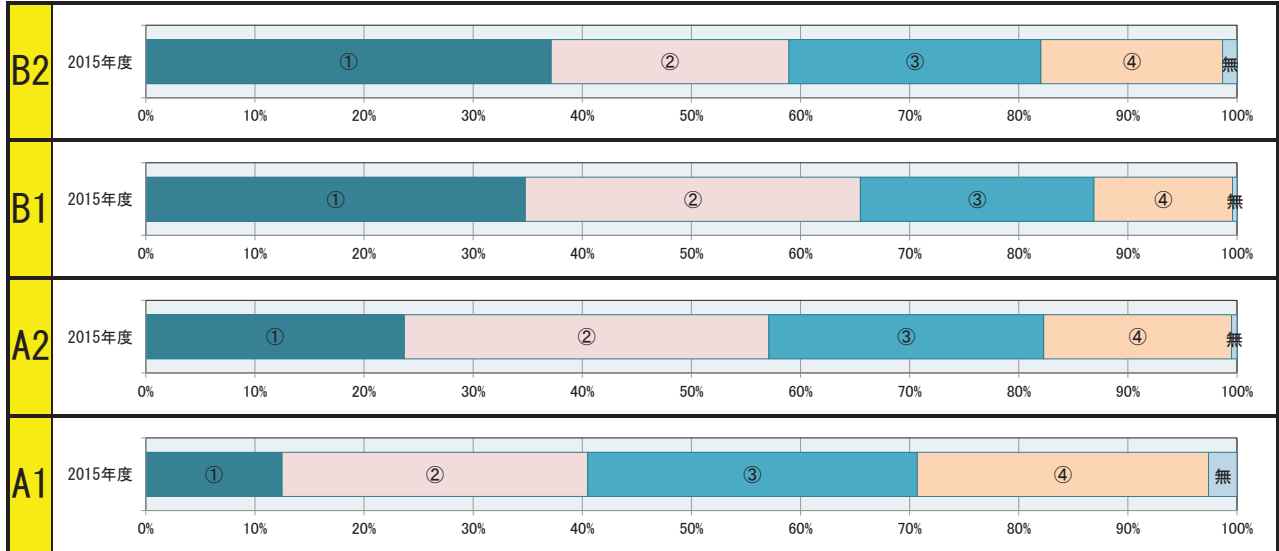


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リーディング
全国（公立）

(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	29	17	18	13	1	78
		選択率	37.2%	21.8%	23.1%	16.7%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	541	477	332	197	6	1,553
		選択率	34.8%	30.7%	21.4%	12.7%	0.4%	100%
A2	2015年度	回答数	5,518	7,784	5,885	4,015	121	23,323
		選択率	23.7%	33.4%	25.2%	17.2%	0.5%	100%
A1	2015年度	回答数	6,601	14,788	15,976	14,091	1,387	52,843
		選択率	12.5%	28.0%	30.2%	26.7%	2.6%	100%



クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞リーディング
全国（公立）

<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

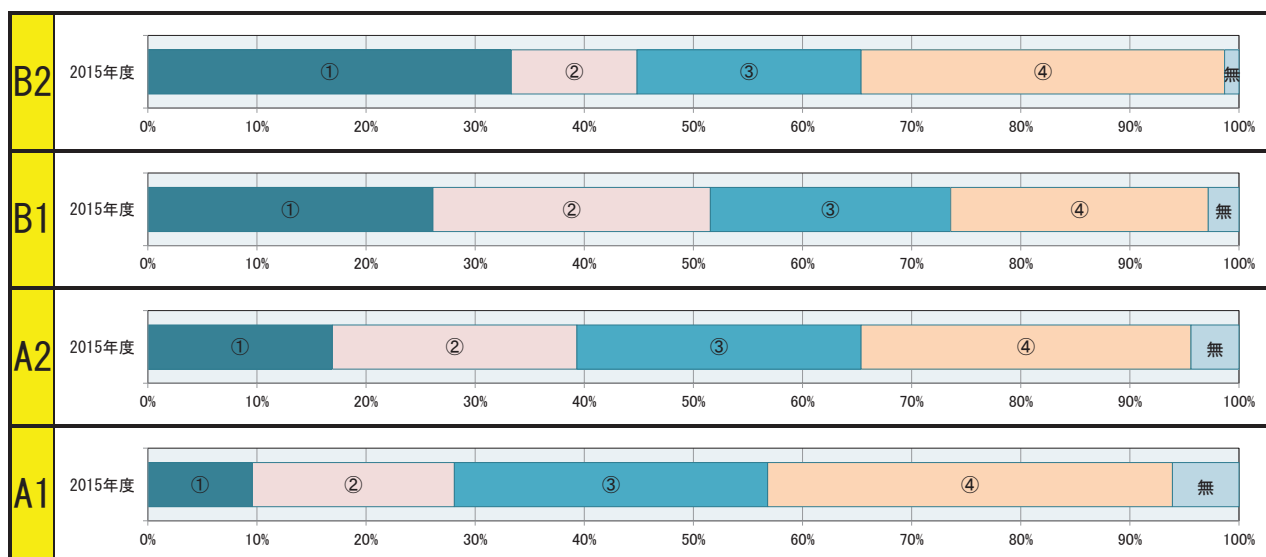
（総合的な活動）

No. 17 次の学年の英語の授業では、英語でスピーチやプレゼンテーションをしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

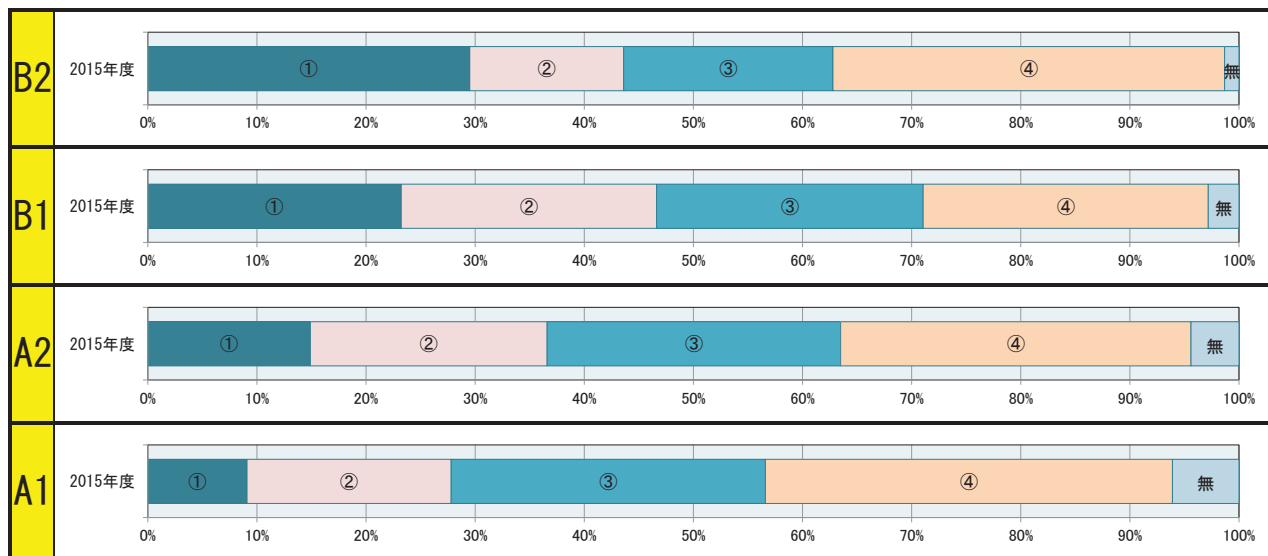
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	26	9	16	26	1	78
		選択率	33.3%	11.5%	20.5%	33.3%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	406	395	342	367	43	1,553
		選択率	26.1%	25.4%	22.0%	23.6%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	3,946	5,235	6,073	7,045	1,024	23,323
		選択率	16.9%	22.4%	26.0%	30.2%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	5,065	9,753	15,191	19,629	3,205	52,843
		選択率	9.6%	18.5%	28.7%	37.1%	6.1%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	23	11	15	28	1	78
		選択率	29.5%	14.1%	19.2%	35.9%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	361	364	379	406	43	1,553
		選択率	23.2%	23.4%	24.4%	26.1%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	3,479	5,061	6,275	7,481	1,027	23,323
		選択率	14.9%	21.7%	26.9%	32.1%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	4,820	9,861	15,216	19,727	3,219	52,843
		選択率	9.1%	18.7%	28.8%	37.3%	6.1%	100%

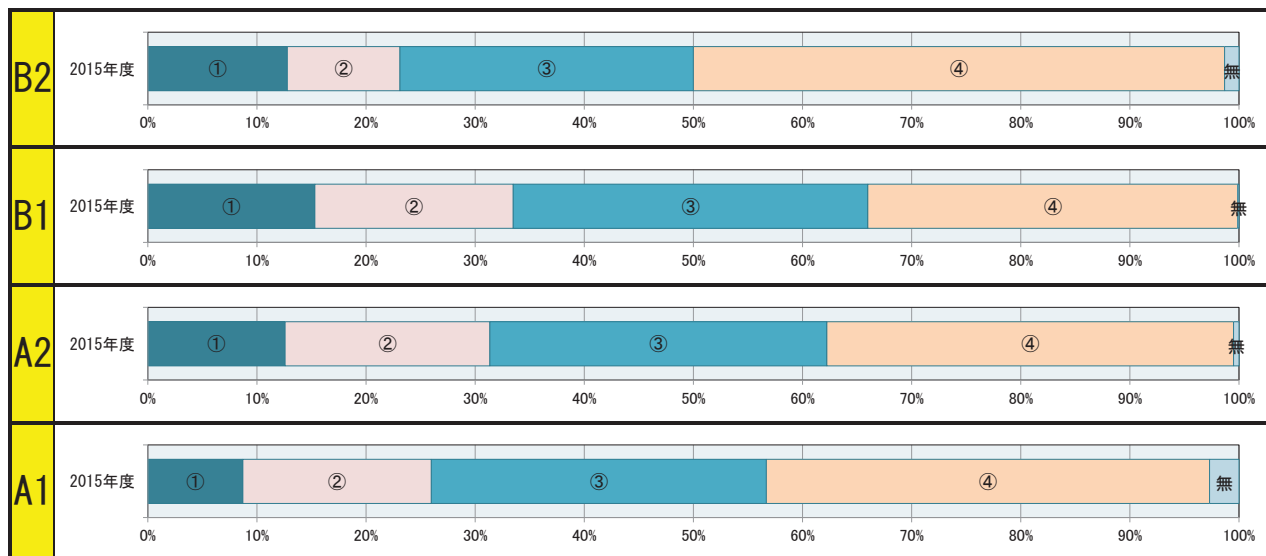


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リーディング
全国（公立）

(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	10	8	21	38	1	78
		選択率	12.8%	10.3%	26.9%	48.7%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	238	283	505	526	1	1,553
		選択率	15.3%	18.2%	32.5%	33.9%	0.1%	100%
A2	2015年度	回答数	2,930	4,380	7,197	8,699	117	23,323
		選択率	12.6%	18.8%	30.9%	37.3%	0.5%	100%
A1	2015年度	回答数	4,610	9,126	16,234	21,470	1,403	52,843
		選択率	8.7%	17.3%	30.7%	40.6%	2.7%	100%



<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

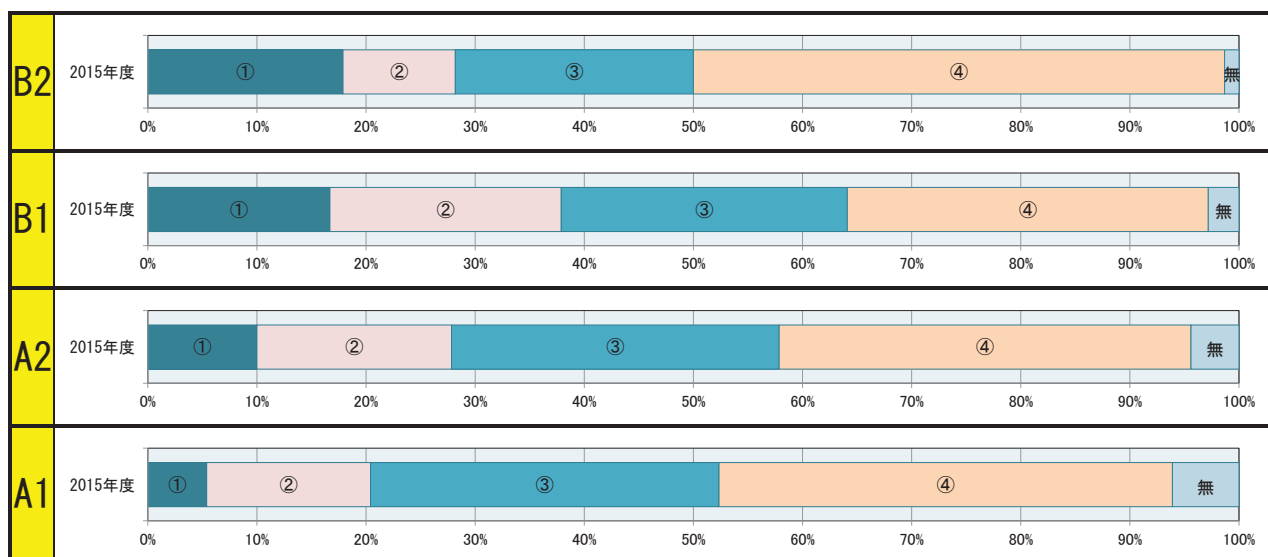
（総合的な活動）

No. 18 次の学年の英語の授業では、英語でディベートやディスカッションをしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

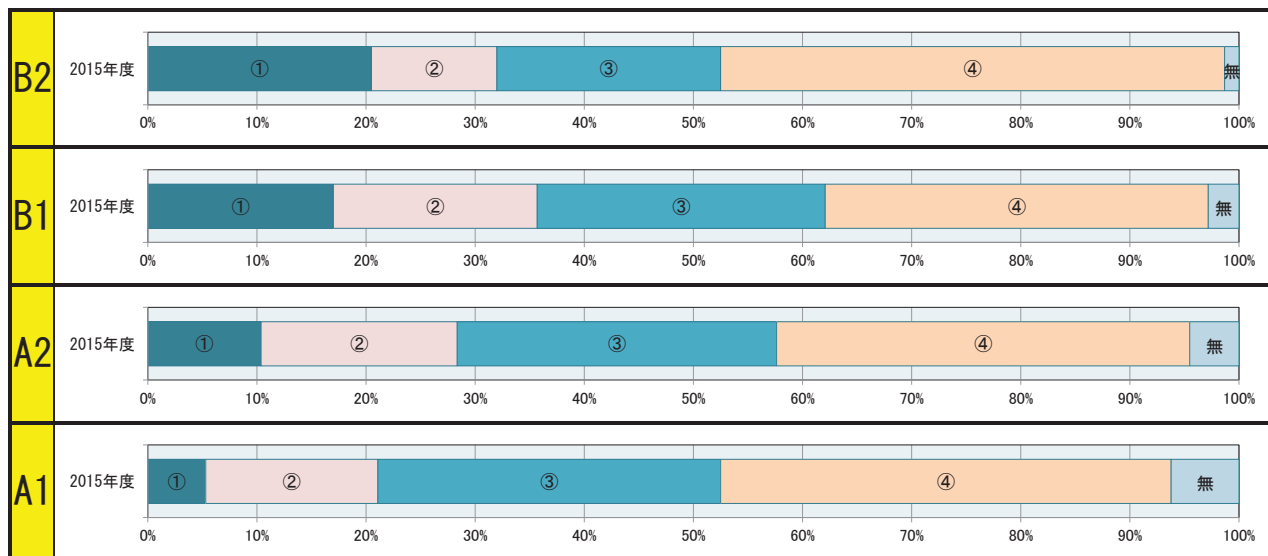
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	14	8	17	38	1	78
		選択率	17.9%	10.3%	21.8%	48.7%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	259	329	407	514	44	1,553
		選択率	16.7%	21.2%	26.2%	33.1%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	2,341	4,154	6,999	8,798	1,031	23,323
		選択率	10.0%	17.8%	30.0%	37.7%	4.4%	100%
A1	2015年度	回答数	2,859	7,942	16,878	21,923	3,241	52,843
		選択率	5.4%	15.0%	31.9%	41.5%	6.1%	100%



(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

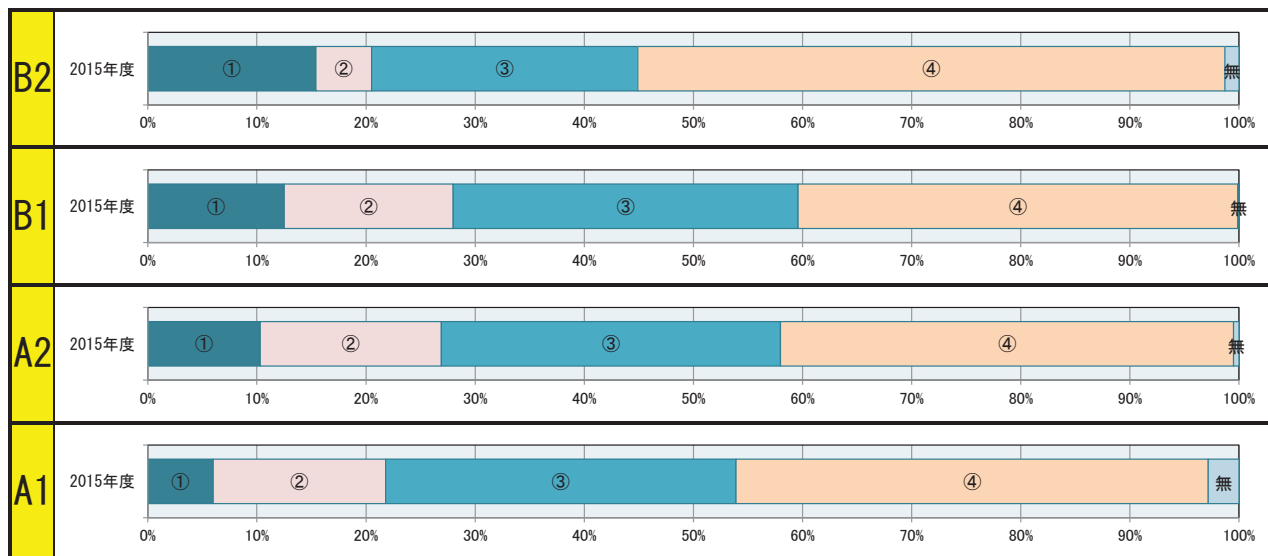
CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	16	9	16	36	1	78
		選択率	20.5%	11.5%	20.5%	46.2%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	264	291	410	545	43	1,553
		選択率	17.0%	18.7%	26.4%	35.1%	2.8%	100%
A2	2015年度	回答数	2,430	4,189	6,826	8,840	1,038	23,323
		選択率	10.4%	18.0%	29.3%	37.9%	4.5%	100%
A1	2015年度	回答数	2,796	8,368	16,567	21,811	3,301	52,843
		選択率	5.3%	15.8%	31.4%	41.3%	6.2%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	12	4	19	42	1	78
		選択率	15.4%	5.1%	24.4%	53.8%	1.3%	100%
B1	2015年度	回答数	194	240	491	626	2	1,553
		選択率	12.5%	15.5%	31.6%	40.3%	0.1%	100%
A2	2015年度	回答数	2,412	3,861	7,244	9,679	127	23,323
		選択率	10.3%	16.6%	31.1%	41.5%	0.5%	100%
A1	2015年度	回答数	3,145	8,363	16,981	22,891	1,463	52,843
		選択率	6.0%	15.8%	32.1%	43.3%	2.8%	100%



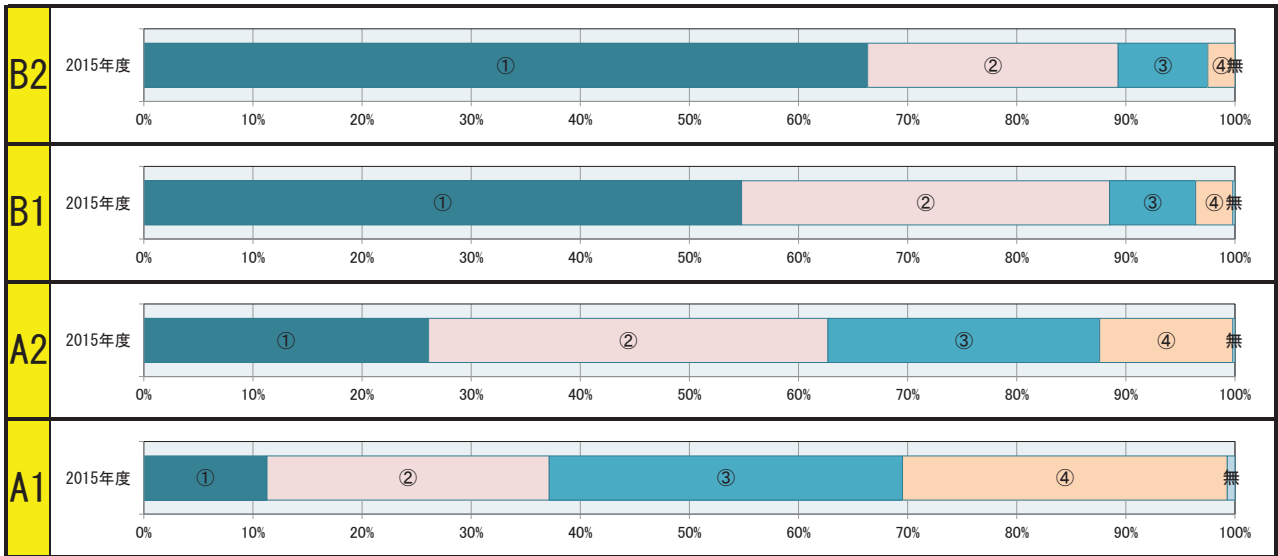
【英語に関する意識・経験・学習・授業等に関するアンケート】

<英語に関する意識について>

No.1 英語の学習は好きですか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ ほとんどそう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	81	28	10	3	0	122
		選択率	66.4%	23.0%	8.2%	2.5%	0.0%	100%
B1	2015年度	回答数	885	544	127	55	4	1,615
		選択率	54.8%	33.7%	7.9%	3.4%	0.2%	100%
A2	2015年度	回答数	4,929	6,904	4,695	2,298	36	18,862
		選択率	26.1%	36.6%	24.9%	12.2%	0.2%	100%
A1	2015年度	回答数	6,450	14,804	18,509	17,037	398	57,198
		選択率	11.3%	25.9%	32.4%	29.8%	0.7%	100%

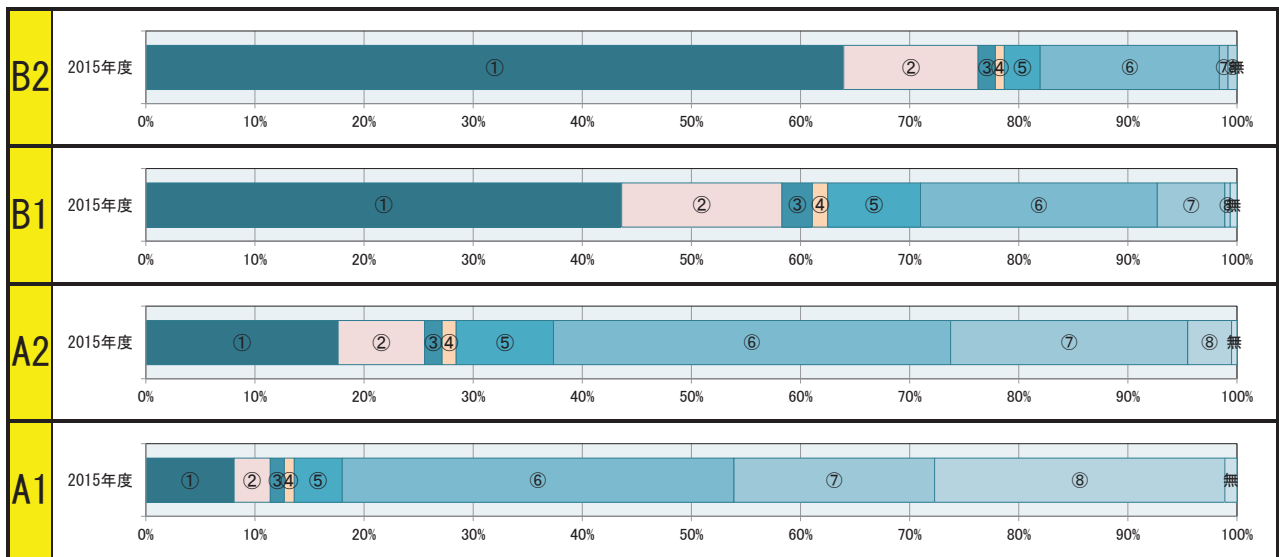


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リスニング
全国（公立）

No. 2 どの程度まで英語を身に付けたいと思っていますか。最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

- ①英語を使って国際社会で活躍できるようになりたい ②大学での自分が専攻する学問を英語で学ぶことができるようになりたい
③高校卒業後に、海外の大学などに進学できるようになりたい ④高校在学中に留学して、海外の高校の授業に参加できるようになりたい
⑤海外でのホームステイや語学研修を楽しめるようになりたい ⑥海外旅行などをするとき、英語で日常的な会話をし、コミュニケーションを楽しめるようになりたい
⑦大学入試に対応できる力をつけたい ⑧特に学校の授業以外での利用を考えていない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	無回答	計
B2	2015年度	回答数	78	15	2	1	4	20	1	1	0	122
		選択率	63.9%	12.3%	1.6%	0.8%	3.3%	16.4%	0.8%	0.8%	0.0%	100%
B1	2015年度	回答数	704	237	45	22	138	351	100	8	10	1,615
		選択率	43.6%	14.7%	2.8%	1.4%	8.5%	21.7%	6.2%	0.5%	0.6%	100%
A2	2015年度	回答数	3,321	1,493	309	247	1,684	6,852	4,098	757	101	18,862
		選択率	17.6%	7.9%	1.6%	1.3%	8.9%	36.3%	21.7%	4.0%	0.5%	100%
A1	2015年度	回答数	4,617	1,914	754	491	2,508	20,523	10,530	15,227	634	57,198
		選択率	8.1%	3.3%	1.3%	0.9%	4.4%	35.9%	18.4%	26.6%	1.1%	100%



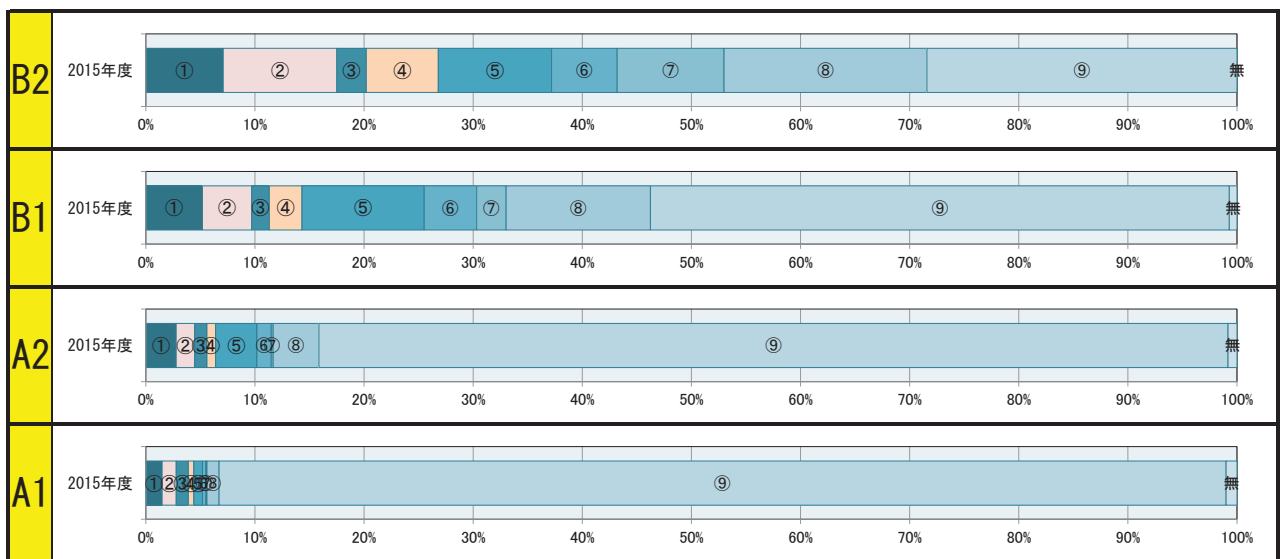
クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リスニング
全国（公立）

<英語使用などに関する経験について>

No.3 高校生になってから経験したことがあることは何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

- ①イングリッシュキャンプ ②英語のスピーチ大会（校内での予選などは除く）
③英語のプレゼンテーション大会（校内での予選などは除く） ④英語のディベート大会（校内での予選などは除く）
⑤留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間未満） ⑥留学（学校主催のプログラムを含む）（2週間以上3か月未満）
⑦留学（学校主催のプログラムを含む）（3か月以上） ⑧ホームステイ（現地の教育機関などで学習した場合を除く）
⑨当てはまるものはない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
B2	2015年度	回答数	13	19	5	12	19	11	18	34	52	0	183
		選択率	7.1%	10.4%	2.7%	6.6%	10.4%	6.0%	9.8%	18.6%	28.4%	0.0%	100%
B1	2015年度	回答数	101	89	32	58	220	94	53	259	1,038	14	1,958
		選択率	5.2%	4.5%	1.6%	3.0%	11.2%	4.8%	2.7%	13.2%	53.0%	0.7%	100%
A2	2015年度	回答数	558	326	212	154	745	249	37	837	16,448	161	19,727
		選択率	2.8%	1.7%	1.1%	0.8%	3.8%	1.3%	0.2%	4.2%	83.4%	0.8%	100%
A1	2015年度	回答数	858	761	621	314	460	197	68	652	53,197	578	57,706
		選択率	1.5%	1.3%	1.1%	0.5%	0.8%	0.3%	0.1%	1.1%	92.2%	1.0%	100%

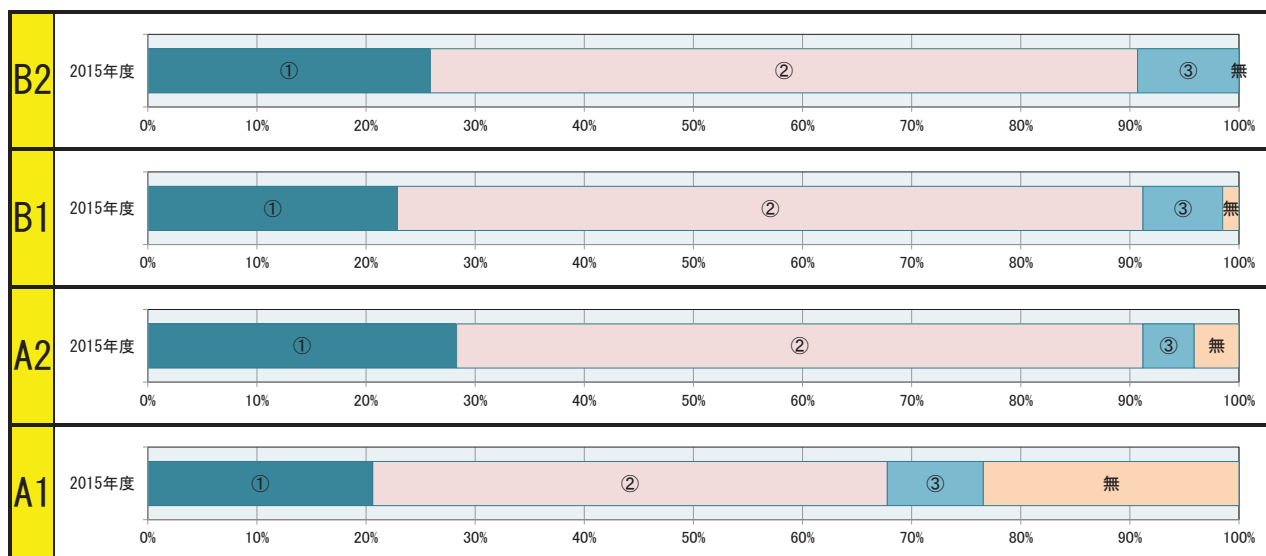


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リスニング
全国（公立）

No. 4 (No. 3で⑤～⑧と回答した方のみ) 外国に渡った当時の学年はいつですか。
当てはまるものを1つ選んで下さい（複数回留学などをした経験がある場合は、一番最近留学などをした学年を選んで下さい）。

①高校1年生 ②高校2年生 ③高校3年生

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	無回答	計
B2	2015年度	回答数	14	35	5	0	54
		選択率	25.9%	64.8%	9.3%	0.0%	100%
B1	2015年度	回答数	104	311	33	7	455
		選択率	22.9%	68.4%	7.3%	1.5%	100%
A2	2015年度	回答数	415	923	69	60	1,467
		選択率	28.3%	62.9%	4.7%	4.1%	100%
A1	2015年度	回答数	246	562	105	279	1,192
		選択率	20.6%	47.1%	8.8%	23.4%	100%



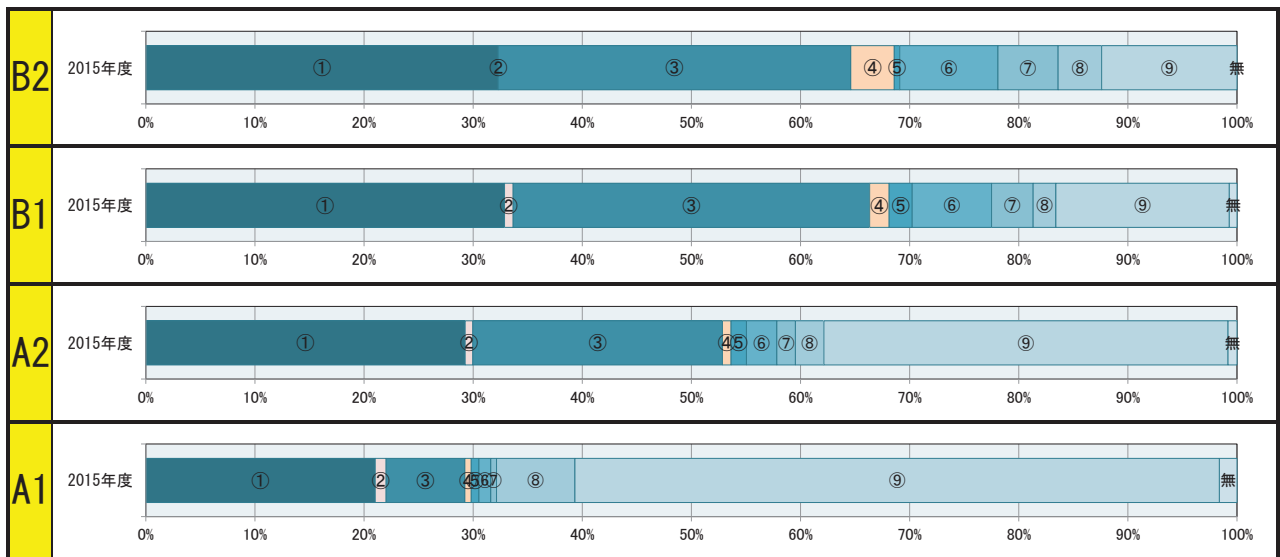
クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リスニング
全国（公立）

<英語に関する資格・検定試験の受験経験について>

No.5 高校生になってから、今回の試験以外に、英語に関する資格・検定試験を受験したことがありますか。
受験したことがあるものをすべて選んで下さい。受験したことがなければ⑨を選んで下さい（複数回答可）。

- ①英検（実用英語技能検定） ②ケンブリッジ英検 ③GTEC for STUDENTS ④TOEFL ⑤TOEFL Junior
⑥TOEIC ⑦TOEIC Bridge ⑧その他 ⑨英語に関する資格・検定試験を受験したことはない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	無回答	計
B2	2015年度	回答数	65	0	65	8	1	18	11	8	25	0	201
		選択率	32.3%	0.0%	32.3%	4.0%	0.5%	9.0%	5.5%	4.0%	12.4%	0.0%	100%
B1	2015年度	回答数	731	17	728	39	47	162	85	46	354	15	2,224
		選択率	32.9%	0.8%	32.7%	1.8%	2.1%	7.3%	3.8%	2.1%	15.9%	0.7%	100%
A2	2015年度	回答数	6,255	147	4,887	165	308	600	355	546	7,943	175	21,381
		選択率	29.3%	0.7%	22.9%	0.8%	1.4%	2.8%	1.7%	2.6%	37.1%	0.8%	100%
A1	2015年度	回答数	12,434	584	4,262	379	400	649	315	4,278	34,937	959	59,197
		選択率	21.0%	1.0%	7.2%	0.6%	0.7%	1.1%	0.5%	7.2%	59.0%	1.6%	100%

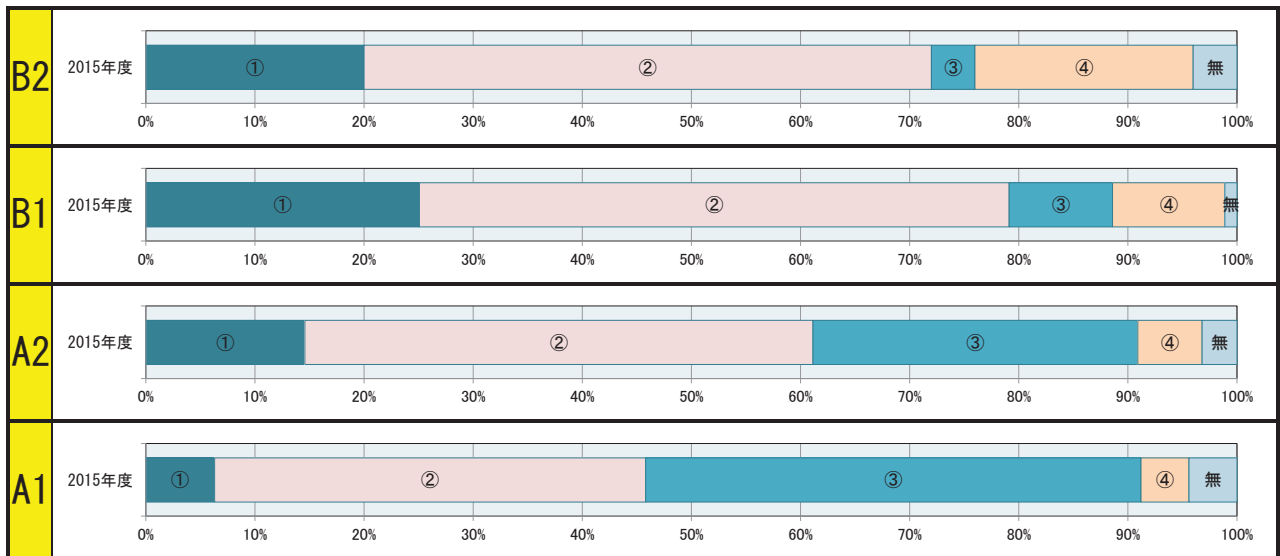


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リスニング
全国（公立）

No. 6 (No. 5で⑨と回答した方のみ) 受験したことがない理由は何ですか。当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

- ①受験しなかったが、その機会がなかった ②受験したいとは思わなかった（受験する必要性を感じなかった）
③自分の英語力に自信がない ④その他

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	5	13	1	5	1	25
		選択率	20.0%	52.0%	4.0%	20.0%	4.0%	100%
B1	2015年度	回答数	93	200	35	38	4	370
		選択率	25.1%	54.1%	9.5%	10.3%	1.1%	100%
A2	2015年度	回答数	1,230	3,924	2,510	497	267	8,428
		選択率	14.6%	46.6%	29.8%	5.9%	3.2%	100%
A1	2015年度	回答数	2,356	14,645	16,855	1,632	1,618	37,106
		選択率	6.3%	39.5%	45.4%	4.4%	4.4%	100%



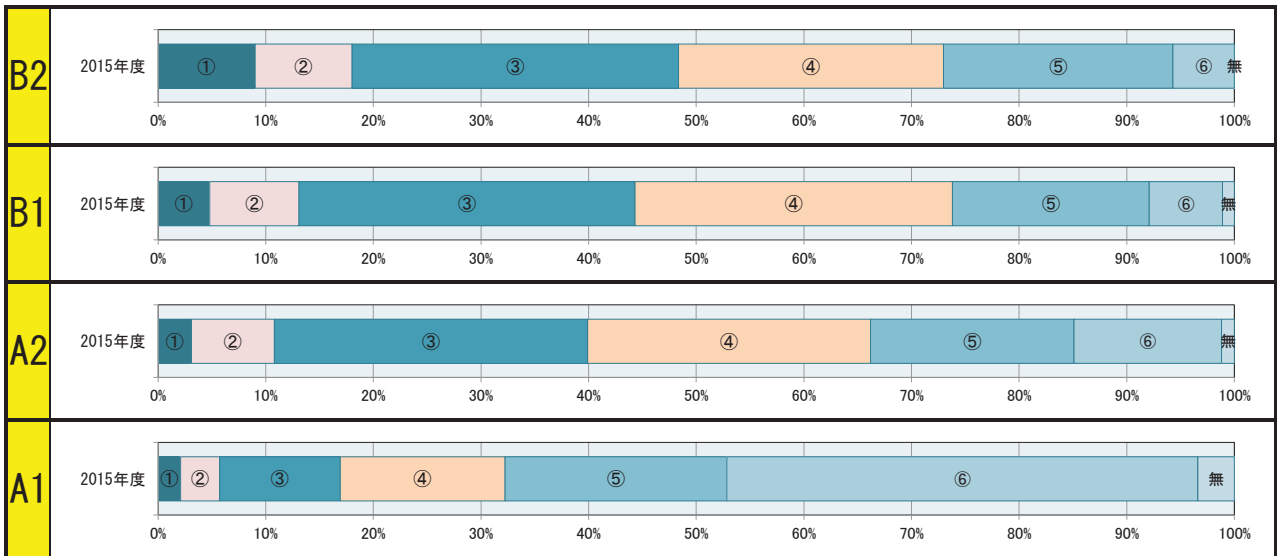
クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リスニング
全国（公立）

<英語の学習方法・内容・時間について>

No.7 学校の授業や予習・復習以外に、普段（月～金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

①3時間以上 ②2時間以上3時間未満 ③1時間以上2時間未満 ④30分以上1時間未満 ⑤30分未満 ⑥全くしない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	計
B2	2015年度	回答数	11	11	37	30	26	7	0	122
		選択率	9.0%	9.0%	30.3%	24.6%	21.3%	5.7%	0.0%	100%
B1	2015年度	回答数	77	134	504	477	296	110	17	1,615
		選択率	4.8%	8.3%	31.2%	29.5%	18.3%	6.8%	1.1%	100%
A2	2015年度	回答数	584	1,443	5,484	4,964	3,574	2,590	223	18,862
		選択率	3.1%	7.7%	29.1%	26.3%	18.9%	13.7%	1.2%	100%
A1	2015年度	回答数	1,211	2,053	6,409	8,757	11,805	25,014	1,949	57,198
		選択率	2.1%	3.6%	11.2%	15.3%	20.6%	43.7%	3.4%	100%

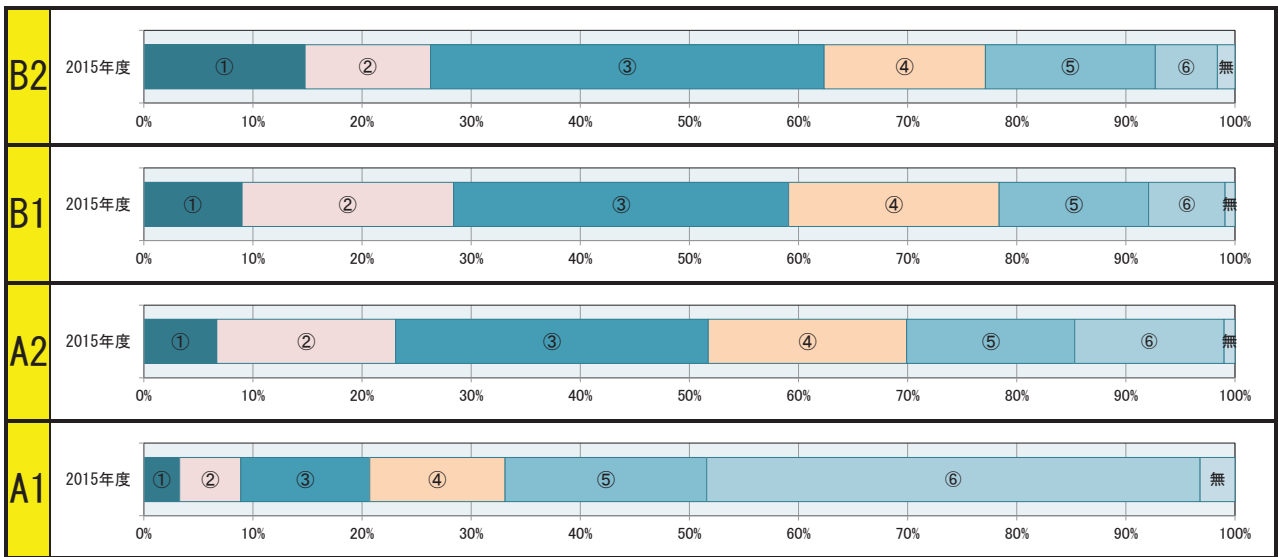


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）> リスニング
全国（公立）

No. 8 土曜日・日曜日、祝日など学校が休みの日に、学校の授業の予習・復習以外に、1日当たりどれくらいの時間、英語に接していますか（英語を聞く、読む、話す、書くのいずれも含む）。当てはまるものを1つ選んで下さい。

① 3時間以上 ② 2時間以上3時間未満 ③ 1時間以上2時間未満 ④ 30分以上1時間未満 ⑤ 30分未満 ⑥ 全くしない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	⑥	無回答	計
B2	2015年度	回答数	18	14	44	18	19	7	2	122
		選択率	14.8%	11.5%	36.1%	14.8%	15.6%	5.7%	1.6%	100%
B1	2015年度	回答数	145	314	496	311	222	113	14	1,615
		選択率	9.0%	19.4%	30.7%	19.3%	13.7%	7.0%	0.9%	100%
A2	2015年度	回答数	1,261	3,084	5,407	3,436	2,904	2,581	189	18,862
		選択率	6.7%	16.4%	28.7%	18.2%	15.4%	13.7%	1.0%	100%
A1	2015年度	回答数	1,863	3,226	6,765	7,114	10,573	25,844	1,813	57,198
		選択率	3.3%	5.6%	11.8%	12.4%	18.5%	45.2%	3.2%	100%

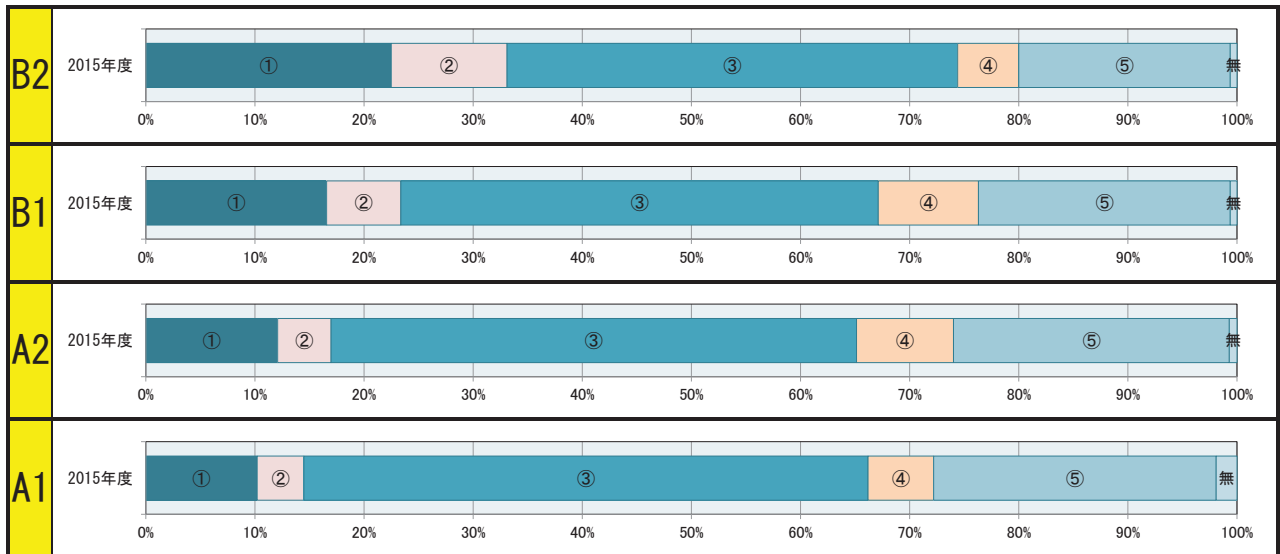


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リスニング
全国（公立）

No. 9 学校の授業以外で英語に接する際、パソコンやタブレット、携帯電話などを活用していますか。
当てはまるものをすべて選んで下さい（複数回答可）。

- ①パソコンを活用している ②タブレットを活用している ③スマートフォンや携帯電話を活用している
④その他の情報機器を活用している ⑤活用していない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	⑤	無回答	計
B2	2015年度	回答数	36	17	66	9	31	1	160
		選択率	22.5%	10.6%	41.3%	5.6%	19.4%	0.6%	100%
B1	2015年度	回答数	321	131	847	179	447	11	1,936
		選択率	16.6%	6.8%	43.8%	9.2%	23.1%	0.6%	100%
A2	2015年度	回答数	2,628	1,055	10,466	1,924	5,480	149	21,702
		選択率	12.1%	4.9%	48.2%	8.9%	25.3%	0.7%	100%
A1	2015年度	回答数	6,552	2,762	33,354	3,896	16,705	1,249	64,518
		選択率	10.2%	4.3%	51.7%	6.0%	25.9%	1.9%	100%



平成27年度 英語教育改善のための英語力調査事業
 クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リスニング
 全国（公立）

<学校の英語の授業について>

最も当てはまるものを1つ選んで下さい。

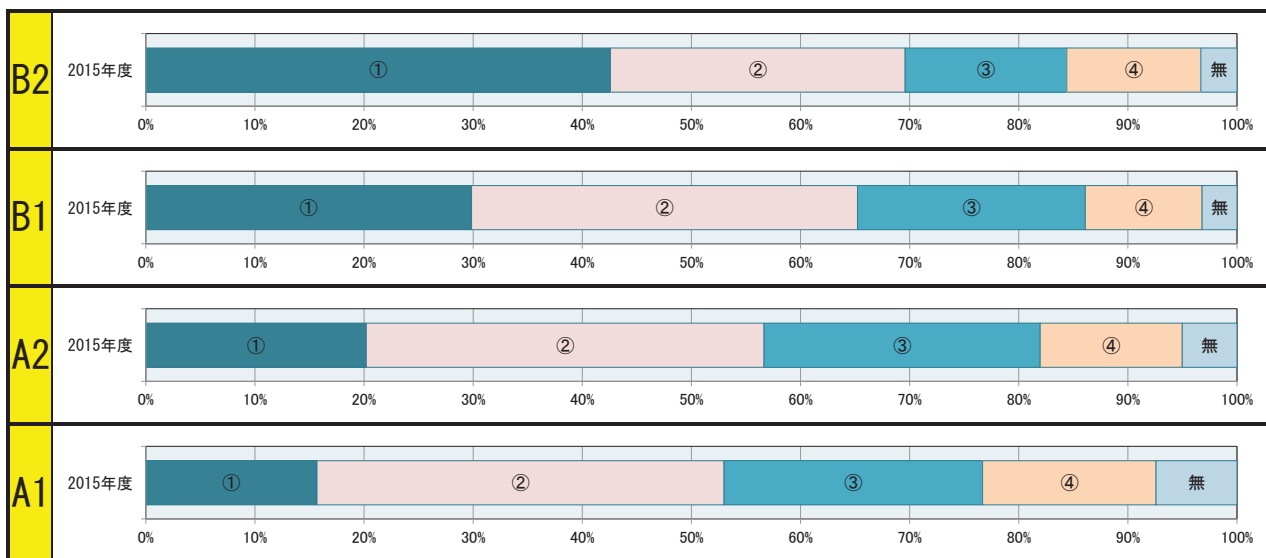
（英語を聞くことに関する活動）

No. 10 以下の学年の英語の授業では、英語を聞いて、
 （一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動をしていたと思いますか。

(1) 第1学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	52	33	18	15	4	122
		選択率	42.6%	27.0%	14.8%	12.3%	3.3%	100%
B1	2015年度	回答数	483	571	337	173	51	1,615
		選択率	29.9%	35.4%	20.9%	10.7%	3.2%	100%
A2	2015年度	回答数	3,812	6,873	4,780	2,459	938	18,862
		選択率	20.2%	36.4%	25.3%	13.0%	5.0%	100%
A1	2015年度	回答数	8,991	21,338	13,548	9,106	4,215	57,198
		選択率	15.7%	37.3%	23.7%	15.9%	7.4%	100%

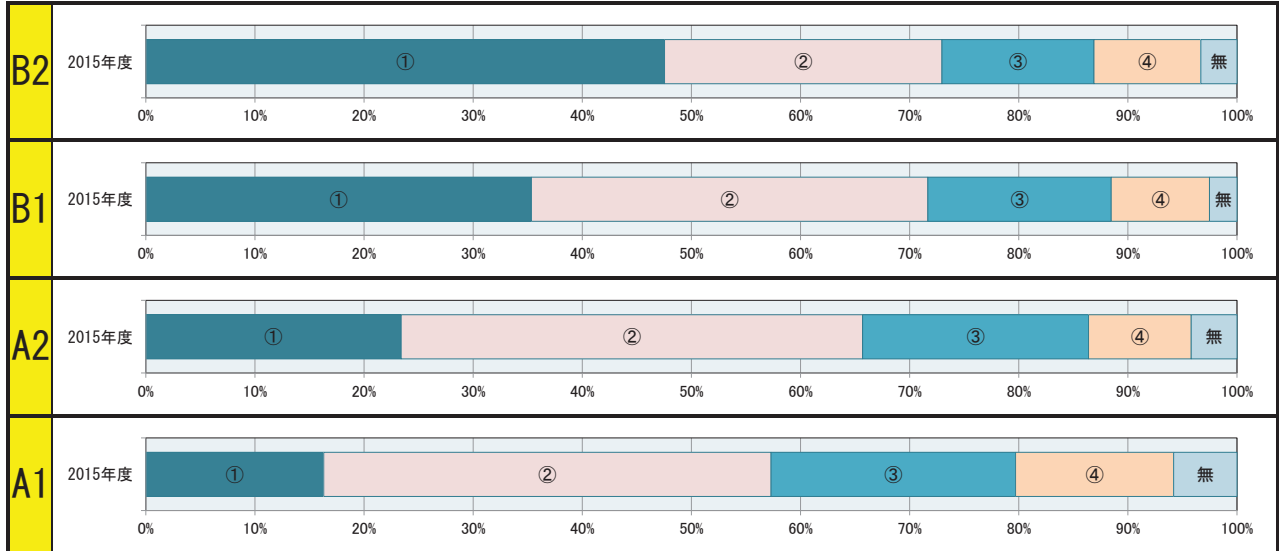


クロス集計表（生徒質問紙と試験結果）＞ リスニング
全国（公立）

(2) 第2学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	58	31	17	12	4	122
		選択率	47.5%	25.4%	13.9%	9.8%	3.3%	100%
B1	2015年度	回答数	570	587	272	145	41	1,615
		選択率	35.3%	36.3%	16.8%	9.0%	2.5%	100%
A2	2015年度	回答数	4,422	7,979	3,896	1,764	801	18,862
		選択率	23.4%	42.3%	20.7%	9.4%	4.2%	100%
A1	2015年度	回答数	9,329	23,458	12,794	8,291	3,326	57,198
		選択率	16.3%	41.0%	22.4%	14.5%	5.8%	100%



(3) 第3学年

① そう思う ② どちらかといえば、そう思う ③ どちらかといえば、そう思わない ④ そう思わない

CEFR	実施年度	選択番号	①	②	③	④	無回答	計
B2	2015年度	回答数	64	36	13	9	0	122
		選択率	52.5%	29.5%	10.7%	7.4%	0.0%	100%
B1	2015年度	回答数	710	565	219	117	4	1,615
		選択率	44.0%	35.0%	13.6%	7.2%	0.2%	100%
A2	2015年度	回答数	6,549	8,092	2,754	1,399	68	18,862
		選択率	34.7%	42.9%	14.6%	7.4%	0.4%	100%
A1	2015年度	回答数	12,277	24,195	11,042	8,499	1,185	57,198
		選択率	21.5%	42.3%	19.3%	14.9%	2.1%	100%

